フルカラー版
エロVRに夢中なあの子
1
Hiratairа
Presents
ひらたいら

CONTENTS

第01話…05P

第02話…31P

第03話…57P

第04話…83P

第05話…109P

第06話…135P

第07話…162P

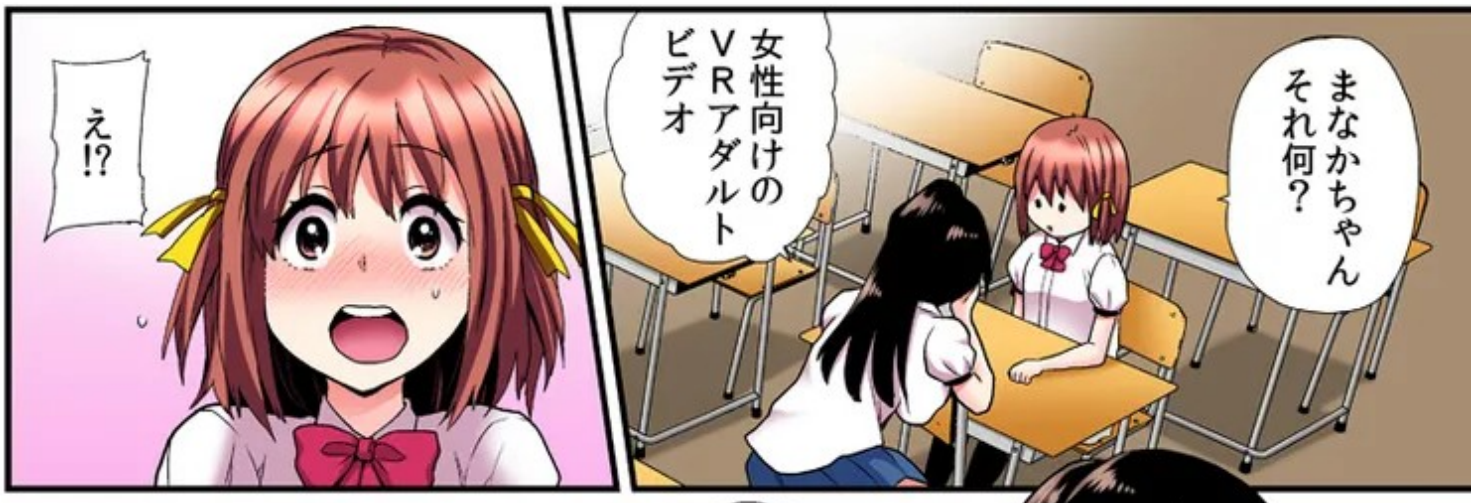
第08話…187P

第09話…213P

第10話…239P

叔母さん
おはよ～
綾音
おはよ！
ズ…
綾音あんたさ
姉さんにちゃんと
電話してる？
んー…
電話すると
ママとパパ話が
長いんだもん…
直くん
おはよぉ
カタ…
んっ
そう
そう
直樹と綾音
あのさ
今晩から
あたしら二人で
出かけてくるから
戸締りとか
気をつけてね
叔父さんと
デート？
そういう
こと！
あー俺も
友達とどっか
行くから夜は
いないと思う
お土産買って
くるからさ！
あとよろしくね

ねー
綾音
これ
あげるからさ
やってみて
くんない？
VR
カレシ


まなかちゃん
それ何？
女性向けの
VRアダルト
ビデオ
え!?

兄貴が
AVメーカーで
働いててさ
モニター探して
るんだって
あんたさ
こういうの
結構好きっしょ
え…っ！
ちょ 私は
別に…！

プレイしたらこのURLにサンプルのID打ち込んでプレイのレビューしといて！
えっえっ私やるとは…
よろしく～
はー
ハー
ボフ
AVなんて見るの初めて…
ビクッ
綾音(あやね)？いるか？

俺も
出かけるから

な
直(なお)くん!?
ギ…

あと頼むわ

ううん
いって
らっしゃい

……

おー
トン…
トン…

やっちゃ
おうかな…
ドキ…
ドキ…

キィ…ン
VR START
パ…ッ
……
ボフ…
ここは…
…え!?
裸!?
これ… 私? 胸が大きい…
起きたかい?
!!
ドキ

怖がらないで…
優しくするから…
え…
!!
かっこいい人…!!
キュン
私…キス初めて…っ
あっ
……!!舌が入って…
ちゅぱ

ムニ…♡
ふうっ
ピクン
ん…っ！
ビクッ
んはっ
あはっ
ビクビク
んっ
あ…っ
やは
VRのはずなのに…体が感じてきちゃう…っ

ここ…触るよ？
!!
ドキ!
え…？どこ――
ス…
そんなとこ――ッ
や…っ
カア…
だめ――っ
あっ！
クリクリ♥
やああ
ビク
ビク
気持ちいい――ッ
くちゅ
くちゅ

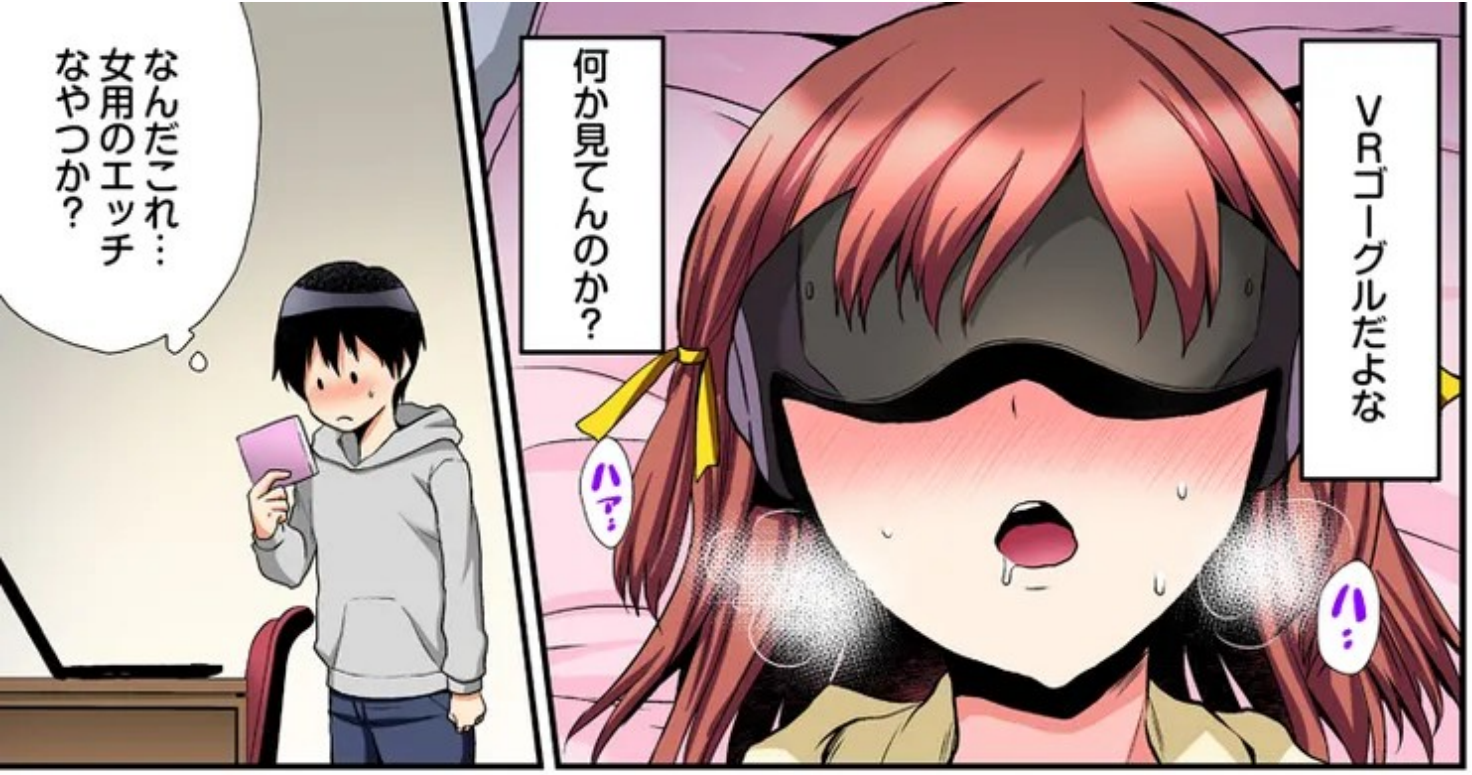
ガチャ
ただいまー…
くそ… あいつ
彼女連れて
きやがって…
俺が帰るしか
ねえじゃん…
綾音のやつ
もう寝てん
のかな…
ん…
な…
綾音の声…
綾音
起きて
たのか?
コン
コン
入るぞ
綾音…?
ガチャ

は…
あ…
ビク
ビク
ムチッ
ムチッ
!!!

え…？
綾音こいつ
何やってんだ!?

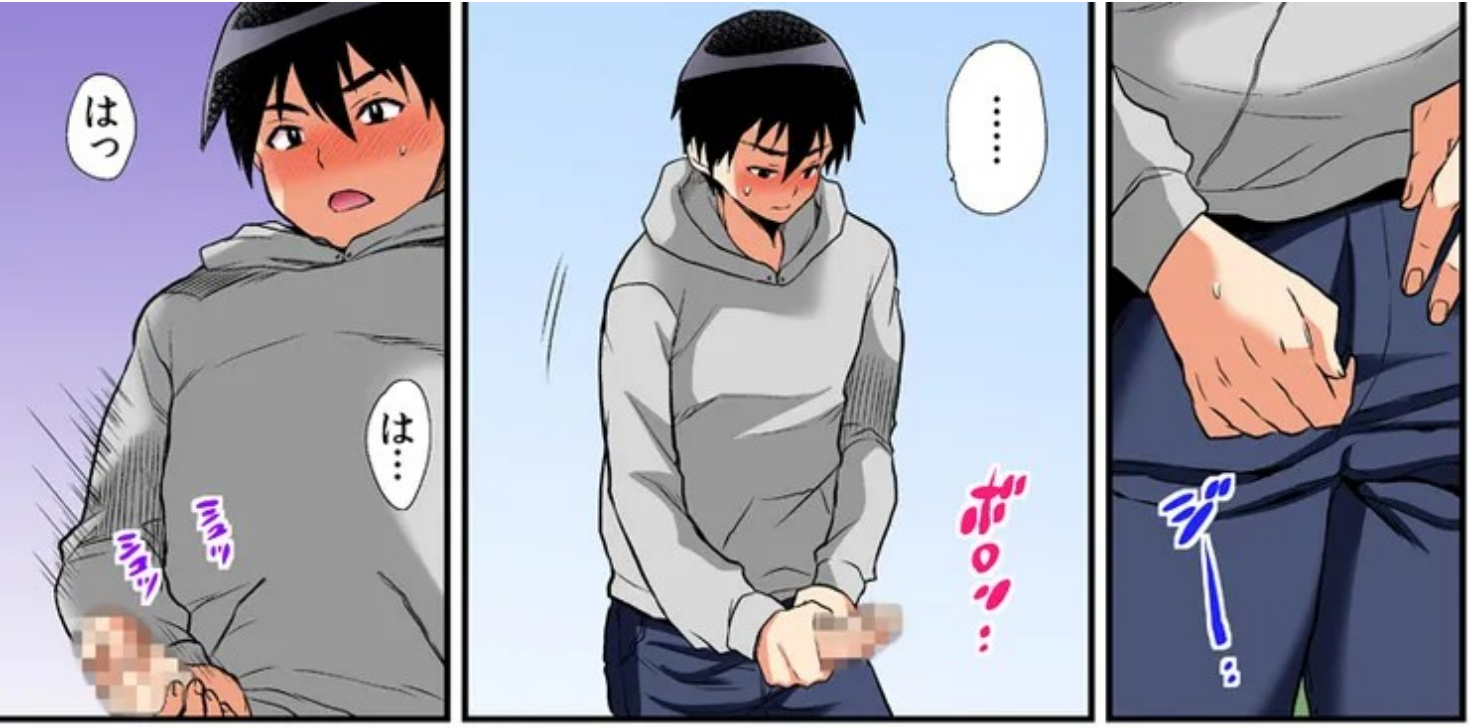
ギク
♪♫~
!!
やべっ
わたわた
ピク

ハッ
んう…
俺に気づいてない――？
ドドドド

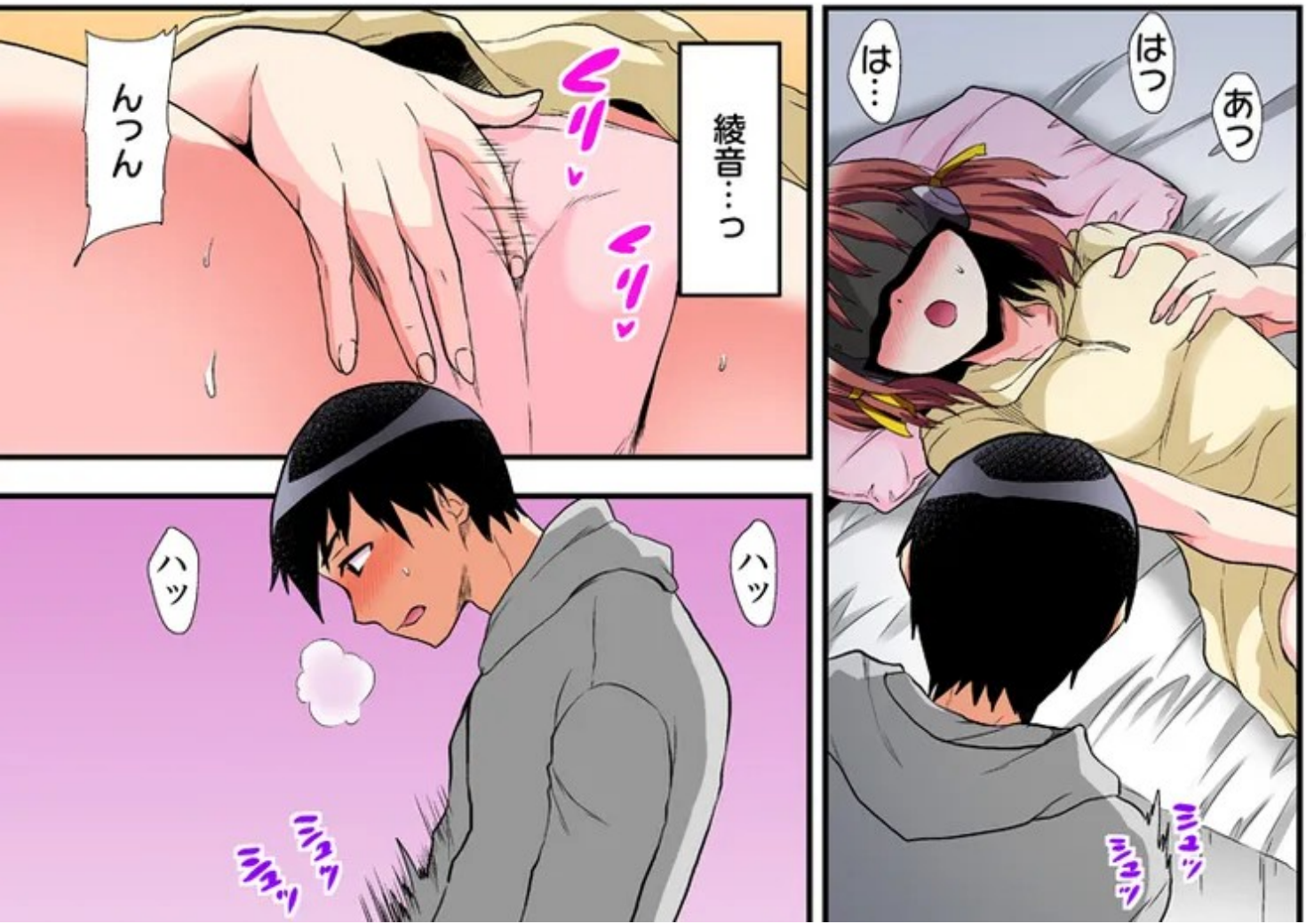

VRゴーグルだよな
ハァ…
ハ…
何か見てんのか?
なんだこれ…女用のエッチなやつか?

綾音のやつ…彼氏もいないみたいだし
そういうの興味ないかと思ってた…
ドキドキ
んあ…
は…
くちゅっ
くちゅっ
こすこす
くちゅ
くちゅ
んっ
じわっ
んっ
ゴク。。

はぁ…あ…
んあ…
クチュ
クチュ
ハッ
ピク
クチュ
クチュ
はあ…ん
あ…あ
……
ドキドキ
こいつ…
こんなふうに
オナニーすんのか
ムラ


はっ
は…
シュッ
シュッ
……
ボッ…
ジー…

やべ…
止まんね…！
ハ…
起きんじゃ
ねぇぞ…
ハ…
ハ…


綾音…っ
クリ
クリ
んっん
ハッ
ハッ
シュッ
シュッ
は…
はっ
あっ
シュッ
シュッ

は…あ
ビク
んあっ
ちゅぷ
ちゅぷ
くちゅ
くちゅ
んっ
すごく濡れてるね気持ちいい？
あっ
くちゅ
くちゅ
はああっ
ふあっ
ビクン
ビクン
ビク
すごい…VRなのに…
体がジンジンしてくる…
んっうっ！
んんっ！
ビクッ
ビクッ

は…
ブル…
んっ
ペロ…
ペロ…
んうっ
ビク
ビク
んっ
くちゃ
くちゃ
綾音…っ
は
は
…っ
ふ
ニュッ
ニュッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ビクン
!!
はあ
ニュッ
ニュッ
ハッ
ハッ

ティッシュ
ティッシュ
やっべ
はー…
〜〜〜くっ
ビクッ
ビクッ
ビュル…
何やってんだよ俺…
ズキ…
ハァ…
ハァ…
は…
ん…
くちゅ
くちゅ

ちっせぇけどやわらかい…
ん
んっ
ムニ…
ムニ…
あっ
ビクン
ムニ…
ハ…
ハ…
こいつ…ブラジャー着けてないのか？乳首丸わかりじゃん…
きゅっ
ビクッ
んんっ！
ビクッ
んんっ！
んんっ！
クリ
クリ
クリ

……
ゴクッ
ハ…
ハ…
ス…
これが綾音のおっぱい…
ぷるんっ
乳首ビンビン…
ドキドキ
ピン
ムニ…
あんっ
ちゅる
ちゅる
こいつ…また乳首かたくなってる
あはあっ！
んあっ
ペロ
やっ
レロ
レロ
んあ
ビク
ビク
声…やらしすぎんだろ！

次は…
ハ…
ムチ♡
パンツ濡れてるな…
ビク
あっ
ひあ
ヌル
ビクッ
ビクッ
はあっ
うわ…ぐちゅぐちゅしてる…
ふあっああ…っん！
ぐちゃっ
ぐちゃっ
ドキ…ドキ…
そういやこいつここをよくいじってたな…
ニチャ…♡

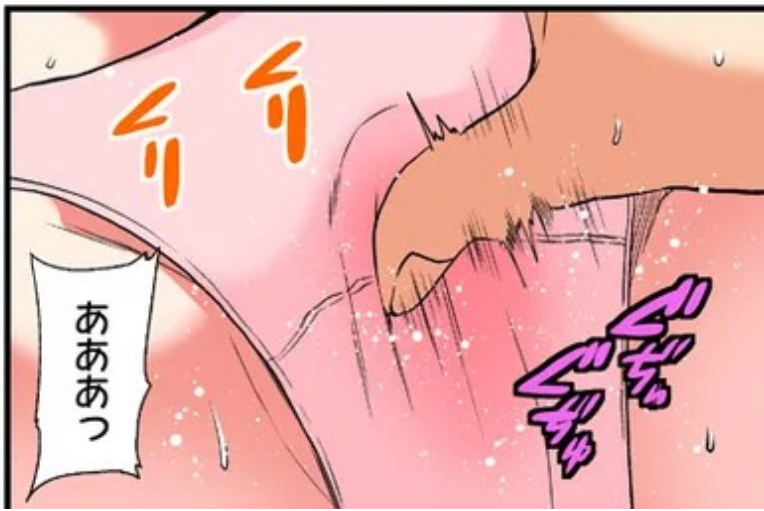
クリ♡
クリ♡
ドドン
ビクッ
ビクッ

ゴクッ

はあっ
あっあ！
ビクッ
ビクッ

スル…

さっきよりも感じてる…
もしかしてここがクリってやつか？


クリ
クリ
ああああっ
ぐぢゅぐぢゅ

ハァ
すげ…
綾音の
ま○こ…
トロォ…♡
うお…
指が入る…
アプ…
中…
あったけぇ
ヌチュ
ヌチュ
ぬるぬる
だ…
ヌチュ
ヌチュ
気づいてねぇ
みたいだし…
挿れても…
いいいい
よな…？
ハ…
ハ…
あ…ああ…

挿れるぞ…
ん…
ビクッ
ズニュ…
パン!!
ぎゃあああああっ
あっ
んあ!
あっ
ジュプッ
ジュプッ
入ってる――!
わたし…
エッチしてる!
はっ
あっ
パン
パン
現実でも…こんな
かっこいい人と
初体験…したいな――
そういえばこの人
誰かに似て…
はあ

ハッ
ハッ
あっあああっ！
んあっあっや！

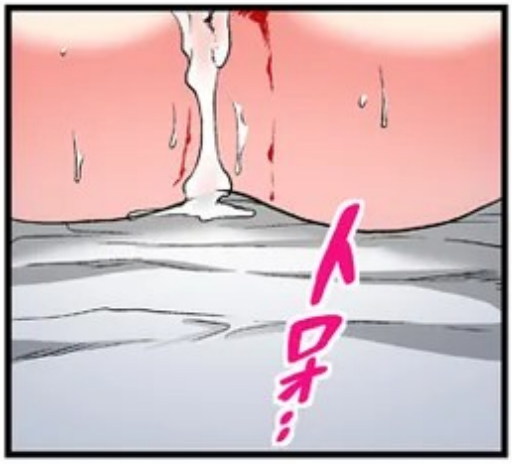
あっ！
んあ

んあ
ああ

綾音…っ
綾音っ！

くっ！
やべぇ…綾音の中超気持ちいい…！

ああああ…!!
ビクン ビクン
ハア… ハア…
ほんとに…エッチしたみたい…


イロオ…

ビュク…!
ビュク…!
は…っ
は…っ

ドク
綾音の処女…
俺がもらっちまった…

はぁ…!
はぁ…!
はあっ

エロVRに夢中なあの子

あ
ガラ
直くん
おはよ
昨日は何時
くらいに
帰って来たの？
ん…ああ…
し 深夜だよ
0時過ぎとか…
パシャ
パシャ
それじゃ
あまり寝て
ないでしょ
授業中眠く
なっちゃうよ
ジャー
……
ドキ
ドキ
昨日…綾音と
やっちまった
んだよなー…
ほらっ早く
朝ごはん食べて
学校いこっ
おおう

昨日あげたエッチなVRどうだった？
わっ
ままなかちゃん
え…あー…どうって…
見てみたんだよね？よかった？エッチだった？
…っべ…別に
別にって顔じゃないじゃんw
はい！新しいやつ
ドキ
え!?
またプレイしたらアンケートに答えといてよね

あれか！

…！

瀬戸のやつ…
瀬戸ってかわいいよな
ずる

ニッ

ス…

昨晩は彩音1人だったんでしょ？大丈夫だった？
ビクッ

はーい！2人にお土産！
わー叔母さんありがと
なにこれ
何だこれ…

うん！
大丈夫
だったよ！
……
叔母さんたちも
旅行楽しかった？
楽しかったよ！
ご飯がすごく
おいしくてさー！
俺
風呂入って
くるわ
あ次
私入るね

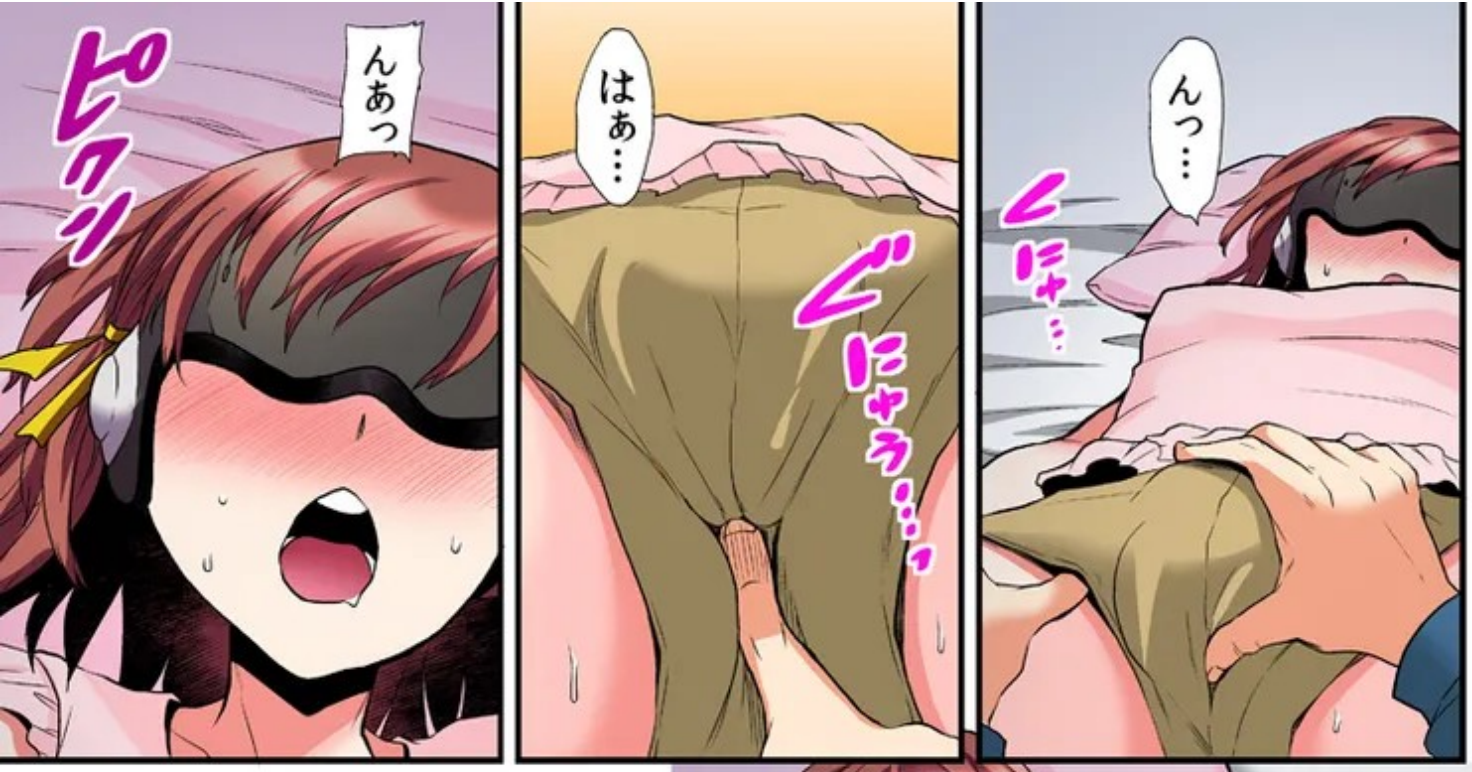
はぁ～～
やべえ…
昨日のこと思い出して
すげぇ綾音のこと
意識してしまう…
う…
勃ってきた
チャプ…

新しいの
もらっちゃった…
ドキ
ドキ
はー
ギ…
……
きゅんっ
きゅんっ
よし…やっちゃお…
ドキ
ドキ
あれ…？
今度は
ホテルじゃない…
会社のオフィス？

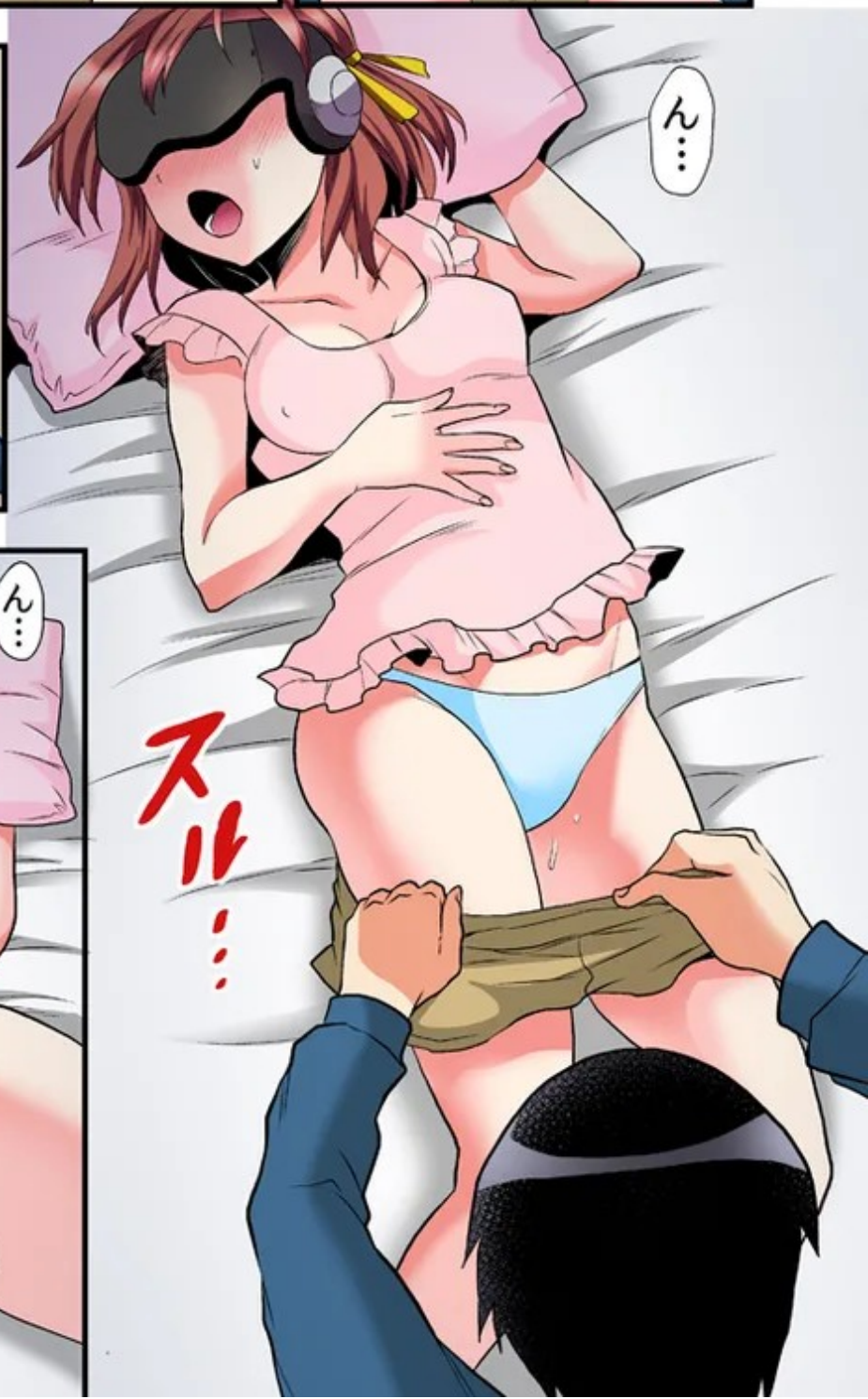
あ…今度は
胸の大きさ
そのままだ…
前のはオプション
だったのかな？
この格好…
OLさんの
制服かな？
ビクッ
残念…
2人きりに
なったな
!!
前とは
違う人…
あ…でも
この人のほうが…
んう！
会社に
残ってるのは
俺たちだけだ
ハ…
声 我慢
しなくていい
ムニッ

あ…っ
ん…
ムニ…
あ…っ！
ムニ…
んあっ！
乳首…かたくなってるぞ
きゃ…
ムニ…
きゃっ…
ゾゾゾ
ゾゾゾ
私…またエッチしちゃうんだ…
ん…っ

コン
コン
綾音…？
ゴク…
……
風呂…あがったぞ
次 お前 入るって…
ガ…
ハ…
んっ…
ハ…
ドキ！
くちゅ
くちゅ
ん…っ
やっぱり――
……
ん…
ギ…
あ…


んっ…
にゃ…
はぁ…
にゃう…
んあっ
ピクン

……
ハ…
ハ


ん…
スル…

ん…
ふ…
ほんと
気づかねぇな
こいつ…
ムチ

ハァ
ハァ
にちゃ…っ
あぁっ！
んあ
くちゃ
こす
こす
くちゃっ
くちゃ

ぐちゃ
ぐちゃ
やあ
あっ

うお…
すげぇ
染み…
ヌル
ヌル…
ハァ
ハァ
スル…
ニチャア…
トロ…

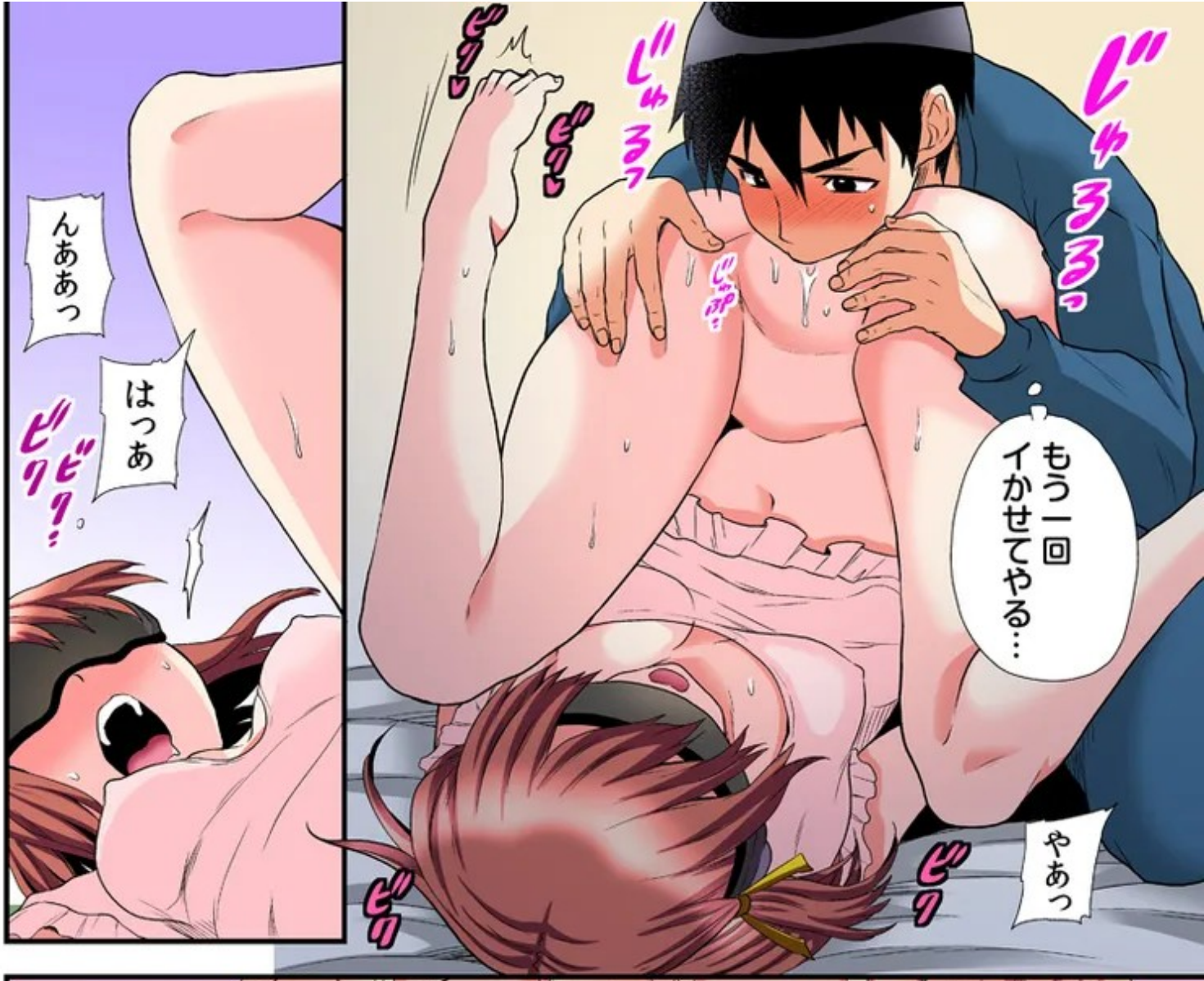
ゴソ…
……
ゴク…
ヴィイイイ…
ヴィイイ…
ビク
ヴィイイイイ…
ビク
んあああああっ
じゅぽぽっ
すげぇ感じてる……
い…いっ
あっ
んっ
んん
ビクッビクッビクッ
ビクッビクッ
ビク
やあああっ
ビク

もっと声…
出していいんだぜ
エロい声
聞かせろよ
はぁ…
ビク
ビク
や…あ…
ぐぢゅ
ぐぢゅ
んっ
くちゅ
くちゅ
やああっ
ゾクゾク
だ めぇ…っ！
そこぉ…っ
こすっちゃ…！
ここか？
ニュ
ニュ
あんっ
ビク
だめっあ！
んあっ
くり
くり
すご…いよぉ…！
気持ちよすぎて…
もっとして…っ
ぐぢゅ
ぐぢゅ
ビク
ビク

ヴィィィ…
ああっ
ガク
ガク
ヴィィィ…
ヴィィィ…
ひあああ
も…イッちゃう…
イッちゃ…
イク…ッ！
あっや…イ…
イ…ック…ぅ…
ビク
ビク
ビク

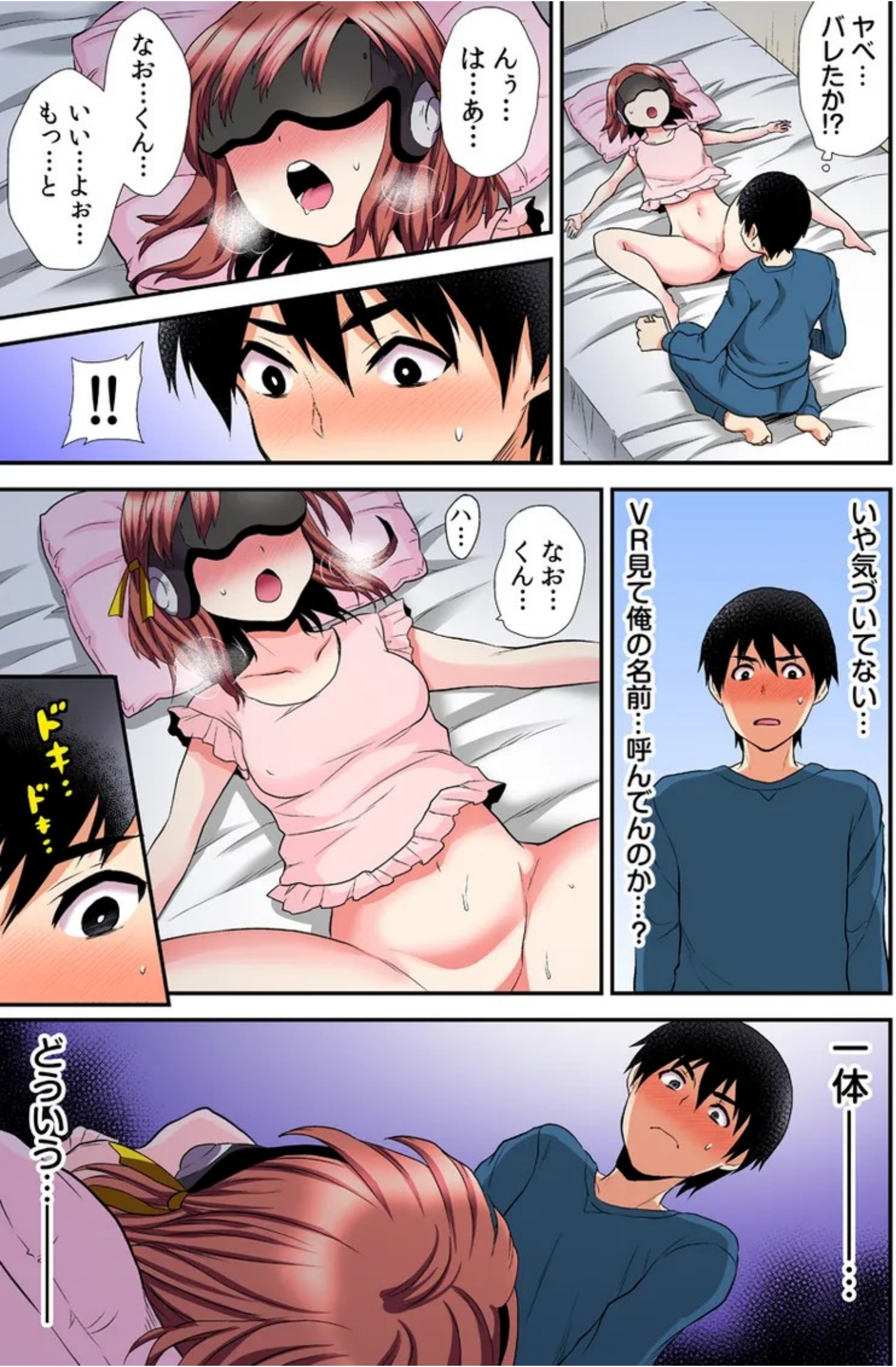
ハー
ハー
すっげ…糸引いてる
ニチャ…
ぱ…
ビク…
ビク…
きゅん
きゅん
ふあ…っ
ビク
ビク
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ヌロ…
ハァ
ヌロ…
綾音の汁…こんな味なのか…
ハァ
止まんねぇ！
あっ
あんっ
ちゅぷ
ちゅぷ
ぢゅるるっ

ちゅるっ
ちゅるるっ
やあっ
はああ
ビクッ
ビクン
ビクン
ビクッ
んいっ
ヌチュ…
ヌチュ…
ひっ
クOも大きくなってるな…
あっ
ああっ
ガク
ガク
イッたばかりで…感じすぎちゃうよぉ…っ！
ちゅぷ
ちゅぷっ
俺の…
名前呼んでくれよ…
ハア…
ドク…ッ


じゅるるっ
ビクッ
ビクッ
じゅぷっ
もう一回
イかせてやる…
やあっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
はっあ
んあぁっ

な…まえ…
は…あ…

なお…
く…ん…？
ハア…
!!
ドキ

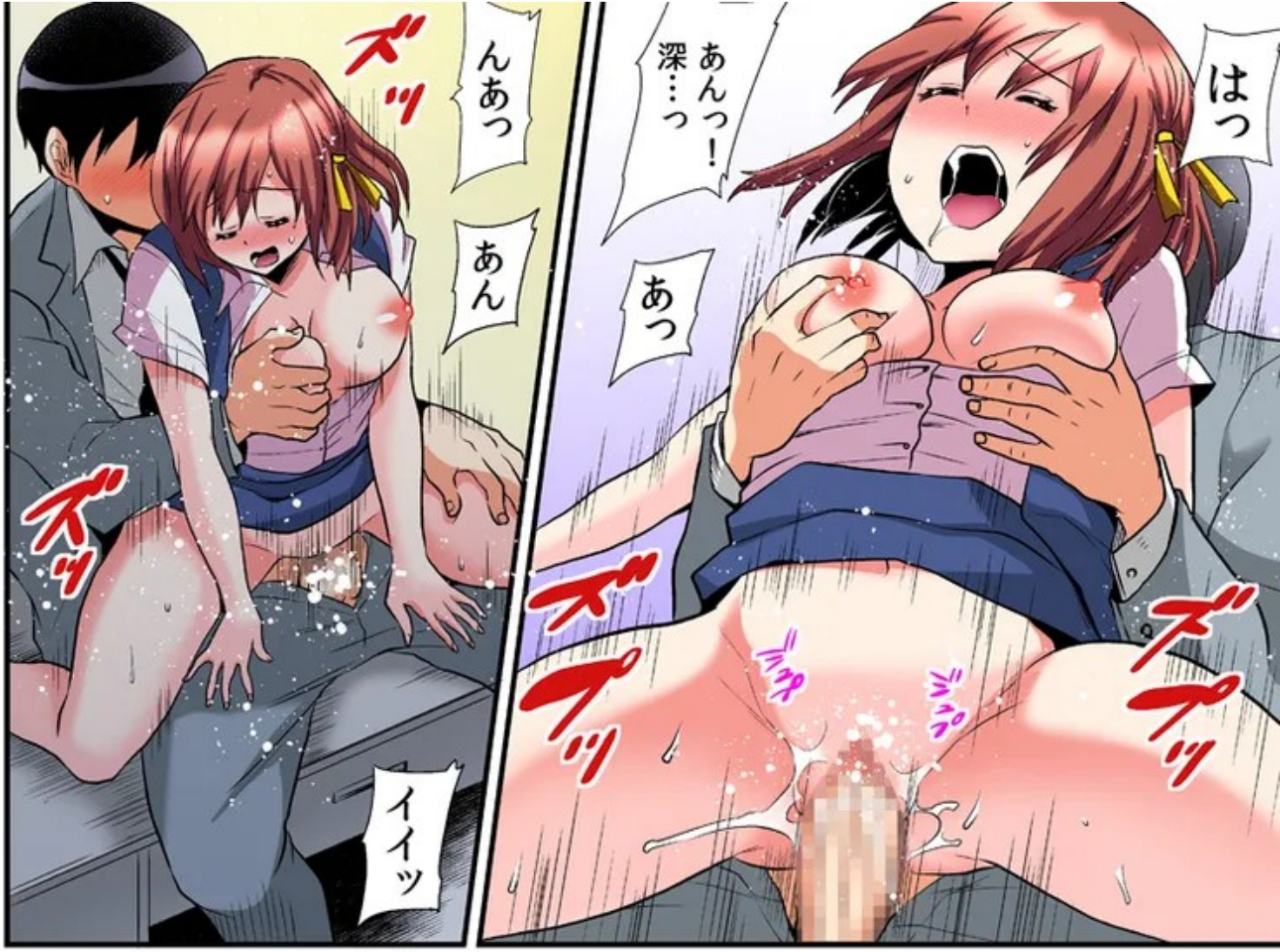

ヤベ…
バレたか!?
んぅ…
は…あ…
なお…くん…
いい…よぉ…
もっ…と
!!
いや気づいてない…
VR見て俺の名前…呼んでんのか…?
なお…
くん…
ハ…
ドキ…ドキ…
一体――――…
どういう…――――

……っ
やべぇ…
やべぇ…！
なおくん
こいつ…
もしかして
俺のこと――
興奮
してきた…っ

ハァ
エロい…
ぷるん
んぅ…
ハァ
綾音…
ヒク
ヒク
うお…っ
ヌルヌルで
気持ちいい…！
ピクン
ヌチュ
ヌチュ
くちゅっ
くちゅっ
ニチュ
ニチュ
ん…う…
ピク
彩音のま○こに
こすりつけてる
だけでイキそうだ
くちゅっ
くちゅっ
んんっ
ビク!
ビク!
ニチャ
ニチャ

なお…
く…ん…
あ…ん…
ハア…
もう…
ズク…
我慢
できねぇ――!
ズブ…
んっおぉ
ぎゅっ
ハッ
ふ…っ
ヴィィ
ヴィィ
んっ
んっ

綾音っ！
綾音っ
あっああ
ギュプ
ギュプ
ギュプ
アプッ
アプッ
んあっ
あ
んう
レロ
ぁあっ
じゅるるっ
カリ
カリ
カリ
ハァ
ハァ…ッ
アチュ
アチュ
ひあ
ギッ
ギッ
ジュプ
ジュプ
あっあ！
ハァ
ハァ
ズプ
ズプ

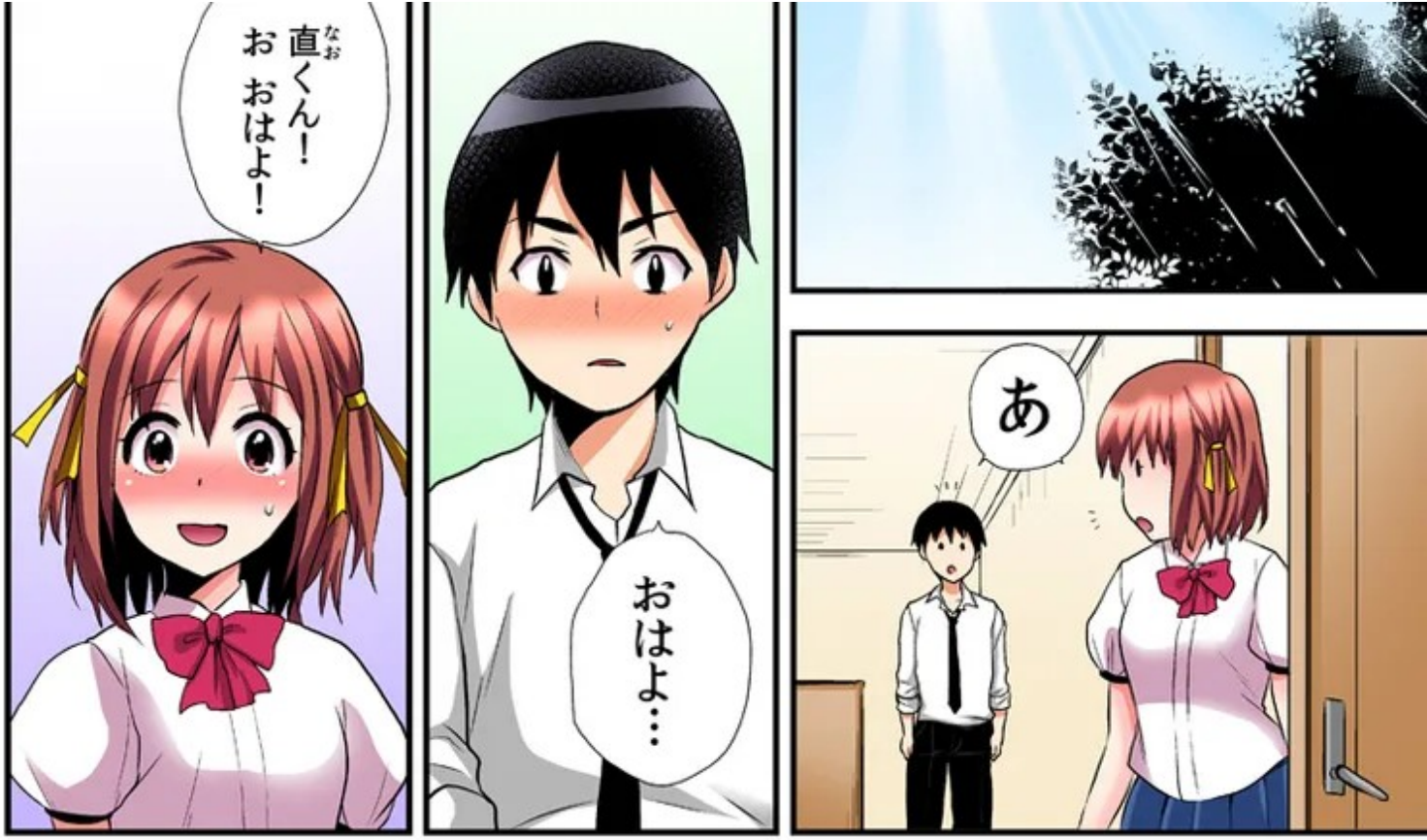

はっ
あんっ！
深…っ
あっ
ズブッ
ズブッ
ヴヴヴ
ヴィィン
んあっ
あん
ズッ
ズッ
イイッ

ふあっあん
んっん
ズブッ
ズブッ

ああっ
はっ
パン
パンッ

あっ
なおくん…っ
なおくん…っ
も…っイ…

イク…ッ
イク…ッ
イッちゃう…！
も…イ…ッ
ズンズン
ビク…
くっ！
ビュル…
ぎゅっ


直くん！
おはよ！
おはよ…
あ

昨日のVR…
直くんに重ねて
見ちゃった…
恥ずかしくて
なおくんの顔が
見れないよぉ…
綾音
その…
ドキ…
ドキ…

そそう…

な なに？
直くん

あ…いや…
なんでもねぇ…

さっさと
朝飯食って
学校行こうぜ
うんっ
そうだね

エロVRに夢中なあの子

ごちそうさまでした！
綾音
先にお風呂入っちゃって
うん
今日も叔父さん遅いの？
ん～そうなのよねぇ
……
直くん私の次にお風呂入る？
お
おう
彩音…
ザー！
くそ…目が合わせられねぇ…
ドキドキ
シャー！

あんなエッチなモノを
……
2日も連続で見ちゃったからだ…
シャー…
あー…アソコにシャワーをあてたら…
あっ
あん…
ビク
ビク
きゅん
きゅん
きゅん
気持ち良い…っ
シャー
変な気持ちになってきちゃった…
きゅん
きゅん
ゾク…
んぁ…
んっ
シャー…
ふんふ～
シャー…
♪

ああ…気持ち良いよぉ…
は
ハッ
ハッ
あ…
ゾクゾク
ニャー!
私ってこんなにエッチな子だったの…?
あっ
あん
ニャー!!
んぁ…
ゾクゾク!
あ…あ
んっ!
ふっ
んんっ♥
ニャー!!
ビクッ
ビクッ
うう…これも全部まなかちゃんのせいだ…
へくしっ
?

は
あっ…
はあんっ
んあ
あん！
あは！
とまんない…っ！
あっあ
いいよぉ
あ…あ…
指が…中に
入っちゃ…
!?

え…指…
痛くない…!?
クチュ…
あれ!? もしかして…
破れてる…!?
1-3
綾音ぇ～
どうしたの
元気ないじゃん
あ あのね
まなかちゃん…

えぇ～っ!?
オ◎ニーのしすぎで
処女膜が破れたー!?
ぎゃあ
声が大きい
いいいいいいっ

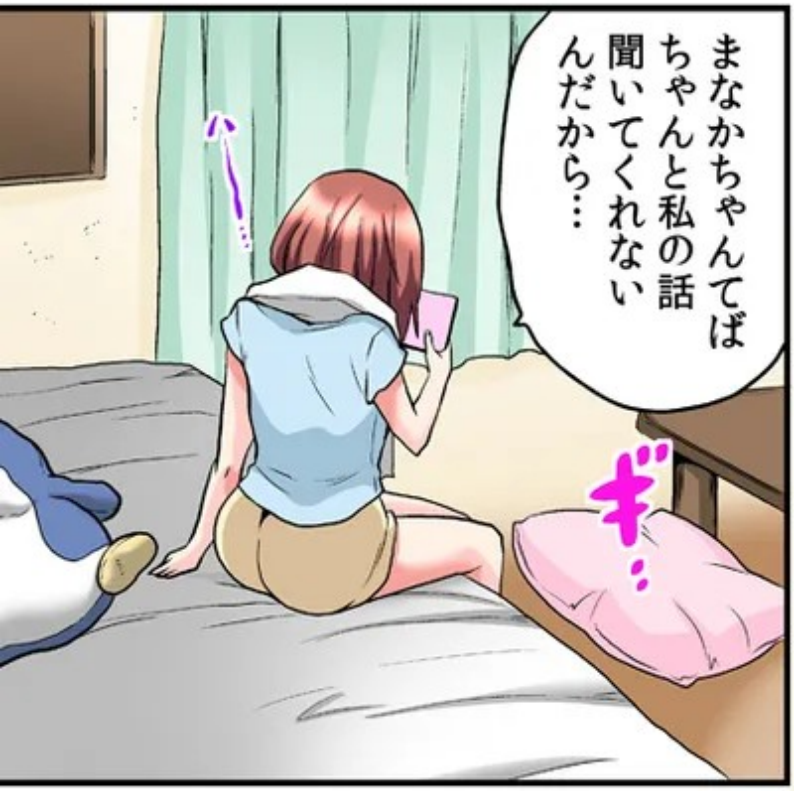
みんなに
聞こえちゃう
でしょ～!
しょ…処女?
まっく?
ドキ

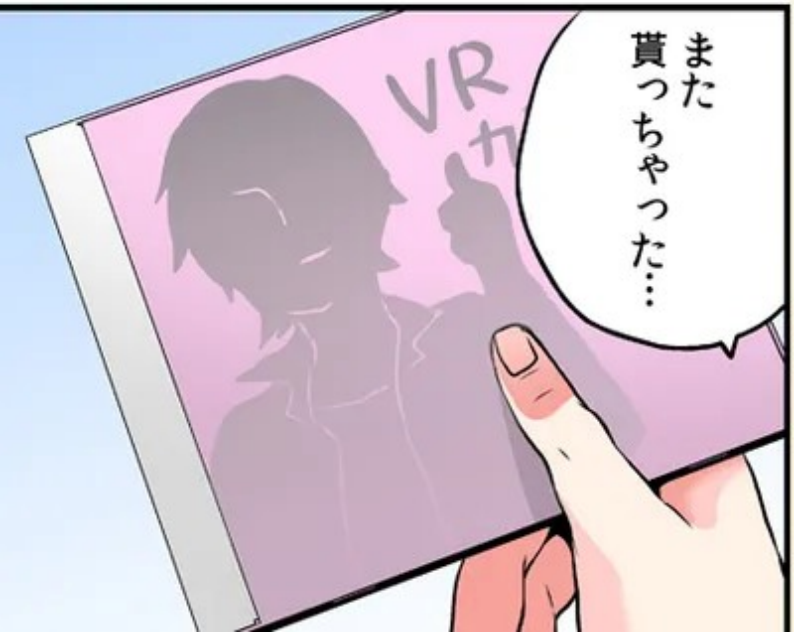
スポーツ選手だって
激しい練習で破け
ちゃうってのは
よく聞く話だし
気にすることないよ
私だって半月状で
ほぼないようなモン
だしさ～

まなかちゃん
もうヤダー!
私まだ処女なのにー!
まぁ…

瀬戸め…
カア
俺
昨夜ヤってきた
俺も…

まなか
ちゃん…
これ！新作の
サンプルね！
よろしく！
という
わけでぇ
キラ


まなかちゃんてば
ちゃんと私の話
聞いてくれない
んだから…


また
貰っちゃった…
VR

はー…

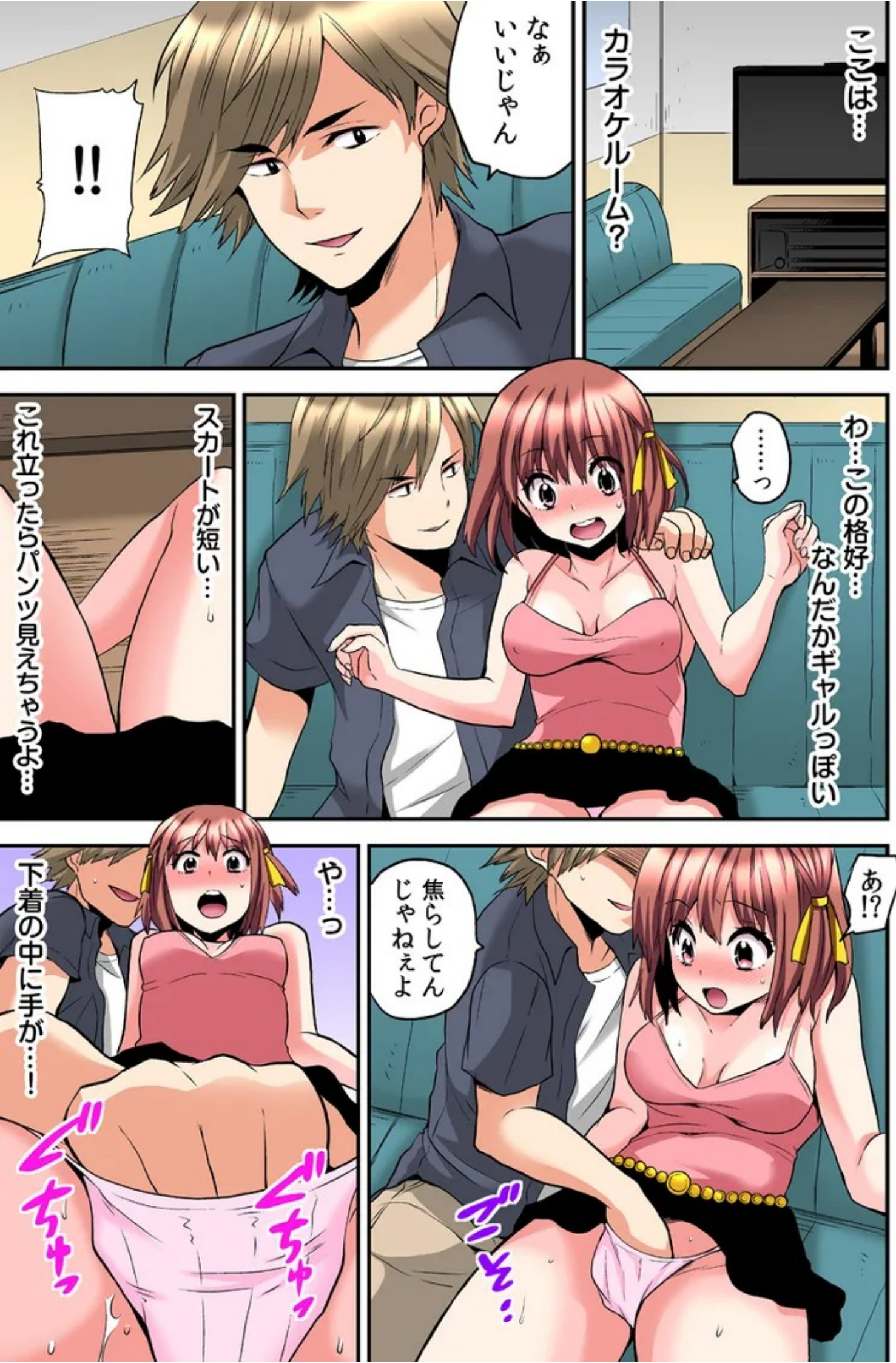
こういうタイプ苦手かも…
私はもっとやさしくて…

直(なお)くんは…どんなエッチするんだろ…

ま まぁ強引なのも嫌いじゃないし…やっちゃおっと！

VR START

カシャ…

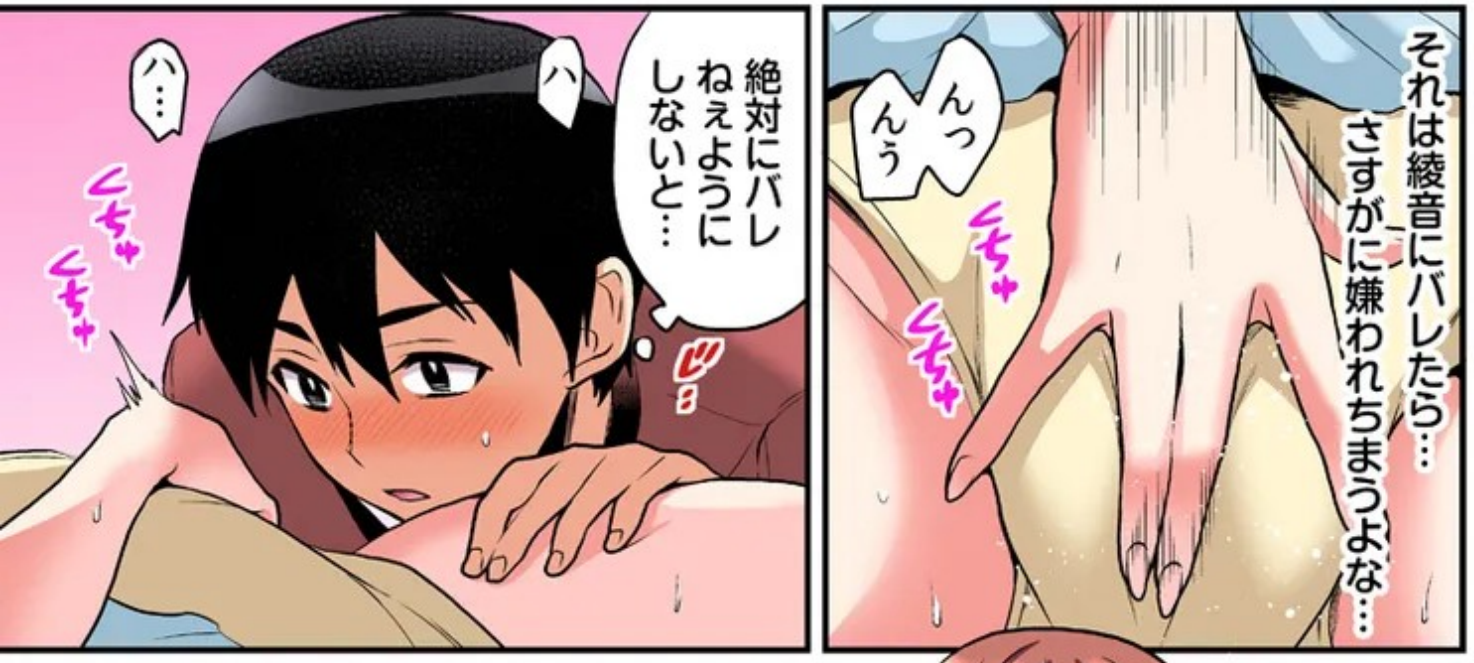

ここは…
カラオケルーム？
なぁ
いいじゃん
!!
わ…この格好…
なんだかギャルっぽい
……っ
スカートが短い…
これ立ったらパンツ見えちゃうよ…
あ!?
焦らしてん
じゃねぇよ
ぐっそ…
や…っ
下着の中に手が…!
ぐちゃっ
ぐちゃっ

いや…
お前だってハメたくて来たんだろぉ？
あっ
ムニィ
ぐちゅ
ぐちゅ
あ…っ手つきが激しいよぉ…っ
ぐちゅ
足閉じてんじゃねぇよ！
あっ
は…あ
ビク
ビク
すげぇヌレヌレじゃん
あ…
あひ
はっ
ビク…
乱暴だけど…気持ちいい…っ
あんっ
ぐちゅ
ぐちゅ

んっ
ビクッ
んんっ
は…
ふあ
んぅ
んん！
はぁ…
あ…！

やってるな…
ドキドキ
ギ…
あん
…ん
あ
ハァ
ハァ
は
あ
ドキドキ
ゴク。
綾音の処女…
はぁ
くちゅ
くちゅ
あっん
くちゅ
くちゅ

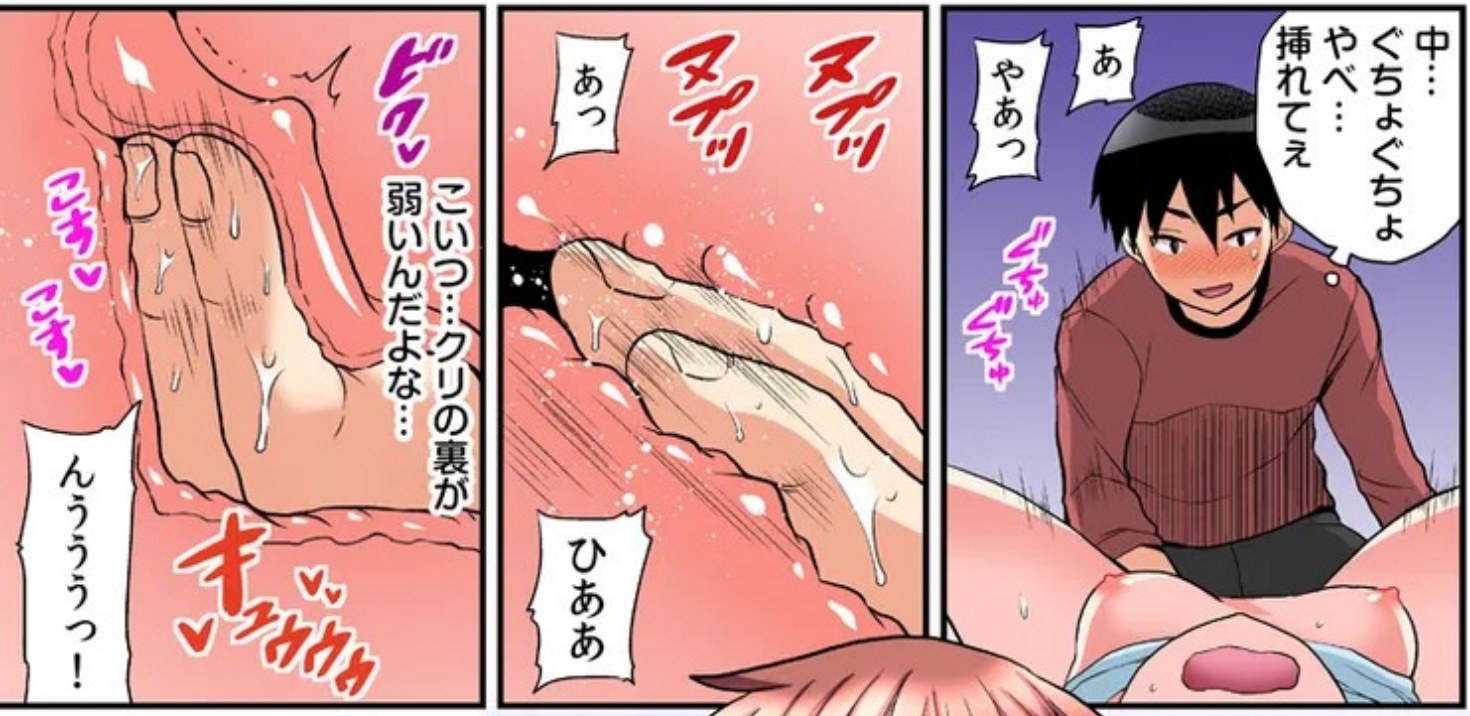
俺がもらっちまったんだよなぁ…
ギ…
は
あ…
は…っ
ビクッ
ビクッ
くちゅ
くちゅ


それは綾音にバレたら…
さすがに嫌われちまうよな…
んっ
んぅ
くちゅ
くちゅ
絶対にバレねぇようにしないと…
ハ
ハ…
くちゅ
くちゅ

濡れまくってすげぇやらしい音がする…
あん
あっ
んぁ
くちゅ
くちゅ
くぱっ
ああ
くぱっ
ニチャ
ニチャ

最後まで唄えよ
唄えないと
お仕置きすっからな
あ…っ
あ
んっん
うん！
んあっ
はぁ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
こんなの…最後まで
唄えないよぉ…
ハァ
ハ

んっんん!!
んあっ
ぐちゃぐちゃ
ヌプ
ヌプ


中…
ぐちょぐちょ
やべ…
挿れてぇ
あ
やあっ
ぐちゅ
ぐちゅ
ヌプッ
ヌプッ
あっ
ひあああ
こいつ…クリの裏が
弱いんだよな…
こす
こす
ビクッ
んううっ!

あ~あ
唄えなかったら
お仕置きって
言ったよなぁ?
ハア
ハア
ビクビクッ
ピクッ
あ

……
ヴィィィ。。
ブル ブル
んっ
ヴィィィ…
くちゅ
くちゅ
アル
アル
あ
あ
ビク…
ビク…
ヴィィィ…
ヌプヌプ
ひあああッ
ズププ
んあああー

お前さ～
お仕置き
されたかったん
だよなぁ!?
ち…
ちが…っ
やあっ
あっあ
んああ!
はあ
ズポ
ズポッ
ズポッ
ズポ
ズポッ
ズポッ
ズポ
ズポッ
ズポッ
ピリ♡
ピリ♡
んん♡
んうっ♡
ゴッ
ゴッ
ヴィイイ
ジュプッ
ジュプッ
ジュプッ
ジュプッ
ジュプッ
ジュプッ

ナニ？
クリ～
んうっ！
ビクッ
ビクッ
あああ～ッ
ビクッ
ヴィィィ…

あ――…
ハァ
ハァ
イッちゃった…

おい
お前だけ
気持ちよく
なってんなよ
きゃっ
ぶるんっ
咥えろよ
!!
ドキ…
わたし…こんなの
したことない…
ギン…
さっさと
しろよ！
んぐ!!
わたし……
んうっ
んっ
うぶっ
舌も
ちゃんと
使えよ
お○○ちん
咥えてる――!

あ…
あぁ
ハッ
ハッ
——ん？
この口と舌の動き…まさか
レロ…
ハ…
レロ…
ハ…
VRの中でフ○ラしてんのか？
ゴク…
バレるなよ——…
ギ…
ハァ
ハァ
ゴゾ…
……
はっ
はっ
ビク
ヤロ…

ハァ！
ハァ！
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
んっ
んっ

ソワ
ソワ

ん…
ぐぽ…

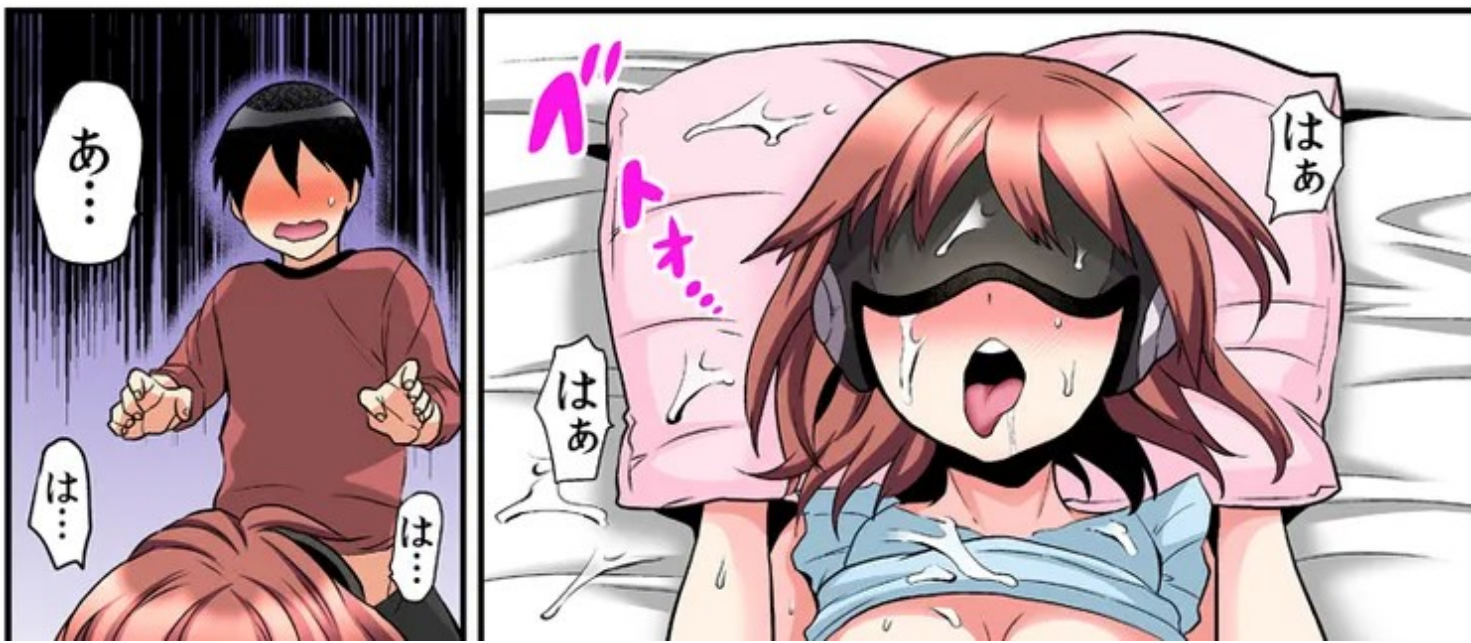
くそ…っ
綾音の口ん中…
ジュポ
ジュポ
ジュポ
超気持ちいい…！

口に出したいけど…
さすがにバレちまうな…
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ

でも…このまま
綾音の口の中に
出してぇ…！
ハァ
ハァ
ぐぽっ
ぐぽっ

どうする…
どうする!?
ぐぽぐぽっ
んっ
んっ
ズルル…
んんっ
オルル…
!?
ビクッ…

く……!!
ビュルルル…
ぷるっ
ビュ…


あ…
は…
は…
はぁ
ベトォ…
はぁ

しまった!!
痕跡を消さねえと!!
やべ
ん…
ああ～…綾音ごめんな…
んん…
綾音ぇーっ
ギク!!
綾音ー?
トン…トン…
起きてるー?
母さんが来た…
ヤバイ!!

綾音のやつはオ○ニー中!!
んっ
んっぁ!
くちゅっ
くちゅっ
ドキ…
俺はフルチ○中!!
しまえ
こんな状況母さんに見られたら…
グル
グル
何の言い訳もできない!!どうする!?どうする!?
綾音ー寝てるの?
コン
コン
明日のことでちょっと聞きたくてさー
開けるよー?
カチャ…
!

エロVRに夢中なあの子

数分前
やべえええええ!!
ズオオ
母さんが来ちまう!!
綾音!
綾音!
起きてくれぇ!!
ゆさゆさ

オ○ニーに夢中で
ブル
ブル
あぁ…
起きねえええ~!!

これしかない…

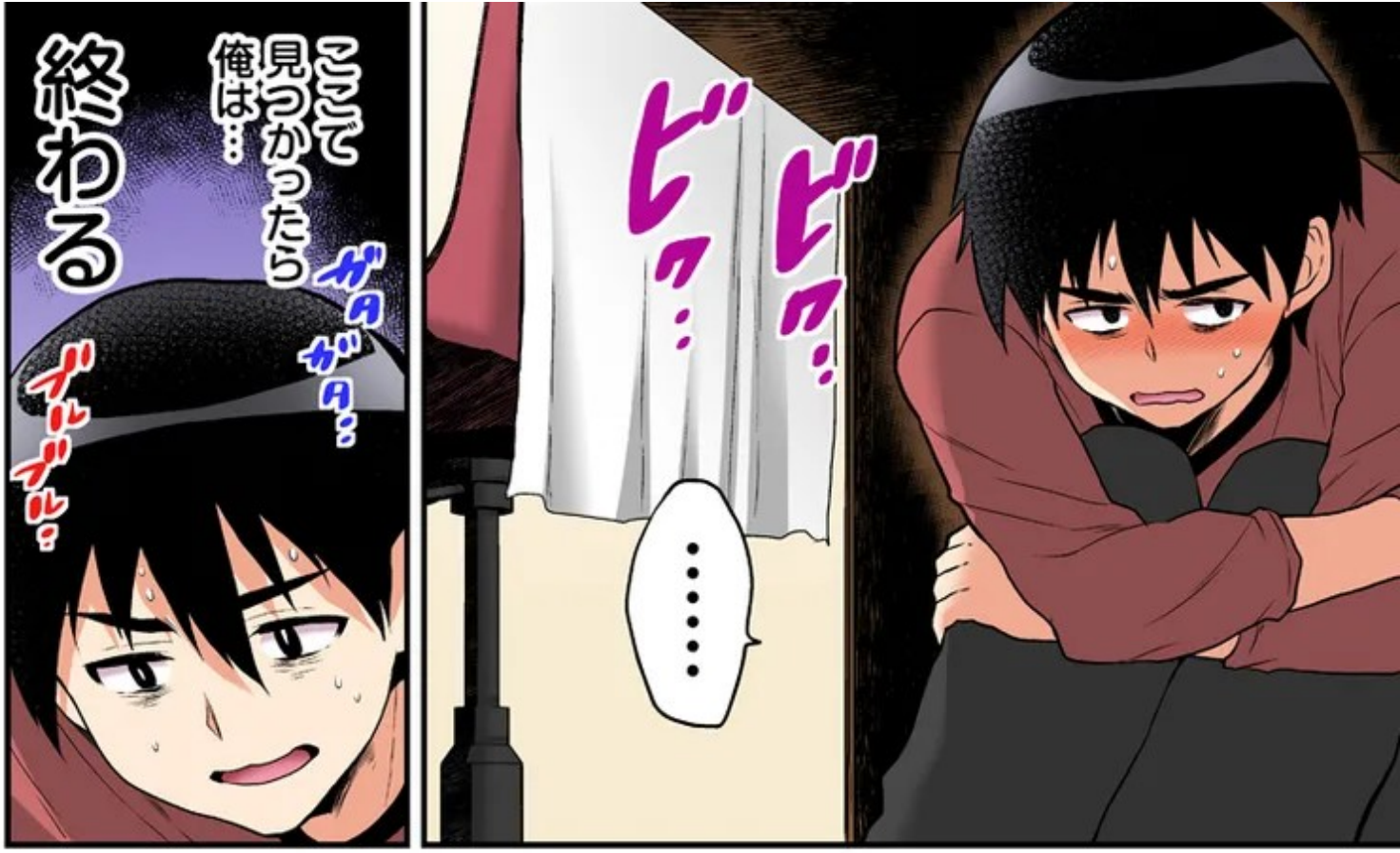
あっ!
んあ
はあっ
レちゅっ♡
レちゅっ♡
レちゅっ♡

あっ
あっ…ん
おらっ！子宮攻められんの気持ちいいだろ？
あっあん
やあ
あぁっひぁあっあんv
またイ…るv
あっあんっあv
ゴリュ
ゴリュ
ヌプ
ヌプ
何回でもア○メキメさせてやるよ！
んいっ！
ヌプッ
ヌプ
あっあ！
ふぁっ
きゅ
きゅ
ズッ
ズッ
ヂュプ
ヂュプ
こんな…荒いのも…いいかも……
も…イ…ッ
あ――…またイッちゃう…
パ〃

あれ!?
どうしたの!?
真っ暗になった!?
何かの
エラーかなぁ?
ギ…
ちょうど
いいところ
だったのになぁ
よっと…
コン
コン
綾音〜
ビクッ
え!?
寝てるの?
叔母さん!?
あ!?
ギョッ

あれ!? パンツ脱げてる!
うそ…いつの間に!?
ぱぱぱ
パンツ…
パンツ
パンツ
履かなきゃ
……
ドニ…
開けるよー?
カ
カバイ
!
カチャ

あごめん
寝てた？
ううん
明日…
日直だから
今日は早めに
寝ようと思って
そうそう
それで明日の
ことなんだけどさ
……
……
危なかった～～!!


ビクッ…
ビクッ…
……
ここで見つかったら俺は…
ガタガタ…
ブルブル…
終わる

そういうわけだから！綾音起こしてごめんね～おやすみ！
うん
おやすみ

バタン…

は～～～

は～～～

危なかった～
偶然VRが止まってくれたからよかったものの…
フゥー
あのままオ○ニーしてるところ見られてたら…
ドキドキ
まだドキドキしてる…
これからは気をつけなきゃ
いつの間にパンツ脱いだのかな私…
あ…パンツあった
でも…なんで急にVR止まっちゃったんだろ？
よっ
あれ？トレイがパソコンから出てる…
!!

え…
なんで…直くんがここに!?

え?
え?
いつから!?

ドッ
ドッ
もしかして直くんに…
オ○ニーしてるの…
見られた!?

きっと今の叔母さんのように私に用があってここに来たのに
くぃっ
私がVRに夢中で直くんが入って来たのに気づかなかったんだ…！
直くん気まずかったよね…私のあんな姿見ちゃったら…
私も恥ずかしくて死にそうだよ…
あぁ…
あ…！
もしかして――…叔母さんが来たときにVRを止めてくれたのは…
直くん…!?
私を…助けてくれた…？
ドキ…

あ ディスクが出ちゃってたんだ～
このノートパソコンももう古いからなぁ
……
きゅ…っ
ドキ…
ドキ…
気づかれてない…
よし…っ！

もう1回やろっと

ギ…

せっかく直くんが庇ってくれたんだし…
ここは気づかないフリしなきゃ…
ぎゅ…っ

……
ゴソ…
ハッ!!
パタン…
あぶなかった…
たぁ～～～
なんとか綾音や母さんにバレずにすんだけど…
ドキ…ドキ…
しばらくは綾音の部屋に行くのはやめよう…

ムク…
……

は～…
ボフ

一体いつから直くんは
私の部屋にいたんだろ…
ドキ…ドキ…
今回が…初めてだったのかな…？

思い返せば――…
は…
VRにしては…
気持ちいいことの
連続だった…
ドキ…
きゅん。
きゅん。

下半身が丸裸だったのも…
オ○ニー中に私が無意識にパンツを脱いだのかと思ってたけど…
それどころか――
直くんに体を弄られて…!?
だとしたら私がオ○ニーしてるとこ
直くんはずっと見てたの…!?
もしかして――
直くんが脱がせたんじゃ…
ガバッ
!!

ベチャ…
え…
こ…これって精○…!?
ニチャ…
もしかして…
ドキ…
ドキ…
直くんの…?
まさか直くん——
私のオ○ニーを見て…
直くんもここで… オ○ニーしてた!?

もぉ…っ
直くんてば
汚したら
拭いていいって
よね！バカ！
ニギー
フキフキ
直くんの
バカ…
……
ドキ…
ドキ…
直くん――
きゅん…
ゴク…
だめ…アソコが…
きゅん…
うずいて――…
は…っ
あ…
なお…
く…ん
くちゅ…っ

やべぇ…
今回だけは
だめかと
思った…
は～…
でも綾音にも
気づかれ
なかったし…

……はぁ
綾音の部屋
行っちゃ
やべぇよな…
あ～～っ
綾音とエッチ
してぇ…

んっ
んっ
そういえば——
前のVRで
出てきた男の人を
あっ
お…
直くんと重ねて
直くんの名前を
呼んじゃった…
まさか今回も
同じことを
してないかな…
あっあ!
ん!あ
もし…
聞かれていた
としたら——
は…
とても——…
はずかしい……っ

くそっ!!
ガバッ
また勃ってきた…
グルル
ハ…
ボロン…
はっ
んあ
ビクン
ビクン
ハッ
ハッ
シュッ
シュッ
ニュプ
ニュプ

あはぁ
でも…
あ…んっ
ビクビク
くちゅっ
くちゅっ
直くんになら
見られても――

クリ
クリ
あっ
ひぁ
ビクンビクン
カリ
カリ
ジュク
止まんないよぉ…っ

は…
だめ…も…直接…
あ……っ
ヌルヌルしてる…っ
クチュ…っ
あ…
ゾクゾク…
んうっ
あっ！
ん！
あっは！
ク○が…ヌルヌルで
ビンカンになって
こすりやすく…っ
ピクン
ヌチュ
ヌチュ
んあぁ
クチュ
クチュ
はっぁ
ビクン
気持ちいい――っ！

はっ
はっ
はっ
はあ
シュッ
シュッ
綾音――……
ハッ
ハッ
あっ
ヌチュッ
ヌチュッ
直くん――……
んうっ
んっ
レちゃっ
レちゃっ
ニュプ
ニュプ

～～っく
ビクク…
ボフンッ
う～～～～
あー！
くそっ
綾音…
すきだ…
なおく…っ
くちゅくちゅ
あっあん！
んあっ
んうっ
キュッ

は…
あ…
ニチャ…
んんっ
指が…入って――
プ…ッ
！
そういえば私…処女膜やぶれてたんだっけ…
あ…これ…もしかして
ガバッ
……っ
オ○ニーでやぶれたんじゃなくて…
まさか…
ドキ…
ドキ…
私…直くんともう…？

エロVRに夢中なあの子

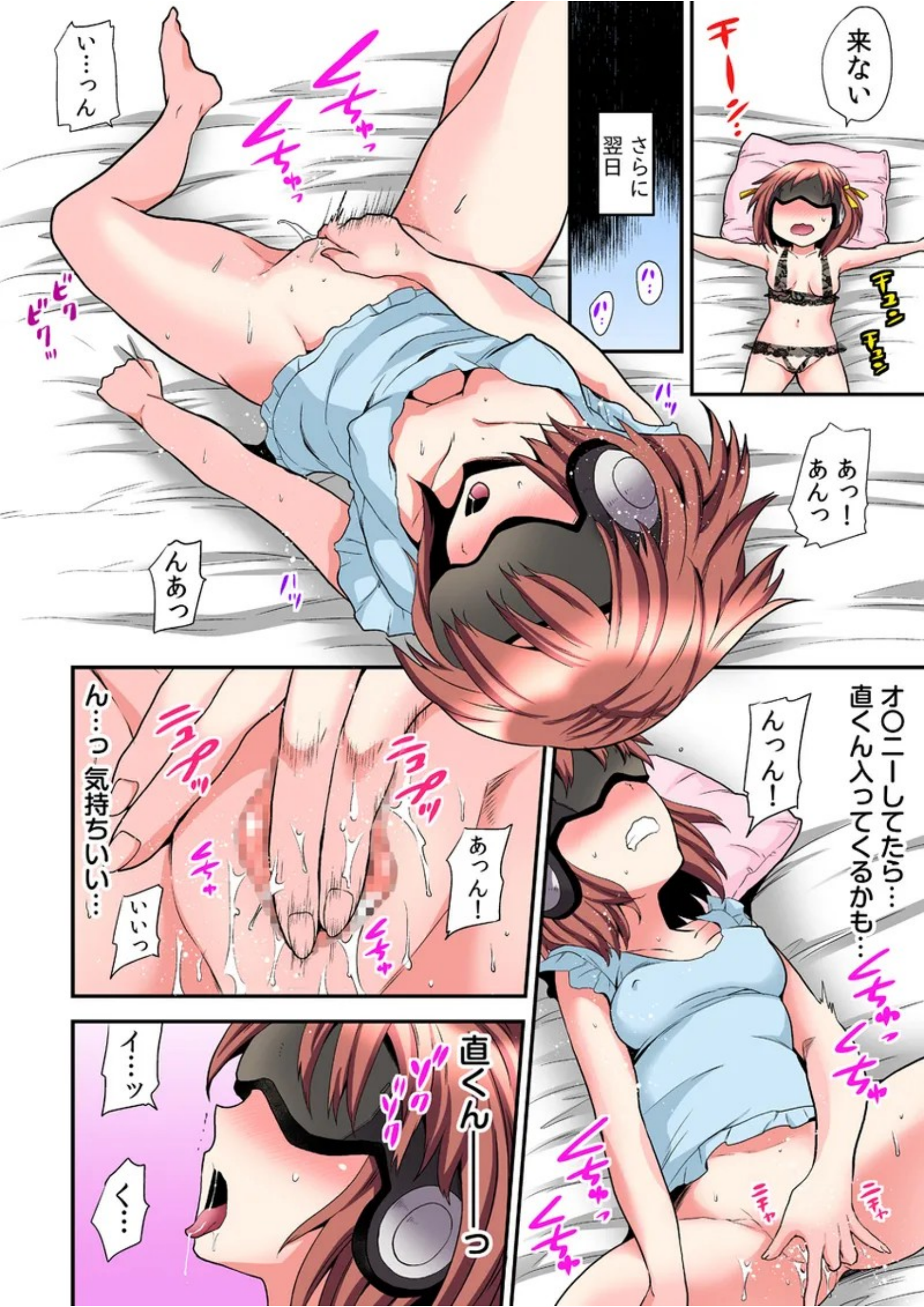
確かめて
みなくちゃ…
叔母さん
おやすみ
なさい～
あら？綾音
今日は早いのね
おやすみ！
うん
おやすみ
……

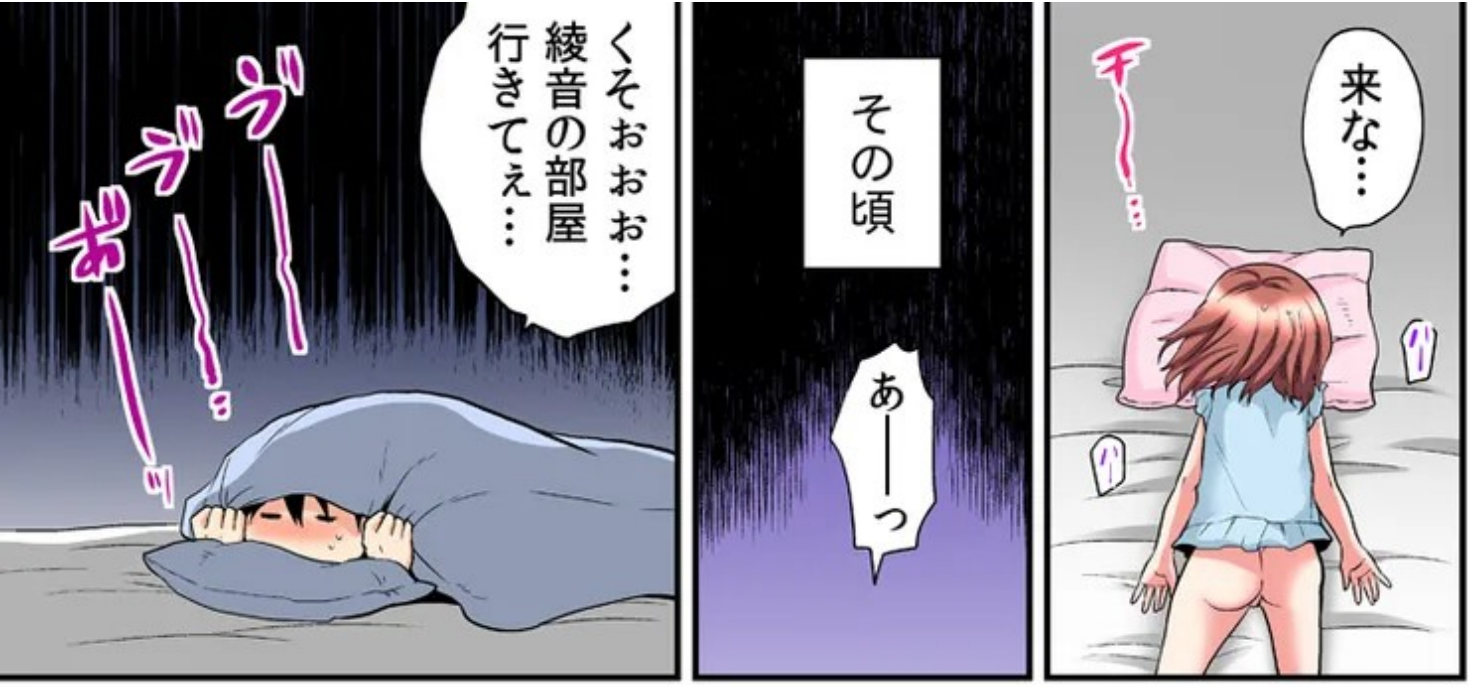
きゅ…
…
VRをしてる
フリをして
直くんを
待ってみよ…
来るかな…
直くん…
ドキ
ドキ

もし…直くんが来たら…
私にエッチなことしてきたら…
その時どうする…？
起きて…直くんの気持ちを確かめてみる…？
ああ～！でも直くん男の子だし…
ただエッチなことしたかっただけならどうしよう！
でもしそうだったらだめツライ
チ…
チ…
チ…
チ…

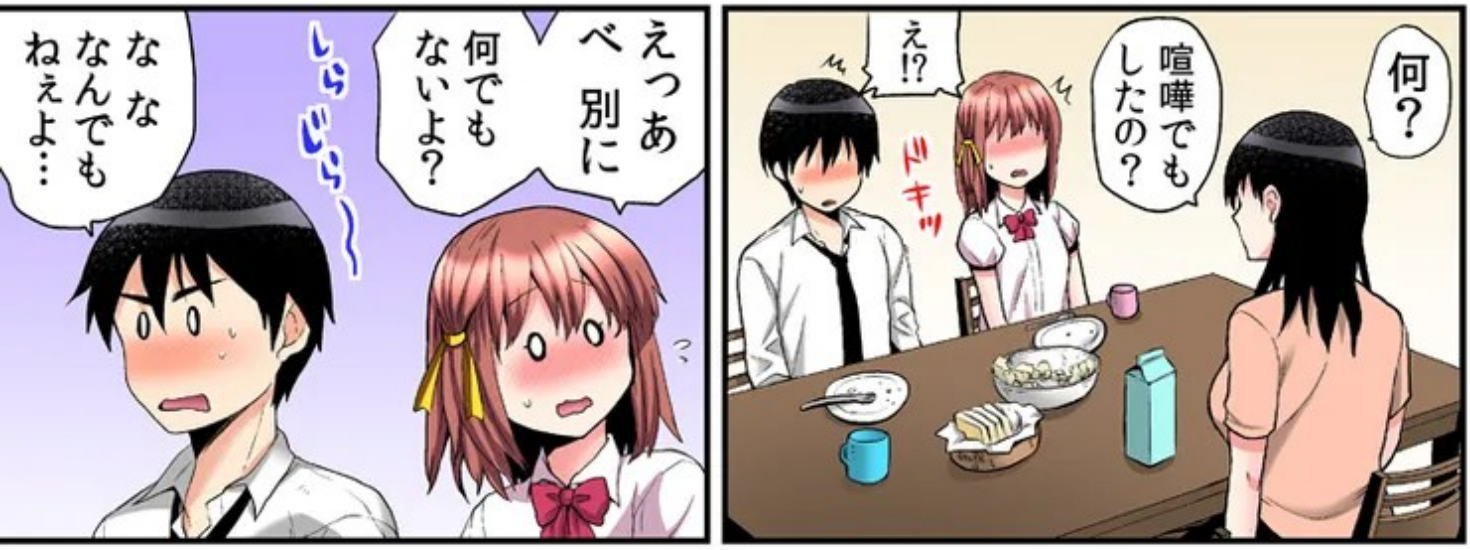
チュン…
チュン…
こ…
？？
来ない…？
くま
すごw
…

翌日
まなかちゃんに
押し付けられた
エッチな下着…
着けて
みちゃった…
はずかし…
ドキ
ドキ
あやね―ッ
これ
あげる！
ヒャ―ッ
直くんが見たら
コーフンして
くれるかな…
モジ…

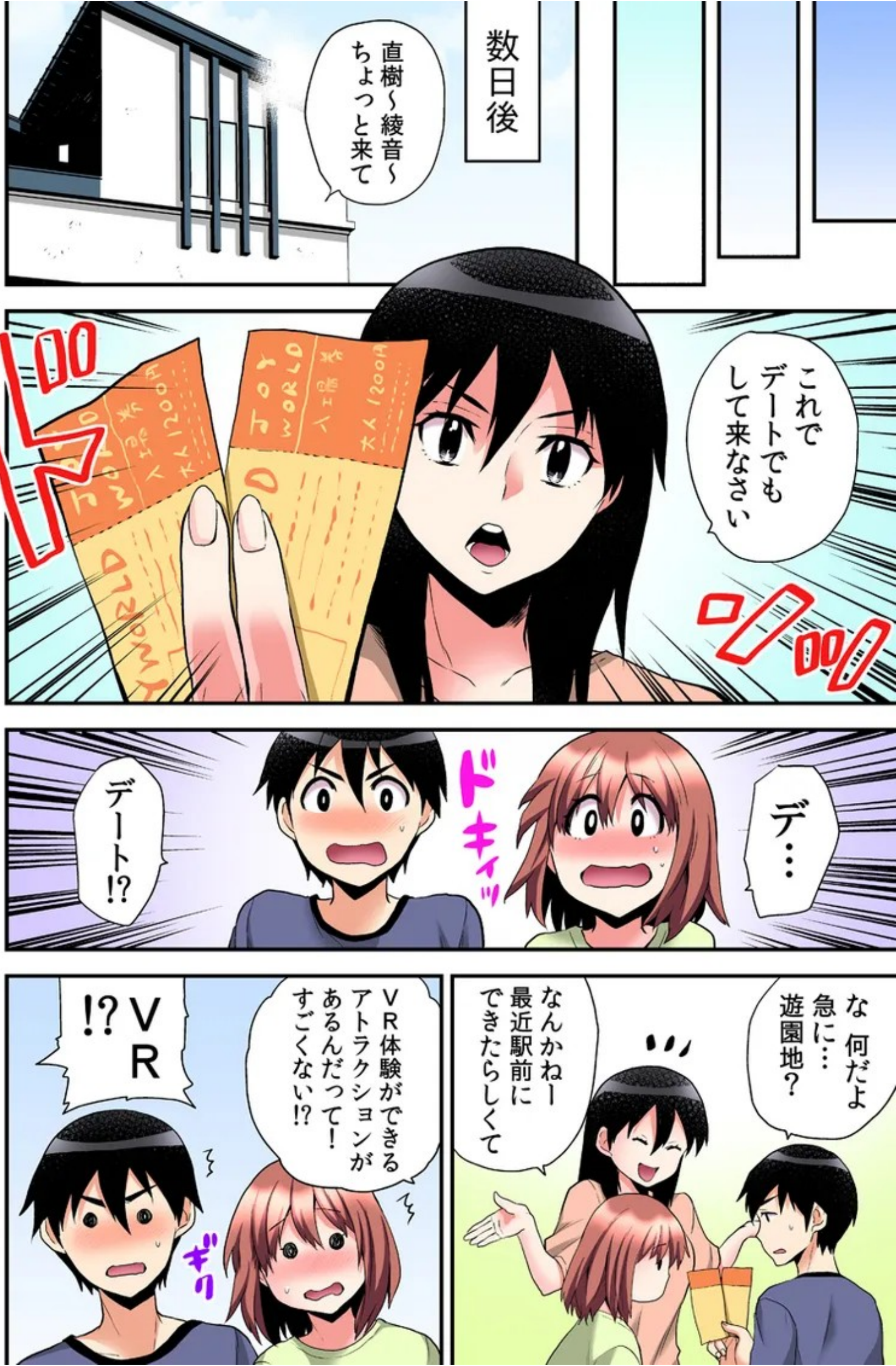

来ない
チーン!!
チュン チュン
さらに翌日
ハッ
ハッ
い…っん
クチャッ
クチャッ
ビクビクッ
ハッ
あっ! あんっ
ハッ
んあっ
オ○ニーしてたら…直くん入ってくるかも…
んっん!
クチャッ
クチャッ
ニチャ
クチャッ
クチャッ
ん…っ 気持ちいい…
いいっ
あっん!
ニュプッ
ニュプッ
クチャ
クチャ
直くん――っ
ゾクゾクゾクッ
イ…ッ
く…


来な…
その頃
あ――っ
くそおおお…
綾音の部屋
行きてぇ…
ブーーン
ブーーン
あーーー

……
もぐもぐ
……
……


何？
喧嘩でもしたの？
え!?
ドキッ
えっあべ 別に
何でもないよ？
しらじら～
ななんでもねぇよ…

あっそぉ
ふうん


数日後
直樹～綾音～
ちょっと来て
これで
デートでも
して来なさい
ドドド
デ…
ドキィッ
デート!?
な 何だよ
急に…
遊園地?
なんかねー
最近駅前に
できたらしくて
VR体験ができる
アトラクションが
あるんだって!
すごくない!?
VR
!?
ギク

あれ？
直くん…
一緒に…
行く？
ちらっ
ドキ！
ん…
まぁ…
行くか…
はい！
決まり！
イェーイ
うるせぇ
直くんとデートなんて…
恥ずかしいけど
嬉しいな…
VRってさ
どんなの
だろうね
わかんねぇ
なぁ…怖い
やつとか？

晩ご飯は2人で食べて来なさいだって！

直くん何が食べたい？

そうだな

こうやって2人でデートなんて初めてだもんね…

んー やきにく？ あ、ラーメンも…

直くんも…私とのデート嬉しいって思ってくれてるといいなぁ

あ～…綾音の顔

ドキ ドキ

ちゃんと見れねえ…っ

おっ！

ここか

ひゃあ…
ブル…ッ
やべぇ
おもしろそう…

ゾンビが出てくるゲームなのぉ!?
ブルブル
直くん！無理！私こういうの無理だよぉ！
かわいい…

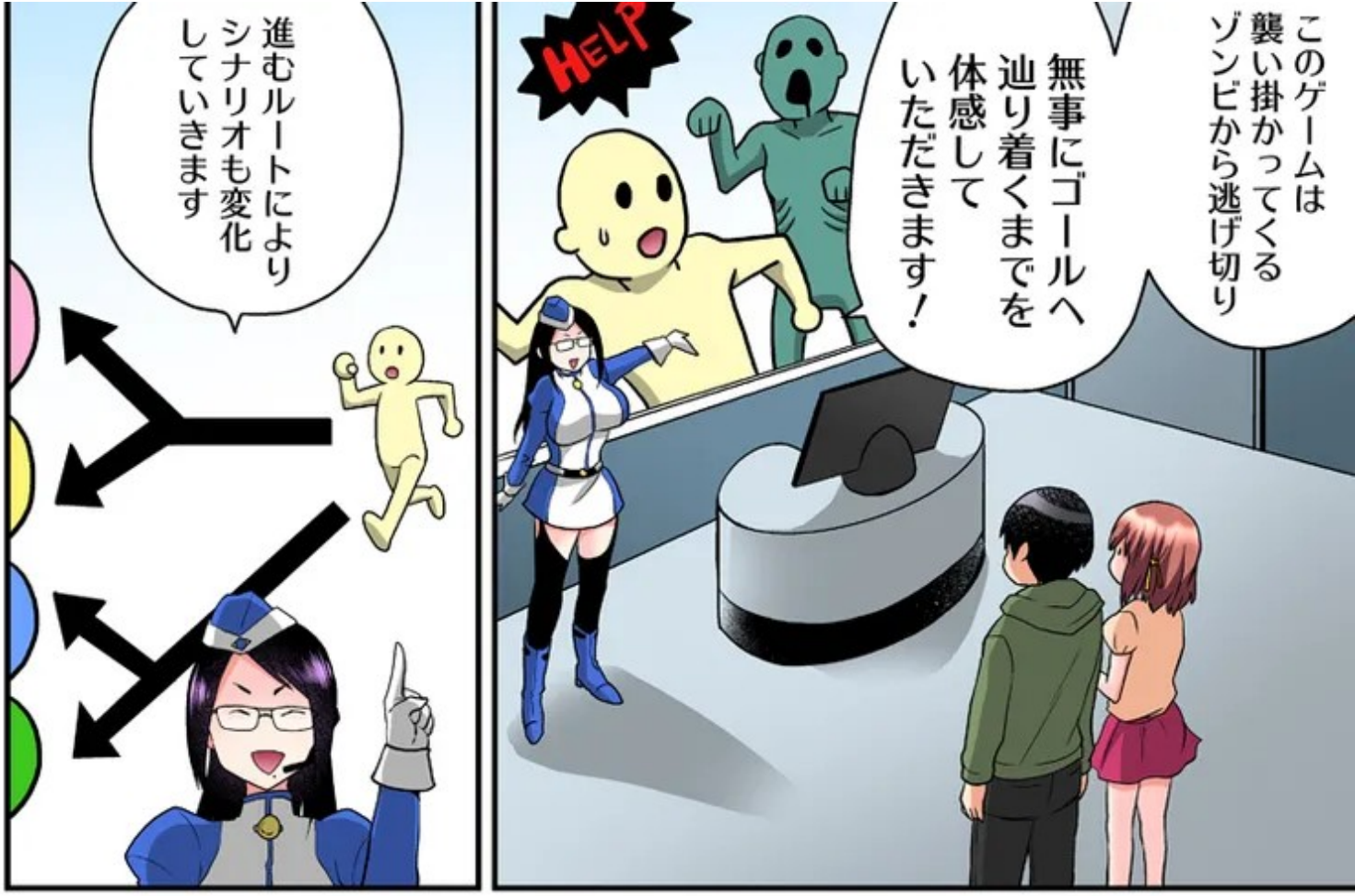
VR
UNDEAD
ESCAPE
ええ…
なにこれ…

まかせろ俺は全然平気だ

直くん絶対私のこと見捨てて行くでしょぉ…私にはわかるんだから
ジトォ…
大丈夫だって！さぁ入ろうぜ

!?
ビクッ
キャアアー
イヤーッ
ムリムリィ
ちょ…直くん
これ死ぬよ…
帰ろうよ…
くく…
ブルブル
ガチャ…
はーい！
こんにち
わぁー！
ビク！
ぼーんっ
ぼーんっ

アンデッドエスケープへようこそ！
本日は私がお2人をナビゲートさせていただきます！
脱出できるようにがんばりましょうねー！
お――！
……
聞こえないですねー
お――!!
お…
おー…
ぉー
何か…テンションがすごいな
怖いのどっか行っちゃった
ではでは
アンデッドエスケープの遊び方について説明いたします
モニターをご覧ください！
VR
UNDEAD
ESCAPE
遊び方


このゲームは
襲い掛かってくる
ゾンビから逃げ切り
無事にゴールへ
辿り着くまでを
体感して
いただきます！
HELP
進むルートにより
シナリオも変化
していきます

どんな内容に
なるかは
プレイヤー次第
というわけです！
ほー
怖いルートは
進みたくない
よぉ…
……

では早速ゴーグルと
グローブ型コントローラを
装着してください！
わー
画面にコントローラの
説明が出ますので
それに従って操作して
みてくださ～い！

……
ふふ…
この2人…
付き合いたての
初々しいカップルと
みた…！
ちゅっ
ぉ～っ
これはキスもまだ
したことがないわね
ニヤッ
実はめちゃくちゃ
エッチなこと
してます

このVRをプレイしたカップルは
つり橋効果で結ばれるという噂があるのよ…

ではそろそろゲームスタートします！
さあ！あなた達の恋も成就させてあげる！
今夜は燃えなさい！

まぁ…それは私の手腕によるものですけどね！
私がトラップやルートを操作して熱い展開へと導くのよ…！
キラリ

VR
UNDEAD ESCAPE
START

すげぇ…
本当にゲームの世界にいるみたいだ

ひゃっ

ふえぇ…

綾音のおっぱいがあたってる…
ドキ
ドキ

ふえ…
こわいよぉ…

きゃーッ!!
ゾ ゾンビ
きたあああ!
アアア…
!!
なな
直くん
どうしよう
どうしよう
あぶない!
ガアアッ
!?
横から!?
キャアアアッ
ドサッ

いてえ…
!!
んあ！
ビクンッ
ごごっ
ごめん！
バッ
だ 大丈夫…
早く
逃げなきゃっ
お おう
ドキ
ドキ
くそ…っ
綾音のおっぱい
やらけぇ…

02
ここは完全個室型のVRゲーム!!
さっそく密着度アップ!!
キャーッ
何をしてもまわりにはバレない!
フーッ
もっと2人の仲が深まっちゃうように 敵を配置しなくちゃ!
ピッ
ピッ
ぶるっ
きゅん
きゅんっ
もっと乱れるのよ!
うふふっ!
ジュルッ

行くぞ綾音！
うぅん！
ダッ
ふふ…ここでぇ…
ドクン！
ピシッ
キャあああ
綾音!?
あーんっ
動けないよぉ！
ビクビクビク

待ってろ綾音！
くそっ
グイ
ヒュー
きゃー!!
きたわー!
!!
ちょっ
直くん!!
きゃっ
ビクッ
んう
んっ

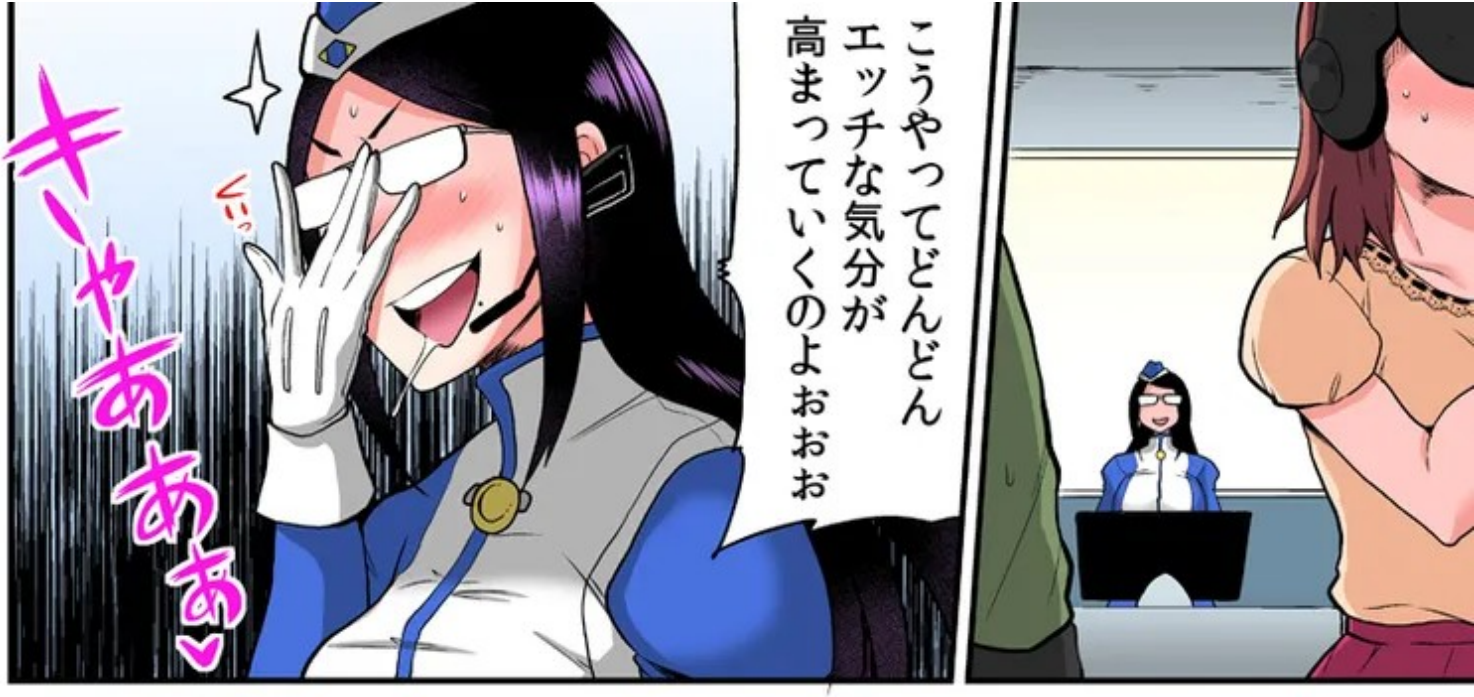
だめぇ…っ！
直くん!!
それ…っ
私のパンツ！
!?
へ!?
!!
ん…
……っ
ビクビクン
ホント…？

パンツが食い込んで
ハミマ○状態に――ッ
エ…エロすぎる…ッ

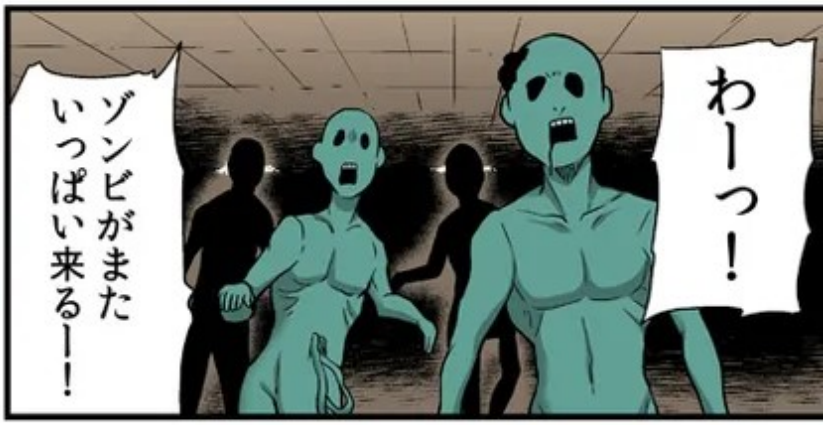
このままパンツで
ク○を刺激して――…
あ…
直くん…っ
恥ずかしいよぉ…
ビクンッ

ハッ
うわわわっ
ごめんっ
うぅん
気にしないで
バッ
バッ

ヤベェ…!!
俺こんなとこで
何やってんだ!?
いくらなんでも
人前だぞ!?
最近綾音とヤレて
ないとはいえ…っ
ドキドキ
ゴーグルしてた
から直くんの顔
見えなかった
けど…
もしかして…
私のアソコ
見てた…!?
ドキドキ
どうしよう
なんだか…
アソコがジンジン
して…すごく
エッチな気分…
カアッ
もお～～～
直くんのせいなんだからね…っ
ピクン
ゾクゾクッ
きゅんきゅん
ゴッ
いてっ


こうやってどんどん
エッチな気分が
高まっていくのよおおお
キャあああ♡

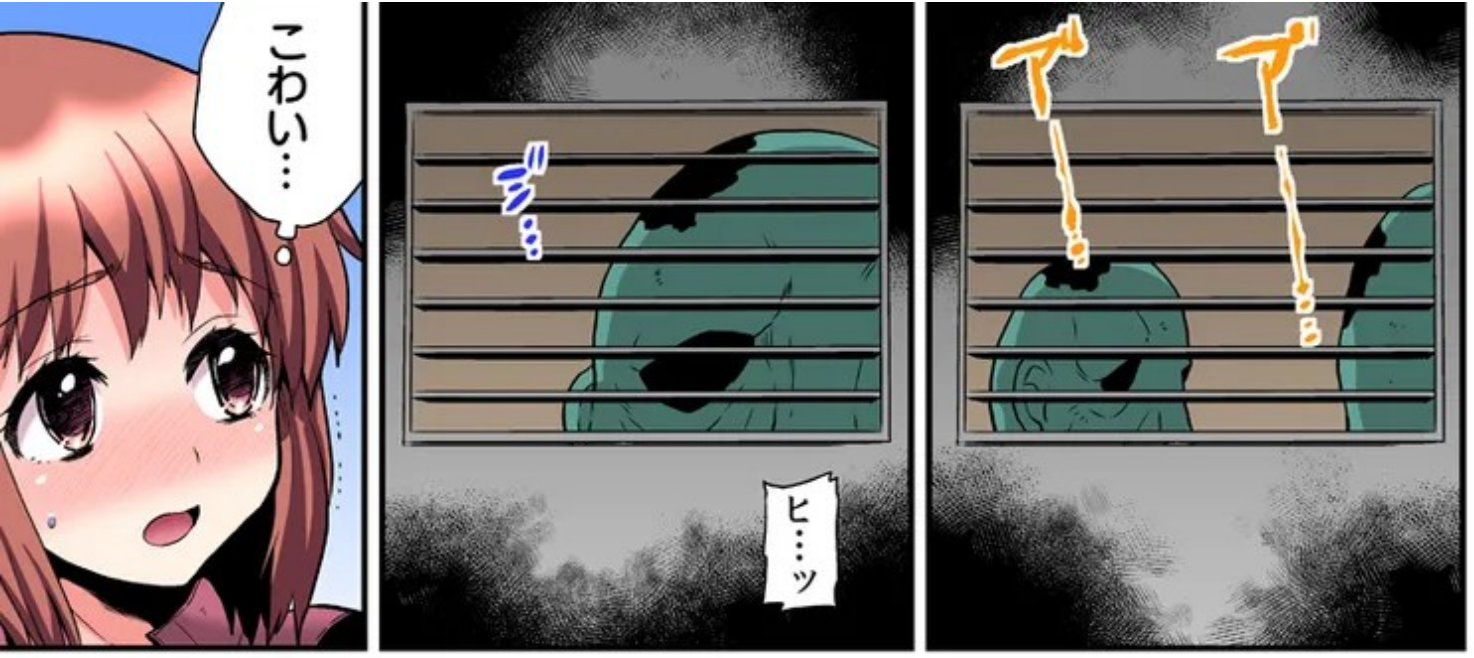
まだまだ
終わんない
わよぉ～


わーっ！
ゾンビがまた
いっぱい来るー！！

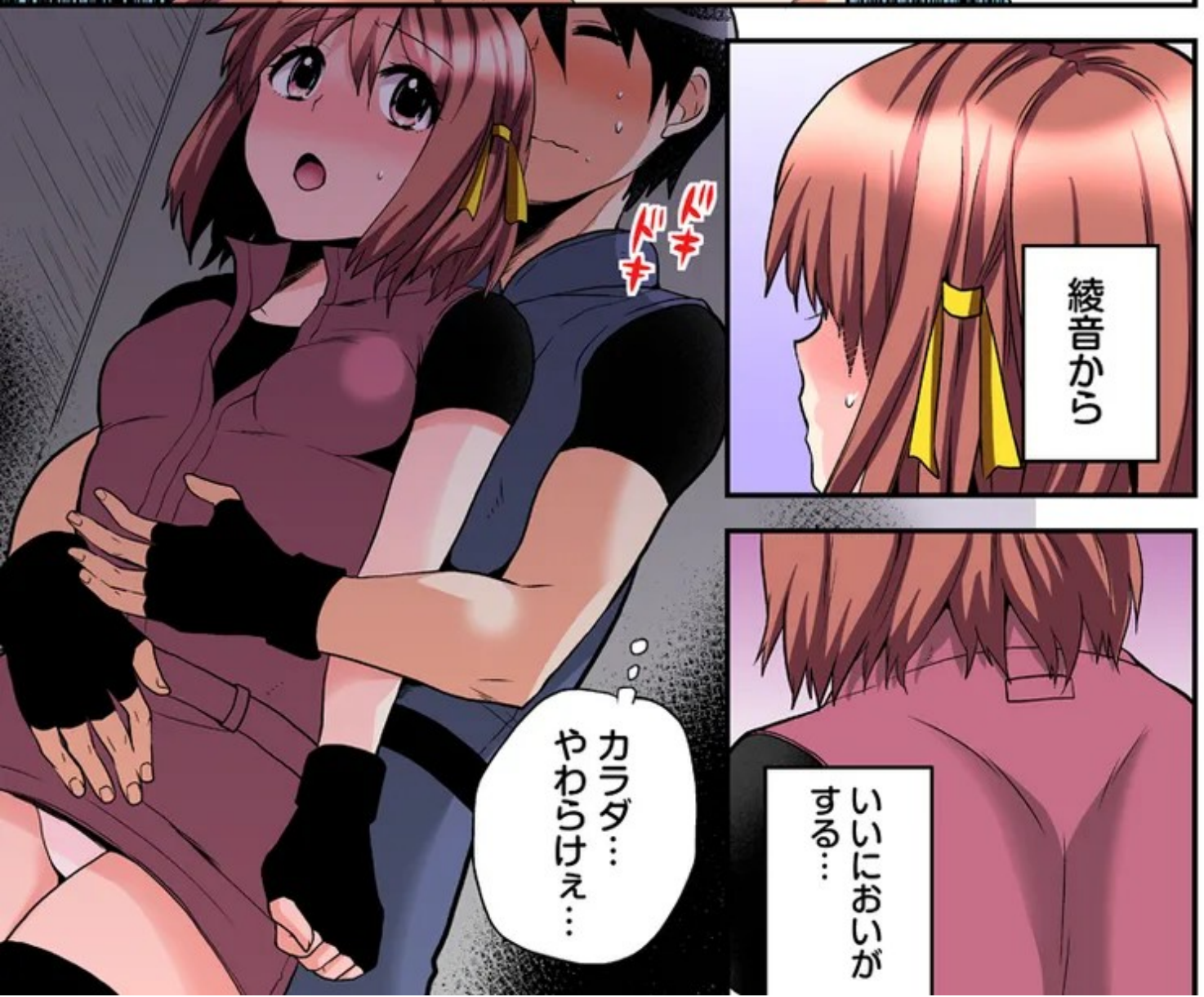
綾音！ここに
隠れるぞ！
うんっ

……っ
ギュッ♡

エロVRに夢中なあの子


こわい…
ヒ…ッ

くそ…
前をウロウロ
してやがる…
ん？


綾音から
いいにおいが
する…
カラダ…
やわらけぇ…

!!
やば…！綾音とのセックス思い出して勃ってきた…
!!
ビク!
え…お尻に何かあたって…
ムニ…
……っ
これってもしかして――
直くんの…っ

どうしよう…
私の体…
ゾクン…
ハァ
きゅん…
きゅん
キュン
キュン
なんだか…
……っ
ハァ
ゾクゾク…
ハァ
エッチぽくなって
きちゃった…

ハァ
ハァ
この子たち…っ
とてもエッチ
だわぁ！
ズオオ
オオ
私まで…
ハァ…
濡れて
きちゃった…っ
ハァ♡
ゾクゾク…
くちゃ…
んっ
ん♡
くちゃくちゃ
ん♡
くちゃ
くちゃ

あ…っは！
イイ…っ！
ク○がジンジン
しちゃうぅ！
んあ…
ビクッ
ヒクッ
ヒクッ
トロォ…
ふふ…
軽くイッて
しまったわ
ペロ…

この子たちの相性はバッチリだわ！
私の目に狂いはない！
私があなたたちのキューピッドになってあげるー！
パアーン♡
よしいなくなったみたいだな
行こう綾音
うんっ
……
ハイここ！
ピッ
うおっ
プシュー
キャあお
ぐえっ
ぱっ
ロロロ

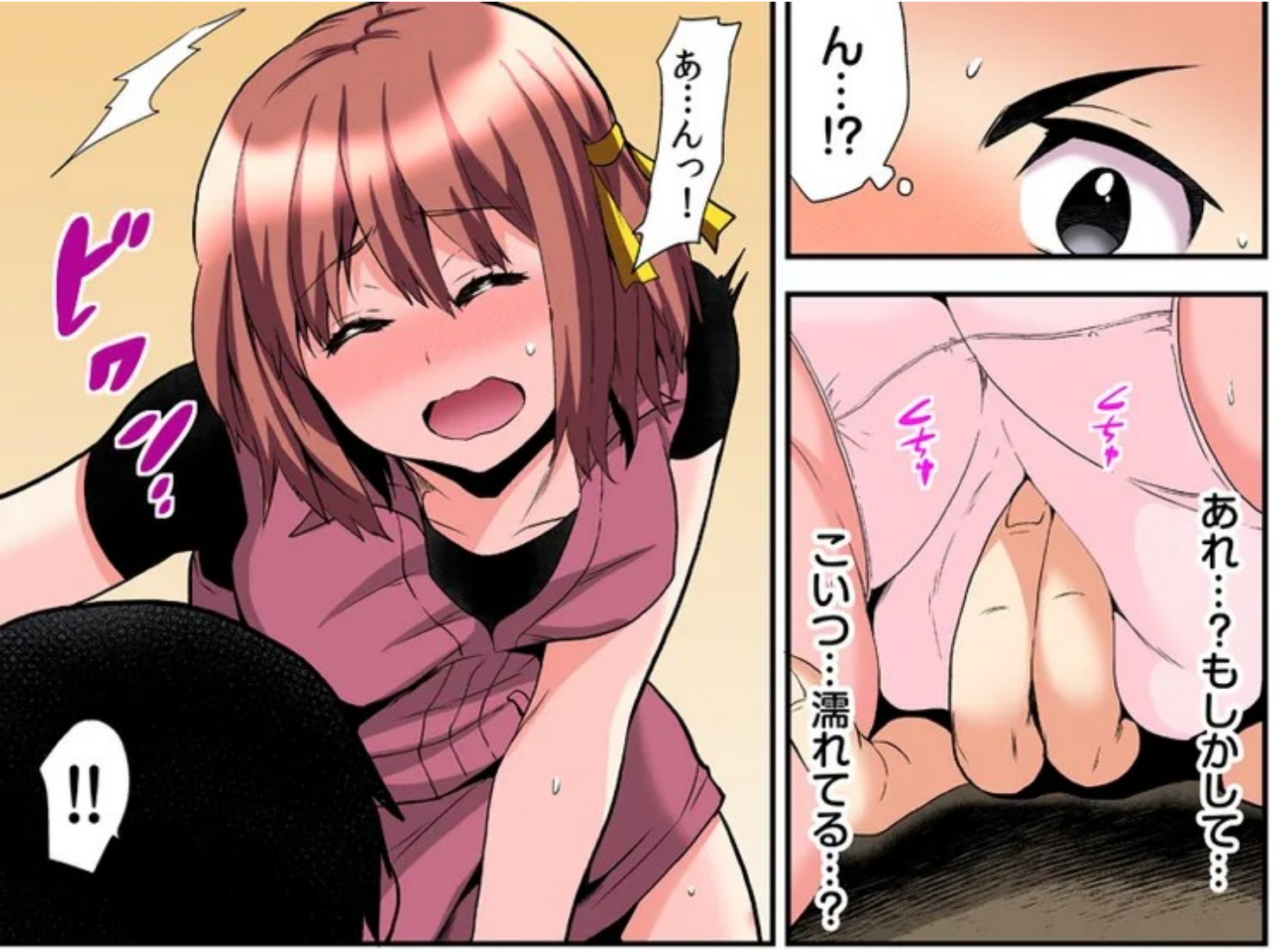
いてぇ
この感触は…
あんっ
ビクン!
え!?
ドキッ
だめぇ
直くん!!
ドクン

!!
手が…
あたってるっ！
うわ!!
ムニュ…
ビクッ

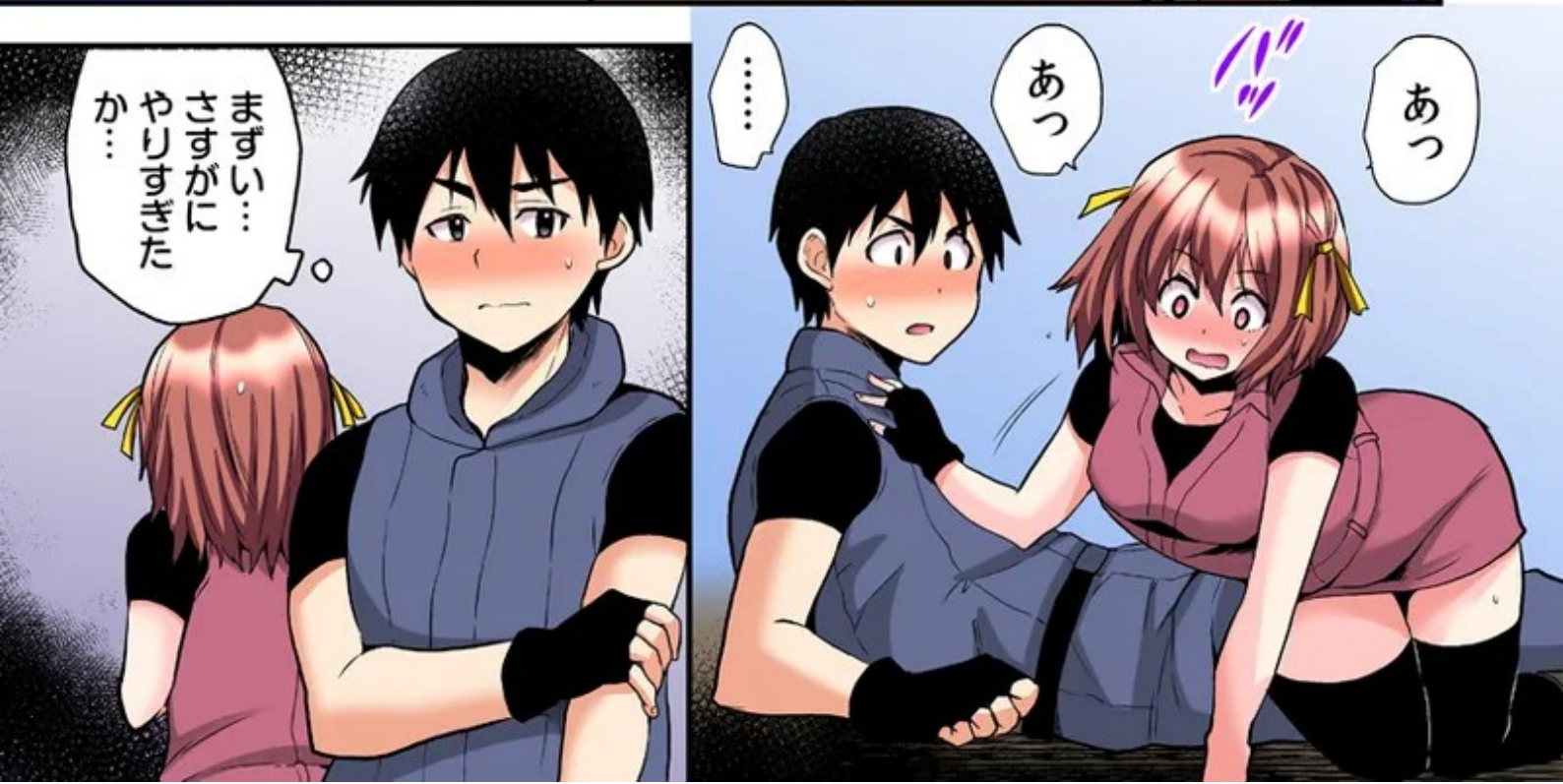
綾音のま○こ…フニフニして
ドキ
ドキ。
気持ちいい…っ

ちょっとだけ…
さわってもいいよな…
ど…
あっ

ヌチュ
ぐちゅ。
やあ
…っ


ん…!?
あれ…?もしかして…
こいつ…濡れてる…?
あ…んっ!
ビクッ!
!!

声…
ドキドキ
エロイ…!!


まずい…さすがにやりすぎたか…
あっ
あっ
……

あ…
あのね…
直くん…
さっきの…
もしかして…
わざと…
さわった?
チラ…
え!?
ギュッ
……
ドキ
ドキ
う…その
わざと…
ぎゅ…っ
じゃない…
手動かしたら
当たった…
みたいな…
ごめん…
はえ…っ
ああああんっ
じれってぇえええ!
カップルなんだから
触るぐらいするでしょ!
※2人はまだ
カップルでは
ありません

きた！
も～！
やだぁ～！
出口まだ
かなぁ～
ヒャー
出口まで
遠そう
だな…
バーン
ビクッ
うお!?
ムニィ
きゃあ！
!!
直くん
む 胸ぇー！
はわわ

いいから逃げろー！
アー！
アー！
直くんのバカー！
モミモミ…
いいわよいいわよおお
ジュルルル
さぁ!!ラストスパートオオ
ピピッ
ピピッ
グッドオッ
ムニィ
ぐちゃっ
ぐちゃっ

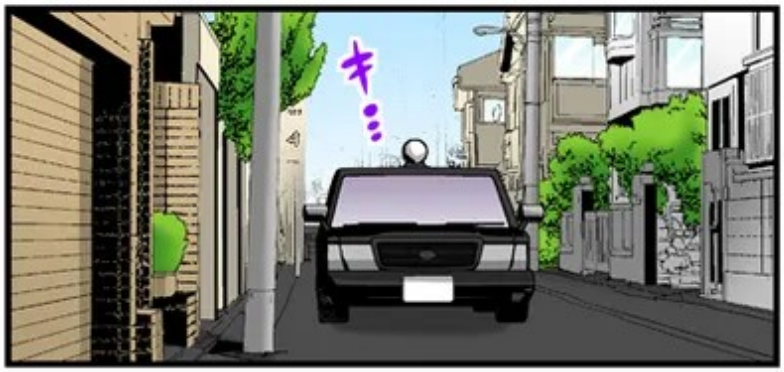
パンツ脱げちゃう
うわっ
あっ！そこで喋らないでぇ
ああああん♥
エロスよお～ッサイッコオオ!!♥
は～～っオ○ニーが止まんない！
あはぁ
あんっ
んっ

あっあん！
イイのお！
すごおっ！
アヴッ
アヴッ
んおぃ
あひぃ
ヒク
ヒク
ビちゃっ
ビちゃっ
ビクッ
イ…ヴゥ…ッ
プシャ…

あ…あ…
ビク
快…感…

ジャーン
VR
UNDEAD ESCAPE
CLEAR
ギュッ
あ～
怖かった
バー
プハー
ヒクッ
ヒクッ
あれ？
ナビゲーターの
お姉さん？

??
??
パンツ丸見え…


キ…

ありがとうございま～す

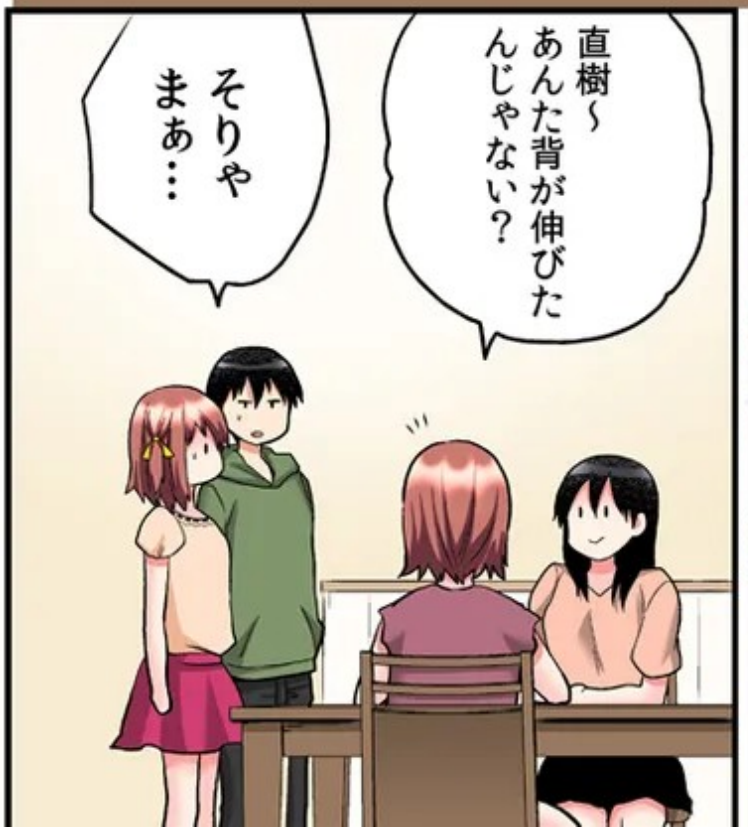
は～着いた
久しぶりだな～

ブロロ…
松田

ゲーム
すごく
ハラハラ
したね～
でもけっこう
面白かったな
廃病院の中を
行くみたいなやつが
今度始まるってよ
また行くか
なに
それ！
もう怖いの
ムリだよ！
でも…あのVR
なんかエッチな
ハプニングが
多かったような…
あんなエロイことが
起こるならまた
行ってもいいな…
ただいま～
あれ？
知らない靴…
お客様かな？

おー！
綾音！
直樹！
おかえりぃ
お姉ちゃん!?
琴音(ことね)!?
急に
どうしたの？

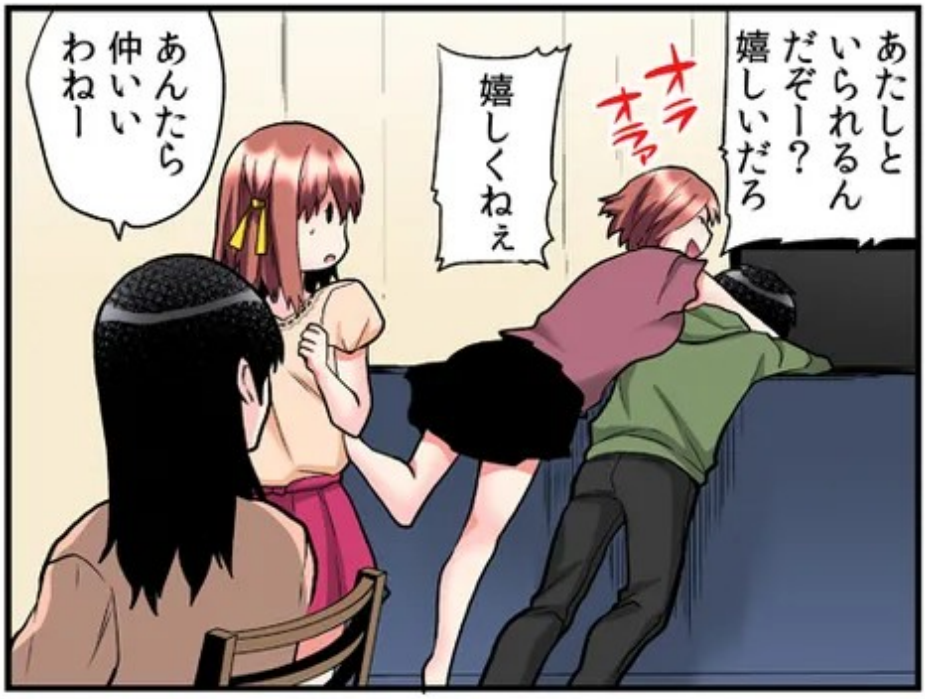
パパとママに
綾音の様子
見て来てほしい
って言われてさ
あたしも大学
休みだし
久しぶりに
遊びに
来ちゃった


直樹～
あんた背が伸びた
んじゃない？
そりゃ
まぁ…

ち〇この皮剥けたか？
ギョッ
もー！お姉ちゃん
あはは直樹からかうのたのし～！
琴音なに言ってんのよーあはは
ピクッ
俺は琴音が苦手だった
ガキの頃琴音には散々いじめられまくった
にあってるー
ギャハハ
あー
こんなのヤダー
アーン
なのに…
昔より2人が似てきて…複雑な気分だ
おっぱいは琴音のほうがデカイが
あーそうそう

あたし
3日間ほど
泊まってく
ことにしたんで
よろしく～
はぁ!?

なによぉ
ニヤオ
いや…
べつに…
早く帰れ…


あたしと
いられるん
だぞー?
嬉しいだろ
オラ
オラ
嬉しくねぇ
あんたら
仲いい
わねー

むっ…
いてぇ
あはは

はいはい
あんたたち
パッ
パッ
お風呂沸かしてる
から順番に
ちゃっちゃと
入ってきて!
はーい

綾音！
久しぶりに
一緒に入ろ！
え!?
ううん
いいよ
2人で風呂…
あんた おっぱい
ちっちゃいね〜
やだ〜っ
じゃあ
あたしら
先に入るから
覗くなよ〜
直樹ぃ
覗くか！
バタン
で 直樹〜
今日のデート
どうだった？
ん？
ノー
コメント
ピッ

綾音～
あんまり
おっぱい大きく
なんないねぇ
ガニッ
!!
しょうがない
でしょ！
フーー

あたしも
ママも巨乳
なのにね～

いいの！
大人になったら
大きくなるかも
しれないし！
プンスク
いやー
もうなら
ないっしょ

ねぇ～
綾音さぁ～

好きな子とかいんの？
え!?
ギロッ
こっちの学校行くからって叔母さんたちの家に来たじゃん？
だからあんたが家出てからあんま色々話せてないし
姉として綾音のこと気になってるわけよ！
好きな人は…いるよ
直くんとは言えないけど…
もしかして直樹？
!!!
ドキッ
ちがっちち違うよ!?
声すげー裏返ってるのウケる～

まぁ
直樹なわけ
ないか！
そ そうだよ
お姉ちゃん鋭すぎる…
あたし
先にあがるわ
ザバ
直樹～
あがったから
次ドーゾ
あ ああ
わかった
あんたは
まだゆっくり
入ってなよ
バタン
ニヨォ♥

エロVRに夢中なあの子

あ～
やりずれぇ…
琴音の奴
早く帰らねぇ
かなぁ…
はぁー…
ガラ…
え？
あ
カア…
ムチ
ぷる

ワーッ！
ごめん！
もう出たんじゃなかったのかよ!?
ガチャ
ぐぬぬ…
くそ…
もしかして琴音の奴…
キョロ
ギギッ
直くんに見られた…
ドキ…
ドキ…
翌日
母さん今日学校終わったらそのまま友達と遊んでくるから晩飯いらねーや
そうなの？
あわわ…

なによー
あたしが泊まってる間くらいは出かけるのやめなさいよ
いいいだろ別に！
琴音が家にいるからあんまりいたくないんだよ！
ゴハッ!!
とは言えない
綾音のお姉ちゃんが泊まりに来てんだ
へぇ～
綾音の友達
まなかちゃん
そー！もう急でさ…
ハー！

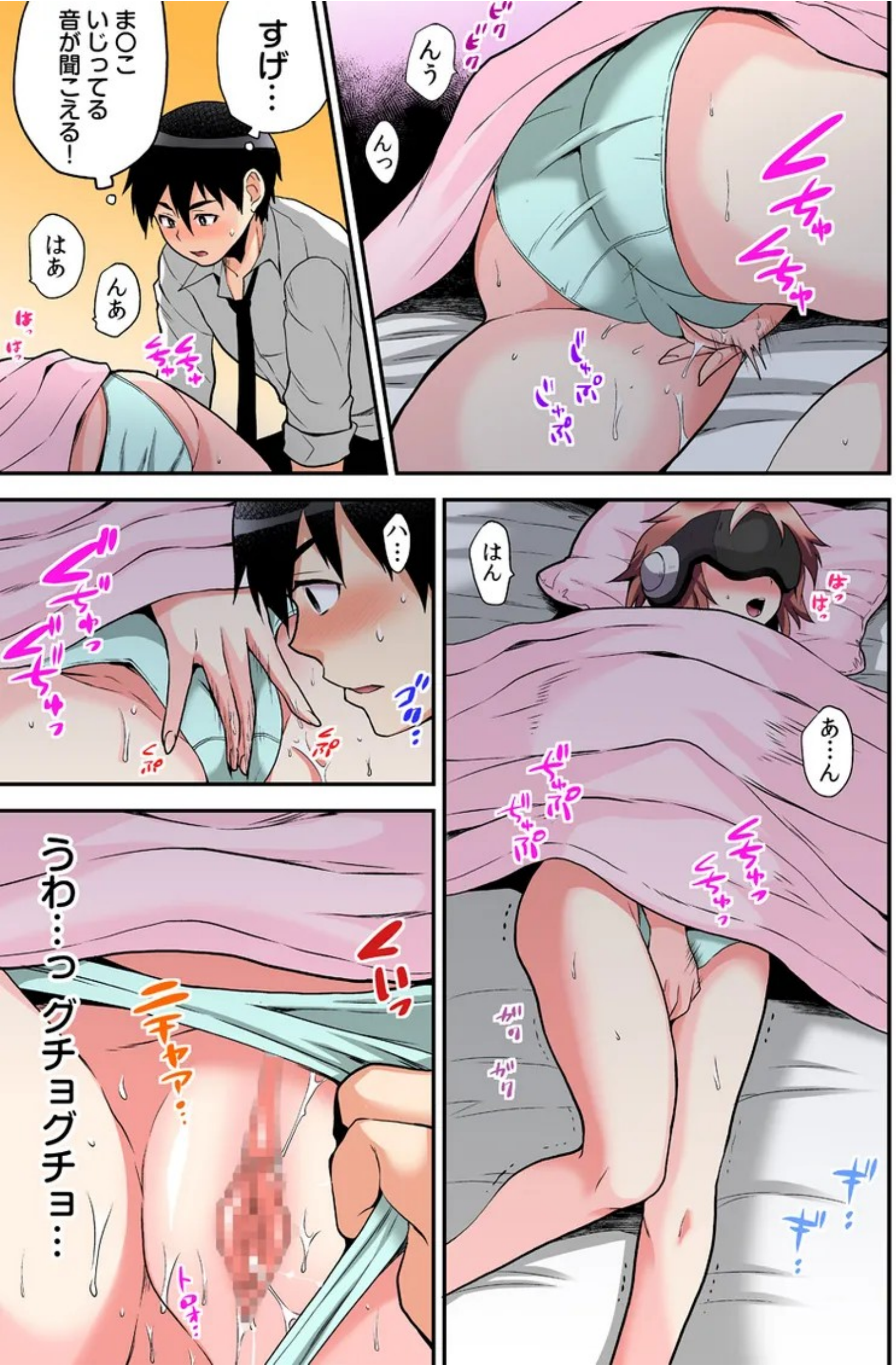
だからアレゲッソリしてんの？
はは…
ズウゥ…
ハア…
くそ…琴音が帰るまでの辛抱だ…

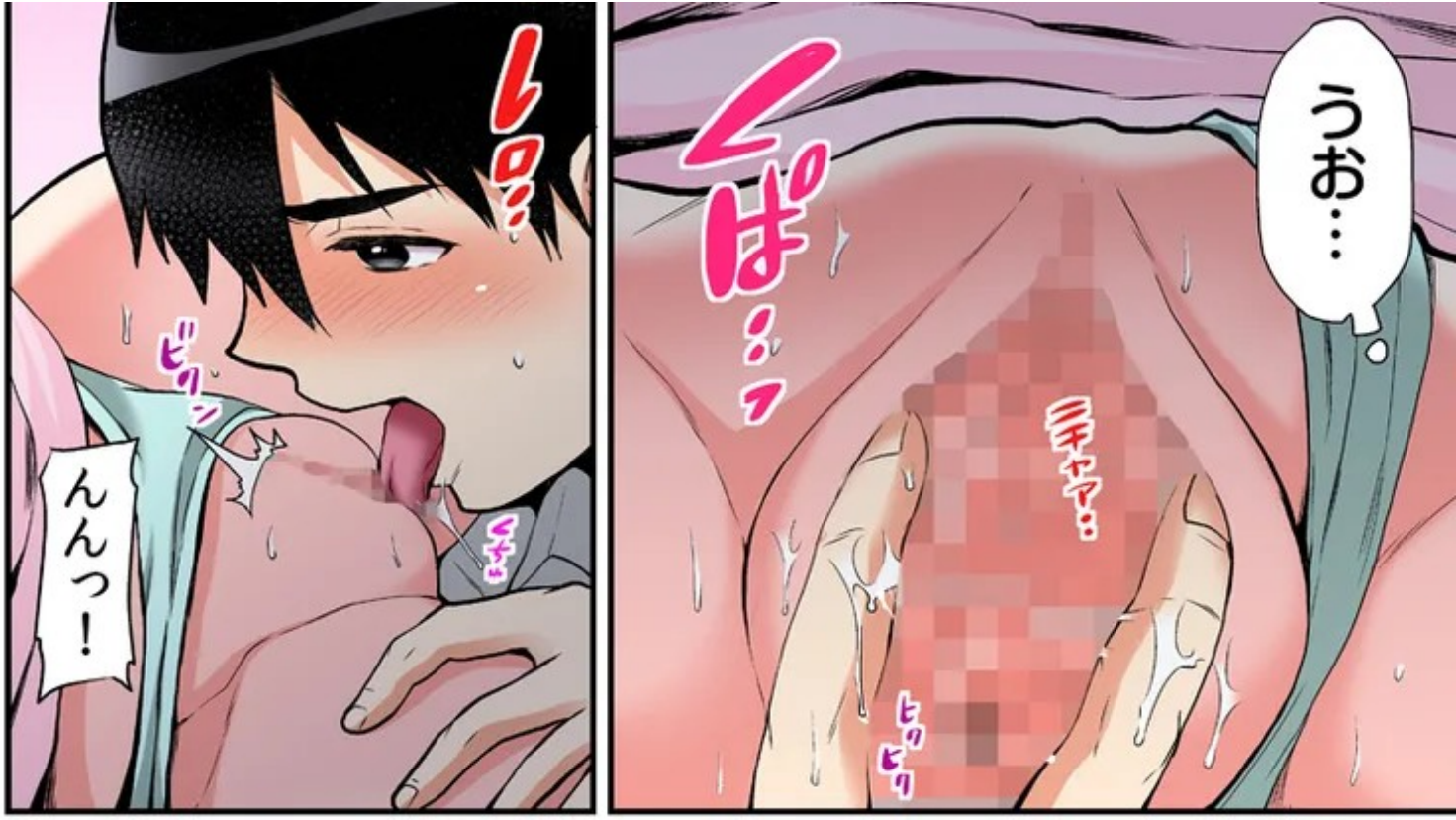
ただいま
おはは…
うそ…おはは…
ん？

リビングから笑い声すんな…みんなでTVでも見てんのか
顔合わせないでさっさと部屋に退散しよ…
ギ…ギ…
あれ？
！！
？

綾音の部屋から声がする…しかもこの声の感じ…
ドキ
は…
んっ…
綾音のやつ…琴音が泊まりに来てるのにVRやってんのか!?
ゴク。
綾音…?
カチャ…
は…
んっ…
あ…
!!!!
ギ!…ギ!…
やっぱりこれは…
あわ…っ
VRやりながらオ○ニーしてる!

ん…
んあ
ごそ…ごそ…
は…
綾音としばらくエッチしてねぇもんな…
ん
は
やべ…久しぶりにやりてぇ…
ゾ…ゾ…
そー…
んぅ
あ
はっ はっ
あん
やっぱりオ○ニーしてる――っ！
ビクビク
くちゃくちゃ
ドアの向こう
…っ

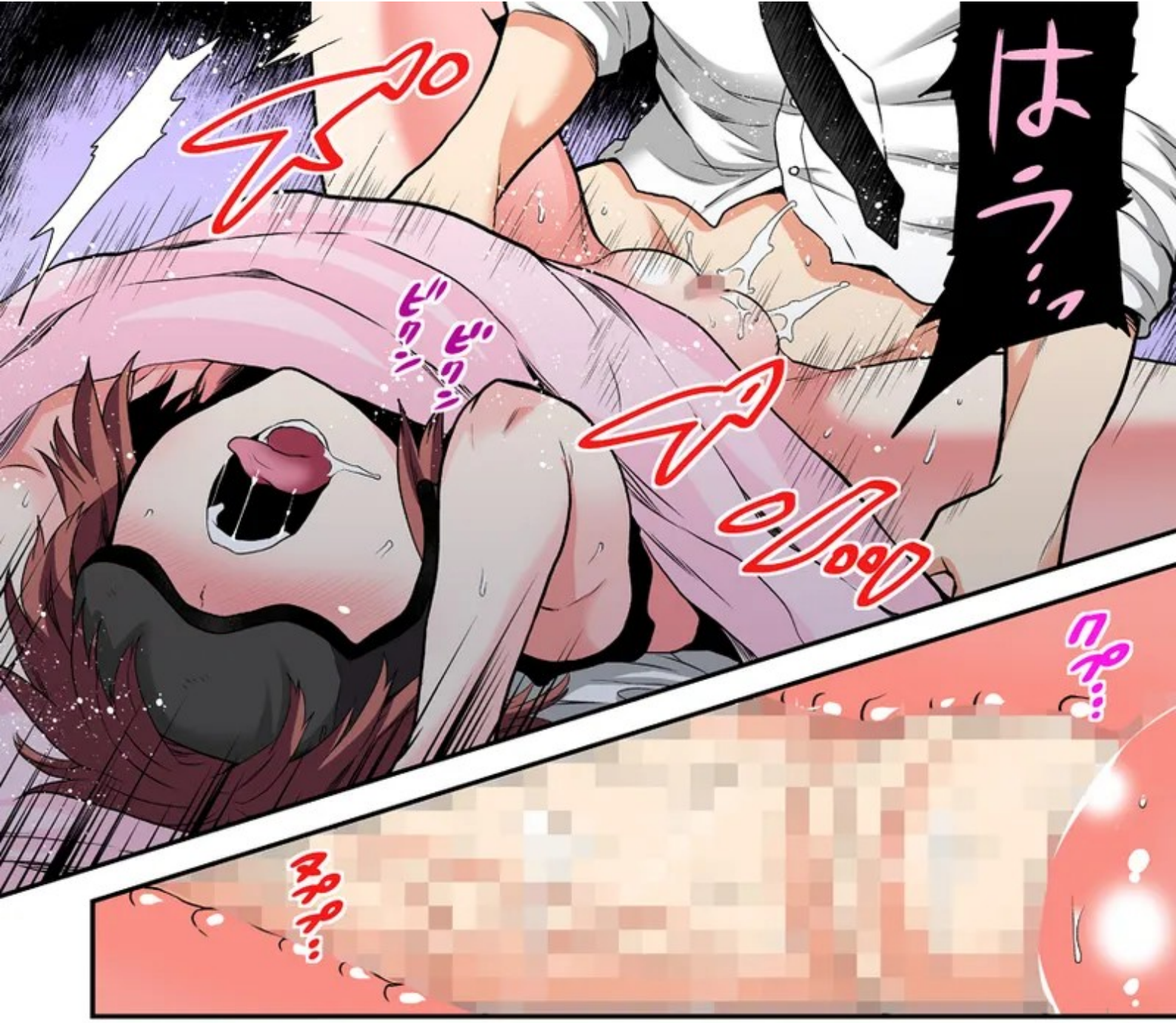

すげ…
ま○こいじってる音が聞こえる！
はあ
んあ
んう
んっ
ビクビク
くちゃくちゃ
じゅぷじゅぷ
はっはっ
ハ…
ぐちゃぐちゃ
ぐぷ
ぐぷ
はん
あ…ん
くちゃくちゃ
ぐちゃぐちゃ
ぐぷぐぷ
うわ…っグチョグチョ…
くいっ
ニチャア…
トロォ…


うお…
ぱ…っ
ニチャア…
ヒクヒク
レロ…
ビクン
んんっ！

エロイ声…っ
ん…っ
んう！
あぁぁ
じゅるっ
じゅるるっ
ビクン
ビクン
ガクガク
ちゅぱ
ちゅぱ

ふあ…っ
ビクッ
ビクッ
ひあっ
もうガマンできねえ…
久しぶりに綾音の中に
突っ込んでやる――ッ
ゴリ…
グル…

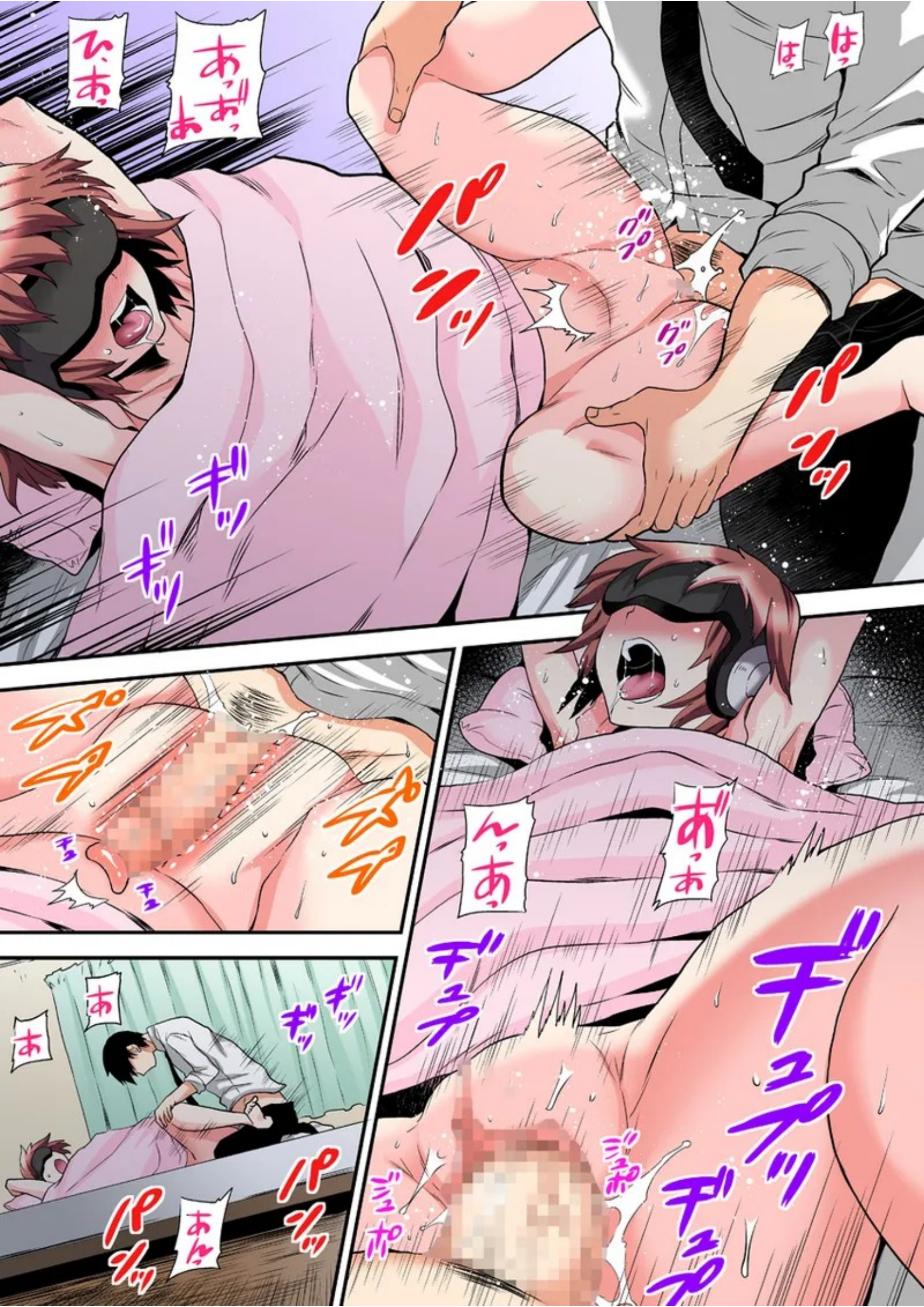
は…
は…
ぎゅ…
ニチャ…
ん…
ムチュ…
入っていくぞ…
ビク
ズプズプ…
やべ…もうすでにイキそ…
ゾクゾク
先っぽ…入った…！
あ…
ビクン
あ…っ
ズプん…


はう…
ビクン
ビクン
ヌプ…
ヌプ…

うお…たまんねぇ…
く…
ビクッ…
あ…

綾音の中…ち○こに絡みついて…
ニチャ…
ビクン

子宮口が先っぽに吸い付いてくる…！
ちゅうぅぅ
ビク


ひぁ
あっあぁ
はっ
はっ
パンッ
グプ
グプ
パンッ
ギッ
ギッ
ぷっ
ぷっ
ぷっ
ぁ
ぁ
ギッ
ギッ
パンッ
パンッ
あん
おっぁ
んっぁ
ヂュプ
ヂュプッ
ヂュプ
ジュポ
ジュポ

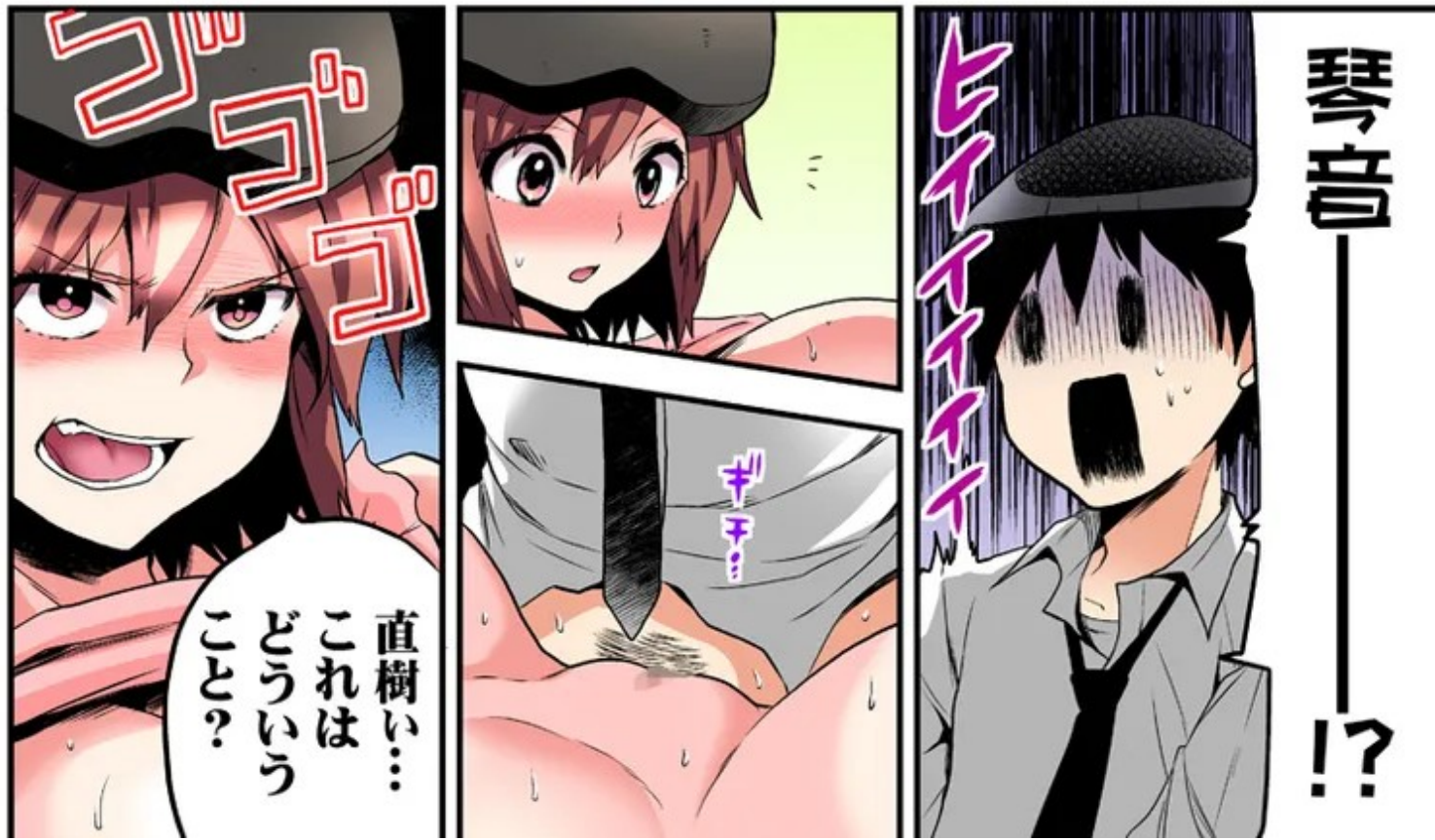
はっあん
ギチ
ギチ
ぱちゅんっ
ぱちゅん
やあぁ
んはぁ！
はっ
あん
ズリ
は
は
パン
パン
ギュプッ
ギュプッ
きゃ
きゃ
ジュポ
ジュポ

あっ
ひゃん
あはっ
んひっ
おっんっ
ギュプッ
ギュプッ
ジュプ
ジュプ
あ
ふあ
ヒク
ヒク
やべ…起きちまうか?
はっ
はっ
でも…
止められねぇ…!
あっ
バズッ
バズッ
いっお

はぁ
ビクン…
はっ
スルッ…
ビクン…
はっ
ワンピ…
は…
乳首
たってる…
キュウ…♥
ギチ…
ゴク…
綾音の
おっぱい…
揉みまくって――
ビクン♥
んあ…

ん？
こんな触り心地だっけ…
もっと小さかったような…
んっ
んっ
ムニ
あれ――？
ぶるんっ
!?
え…？デカイ…
ムニ
ムニ
!…

直樹…
何してんの…
ムニ…


琴音――!?
ヒイイイイ
ギチ…
ゴゴゴゴ
直樹い…これはどういうこと？

ドクン
ドクン
!?
なんで…
なんで…
琴音が…
綾音のベッドで…
VRやってんだ…!?
今から
1時間ほど前——
きゃーっ
あはは!
きゃそれ
あかんやろっ
きゃーっ
あはははっ

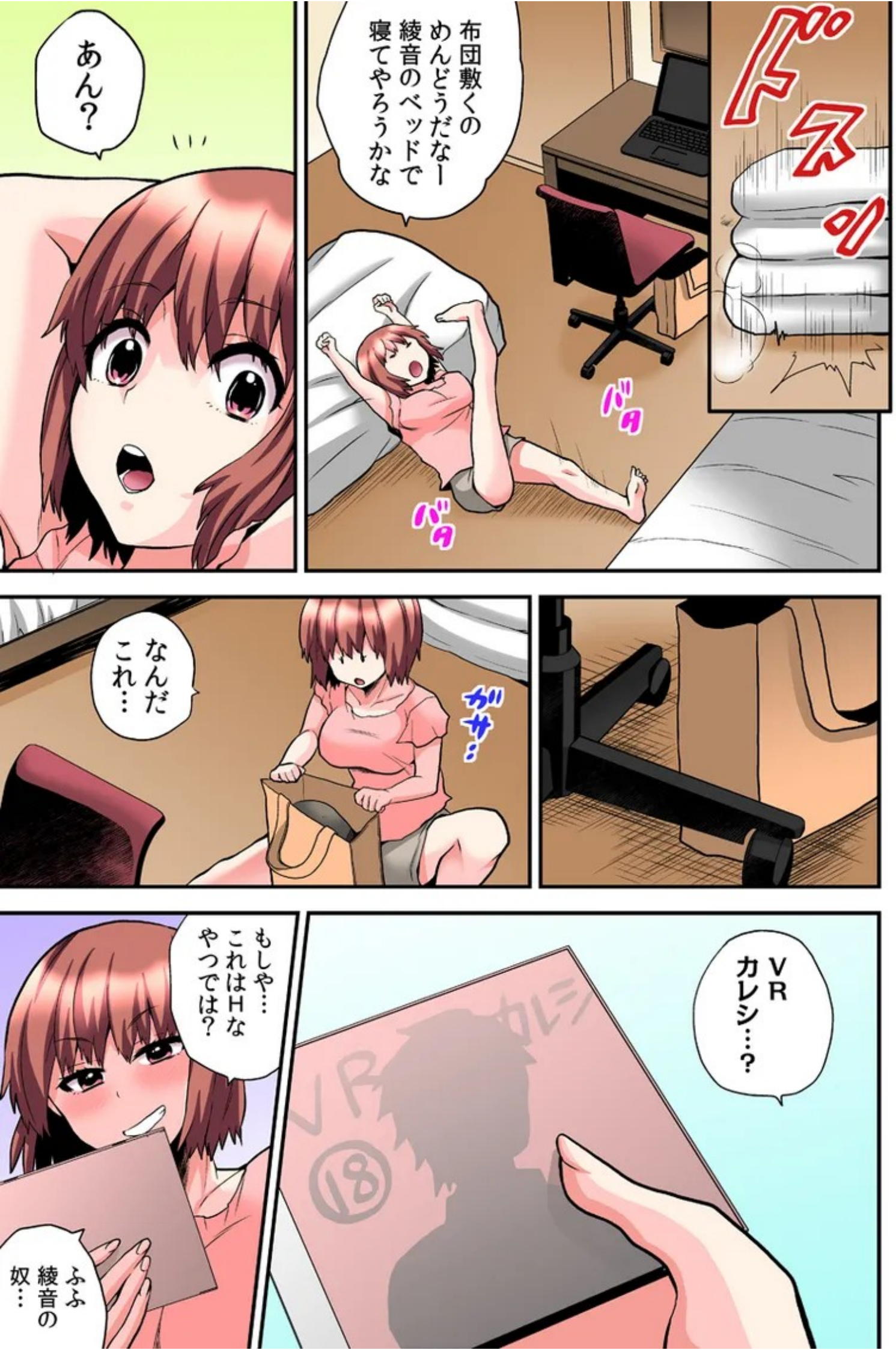
ん～私もう
寝ようかなぁ
眠い…
え～？
まだ始まった
ばかりだよ？
だってこの
番組夜中まで
あるんでしょ？
起きてらん
ないよー

お姉ちゃん
おやすみ

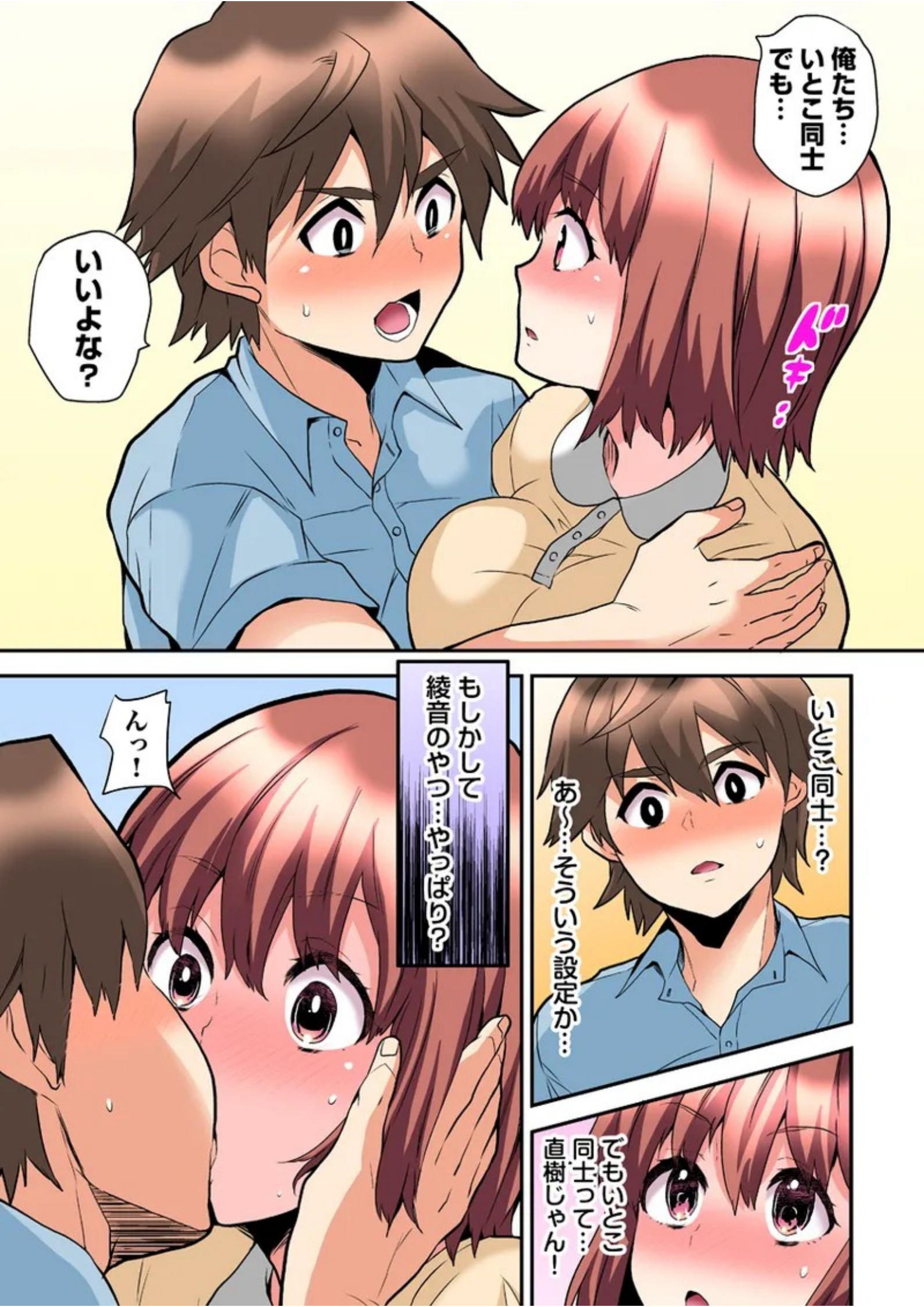
せっかく
明日から
連休なのにー
いいいいい
私は寝る～

綾音ー
夜食食べよ
わーい！

全く…
綾音も
叔母さんも
好きだねぇ


ドスの
布団敷くのめんどうだなー綾音のベッドで寝てやろうかな
バタ
バタ
あん？
ガサ
なんだこれ…
VR
カレシ…？
もしや…これはHなやつでは？
ふふ綾音の奴…

キィ…
よーし
VR START
やっちゃおうかな…
ドキドキ…
へぇ…これがVRかぁ…
本当に中にいるみたい…
あのさ…
え？
!?


俺たち…いとこ同士でも…
ビキ！
いいよな？
いとこ同士…？
あ～…そういう設定か…
でもいとこ同士って…直樹じゃん！
もしかして綾音のやつ…やっぱり？
んっ！

ふ
んっ
ちゅ
んぅ
あれ…？現実じゃないのに…
はぁ
ちゅぱ
ちゅぱ
すごい臨場感…っ
ハァ
ちゅ
ハァ
ハァ
ふぅ
ん

綾音…こんなVRやってんの…？
ん？
いやいやいや！なんで直樹の顔が浮かぶのよ！あいつとなんてないない！

あ!?
ムニィ
たゆんっ
たゆん
んっ
にぐにぐ
あ…っ
ここ気持ちいい?
ビクン
んっ
そういえば彼氏と別れてここんとこエッチはご無沙汰だな…
こういうのも悪くないかも…
ムちゅっ
ムちゅっ
ムちゅっ
ムちゅっ

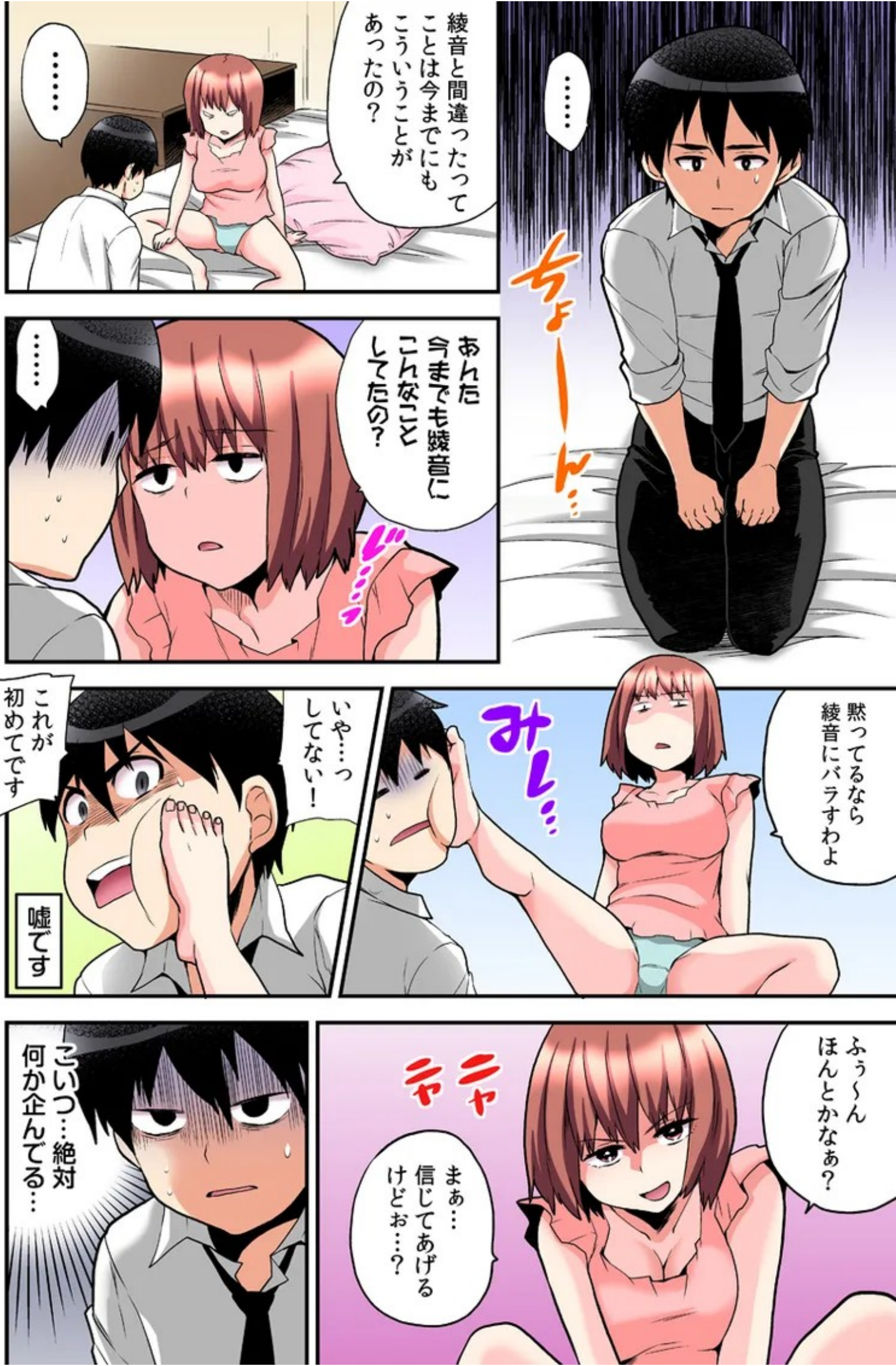
あん！
はぁ
んぁ
ビク
ビク
ちゅぱ
ちゅぱっ
VRなのに…
はっ
はっ
気持ちいい…っ
!!
入って…!?
好きだ…っ
あ…

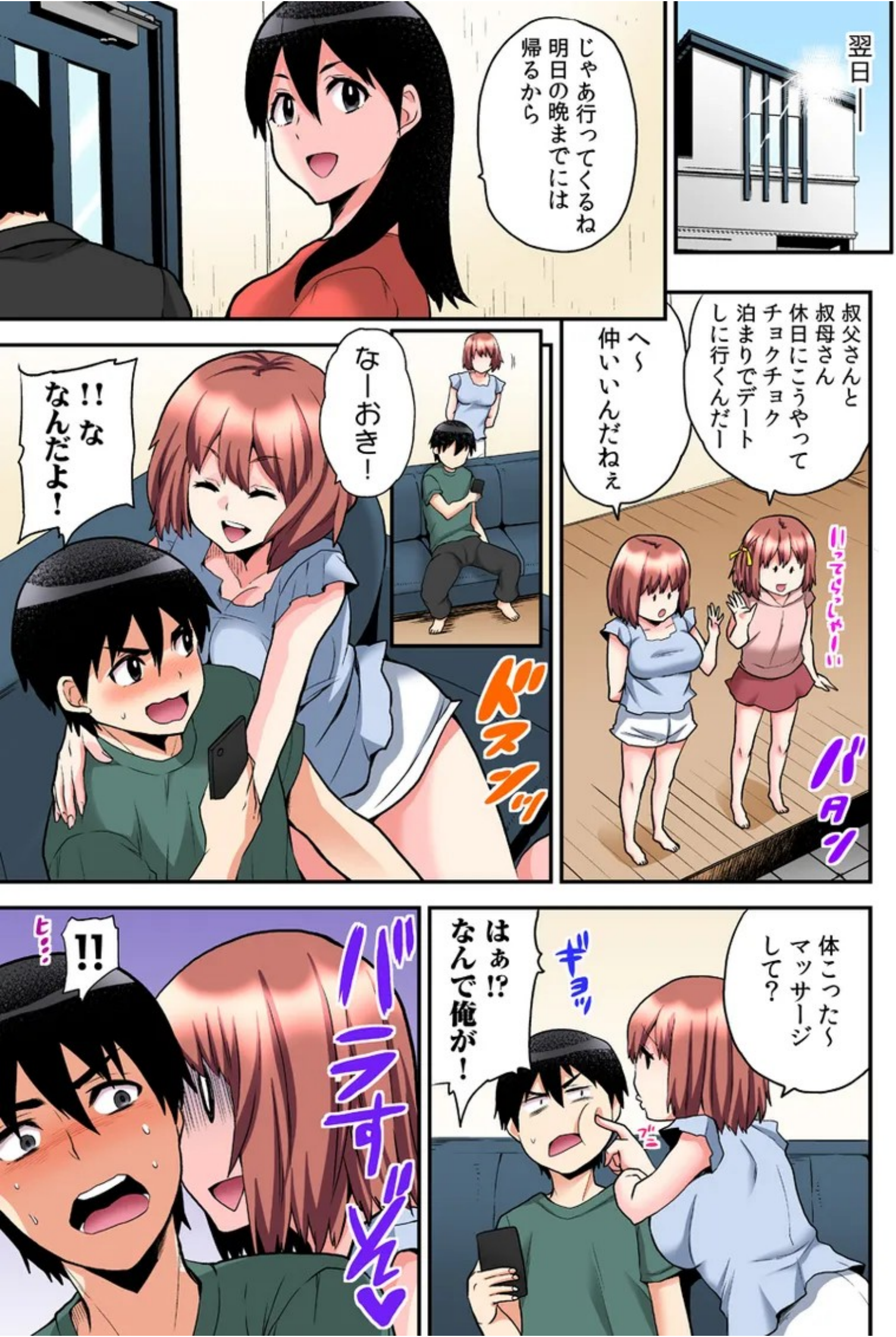
エロVRに夢中なあの子

挿れるよ
んあっ
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ
あっ
ぶるっ
やん！
パチュン
パチュン
アッ
アッ
んっ
ヂュプ
あっ
ヂュプ
ヂュプ
ヂュプ
中が…すげぇキュンキュンして締め付けてくる！
ハッ
ハッ
もっと俺を感じろよ…
すごい…VRでこんなに…気持ちいいなんて——

あれ…？でもなんか…
この感じは――
ギチ…
バ
ッ
直樹…!?
え…
直樹…何してんの…
琴音えええええええ!?
トイレイイ

あんたぁ…
何わたしの寝込み襲ってんのよ!!
直樹！覚悟はできてるんでしょうね!?
ここ 琴音こそ何で綾音のベッドでそんなVRやってんだよ！
あせあせ
俺はてっきり綾音かと…っ
！
ピク…
ああ…!?
あんた…私を綾音と勘違いしてこんなことしたわけ!?
……
ダラ…ダラ…


……
ちょーーん…
綾音と間違ったってことは今までにもこういうことがあったの？
……
あんた今までも綾音にこんなことしてたの？
……
ビクッ
黙ってるなら綾音にバラすわよ
みしっ…
いや…っしてない！
これが初めてです
嘘です
ふぅ～んほんとかなぁ？
ニヤニヤ
まぁ…信じてあげるけどぉ…？
こいつ…絶対何か企んでる…


翌日――
じゃあ行ってくるね
明日の晩までには
帰るから
叔父さんと
叔母さん
休日にこうやって
チョクチョク
泊まりでデート
しに行くんだー
へ～
仲いいんだねぇ
バタン
なーおき！
!!
な
なんだよ！
ドスッ
体こった～
マッサージ
して？
ギョッ
はぁ!?
なんで俺が！
!!
バラすぞ♡

直樹～
んー！
そこそこ！
気持ち
いい～
んにゃ～～♥
く…っ
この歳になってまで琴音のやつに
いびられるなんて…！
さっさと
帰れぇぇぇ
もっと下～
下も揉んでぇ？
こいつ…っ
……
これでどうだ！

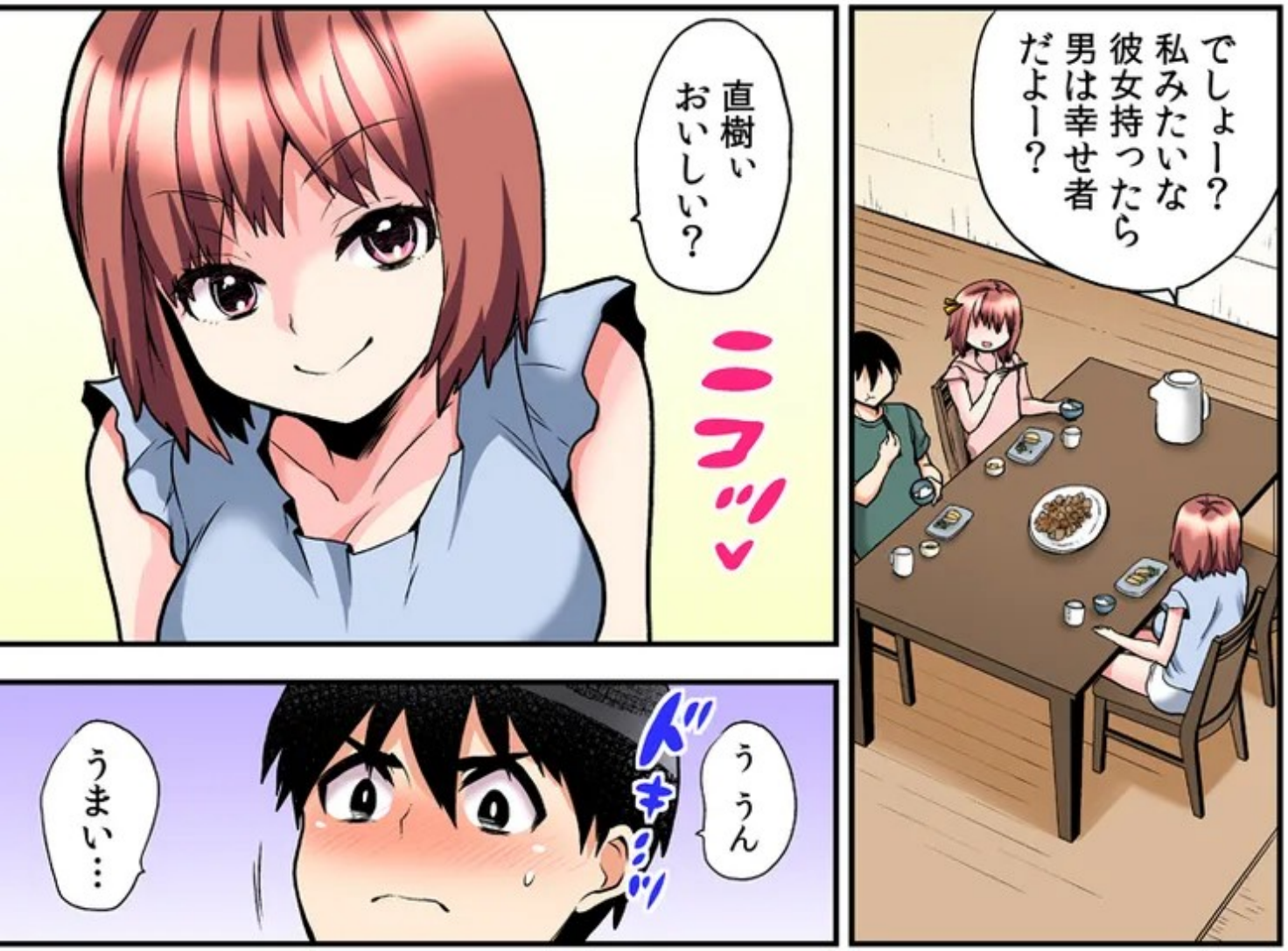
んあぁ
ギクッ
いっ!?
ビクン
変な声出すなよ!
えー?
だって直樹がエッチな揉み方するからじゃーん
ニヤニヤ
ししてねえ!
じー…
う…っ
じと…
綾音の蔑んだような視線が痛い…

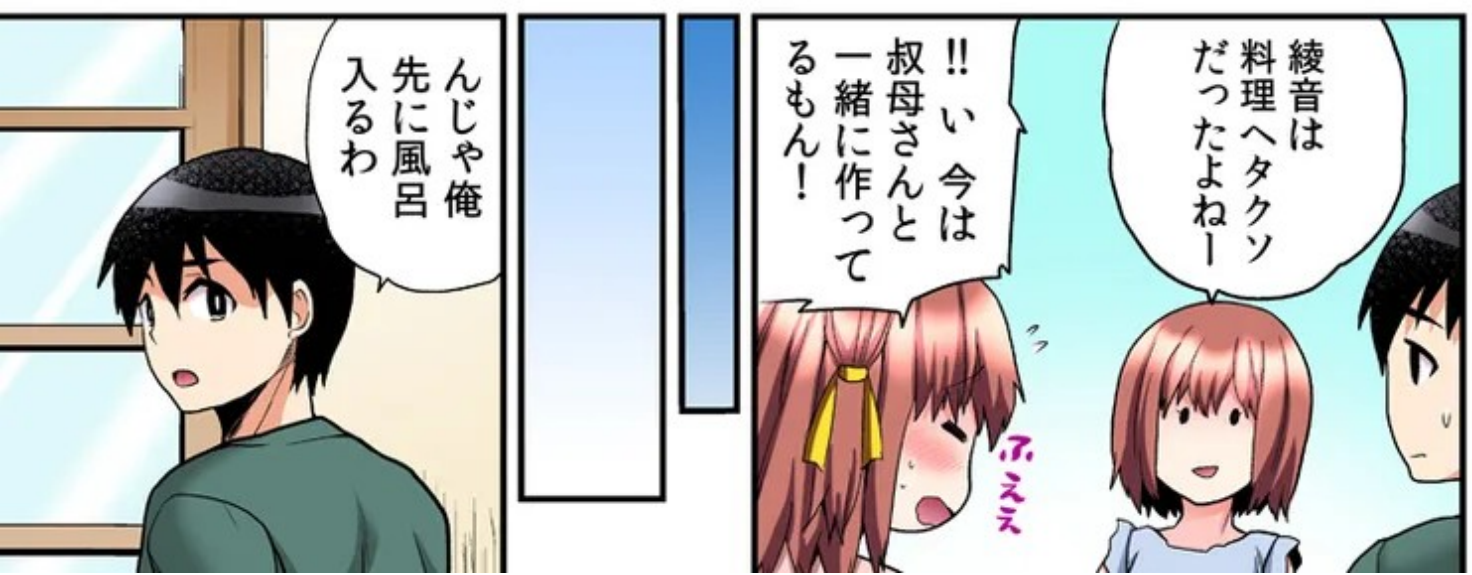
あ…なんだか…
おしっこ…
やば…
このまま
腰を
揉まれたら…
きゅう…
行きたく
なってきた
!!
うっ！
あ…
ぜったう…
ダメ…
へ!?
うわぁ！
ドサッ
え!?

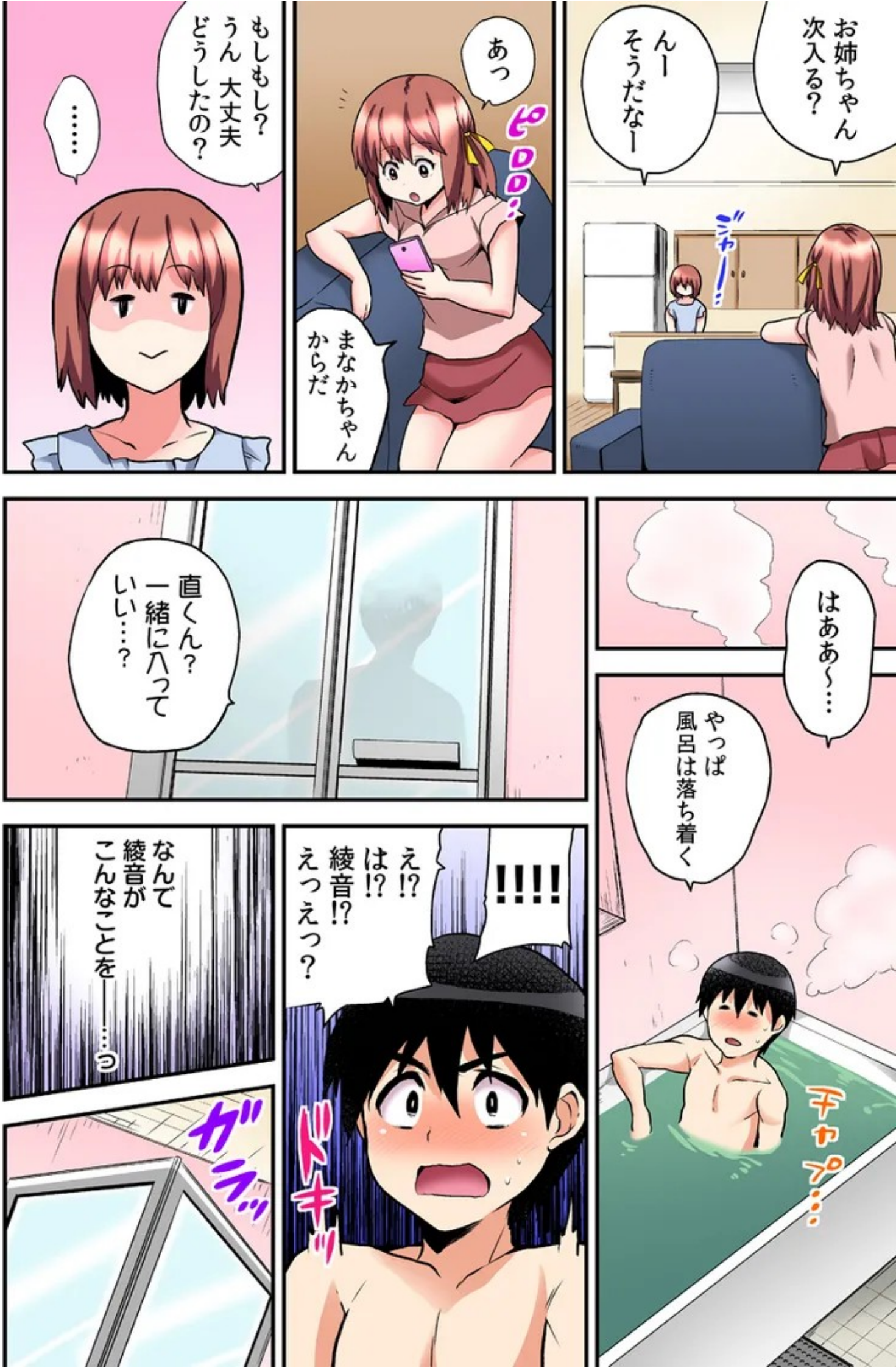
!!
大丈夫!?
ぐぅぅ…
いったぁ
……
ん?
ぐぅぅ…
これは……
モミ
モミ

ちょっと直樹…
そんなに私の
おっぱい揉みたい
わけぇ？
ん♡
昨日の続き…
する？
くす♡
綾音…
わぁ!!
お？
直くん
何やってるの!?
ちが…っこれは
不可抗力だ…！
はー
トイレいこ
もれちゃう

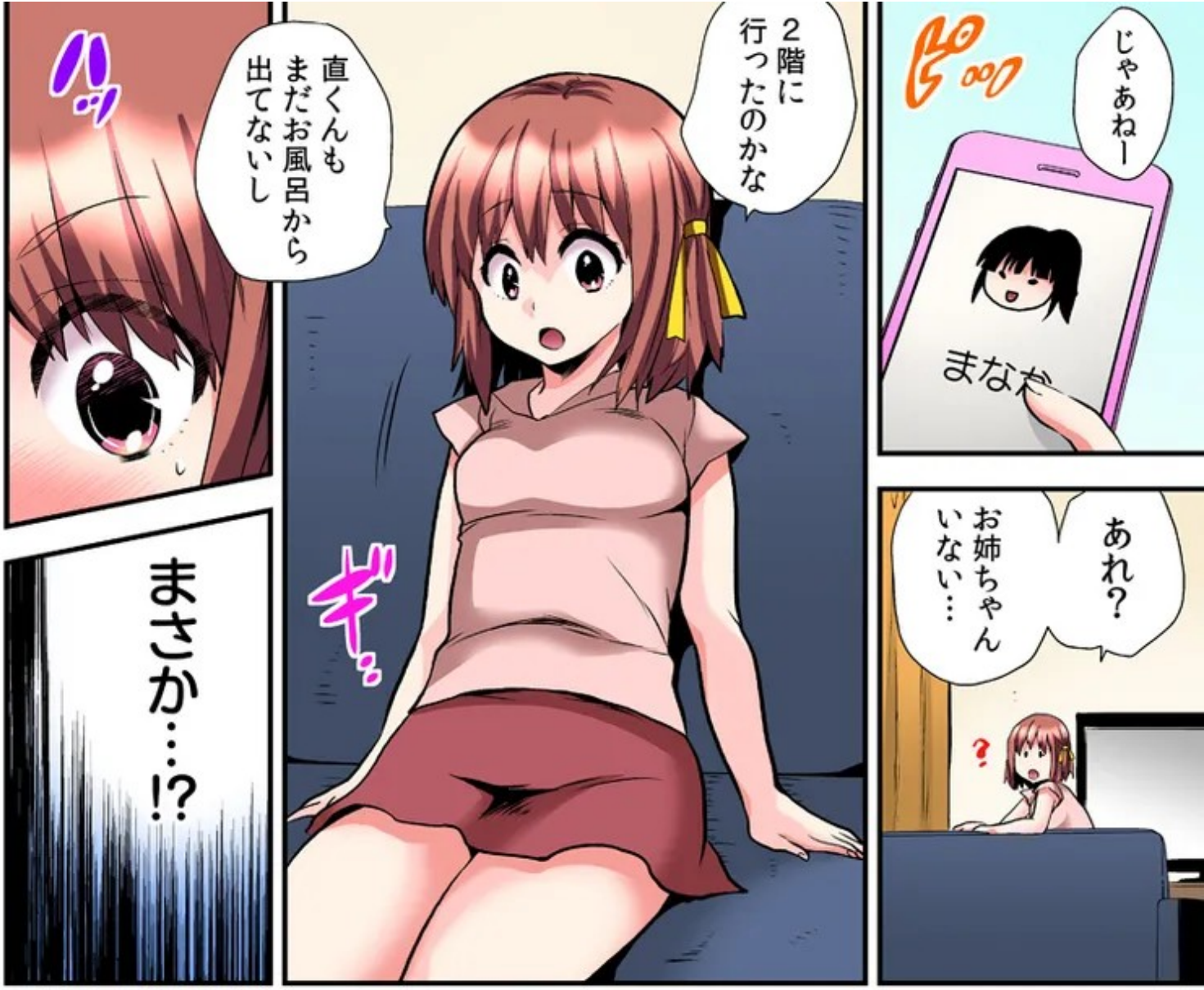
お姉ちゃんの料理
やっぱり美味しいな～
もっ
もっ


でしょー？
私みたいな
彼女持ったら
男は幸せ者
だよー？
直樹ぃ
おいしい？
ニコッ
ううん
ドキッ
うまい…

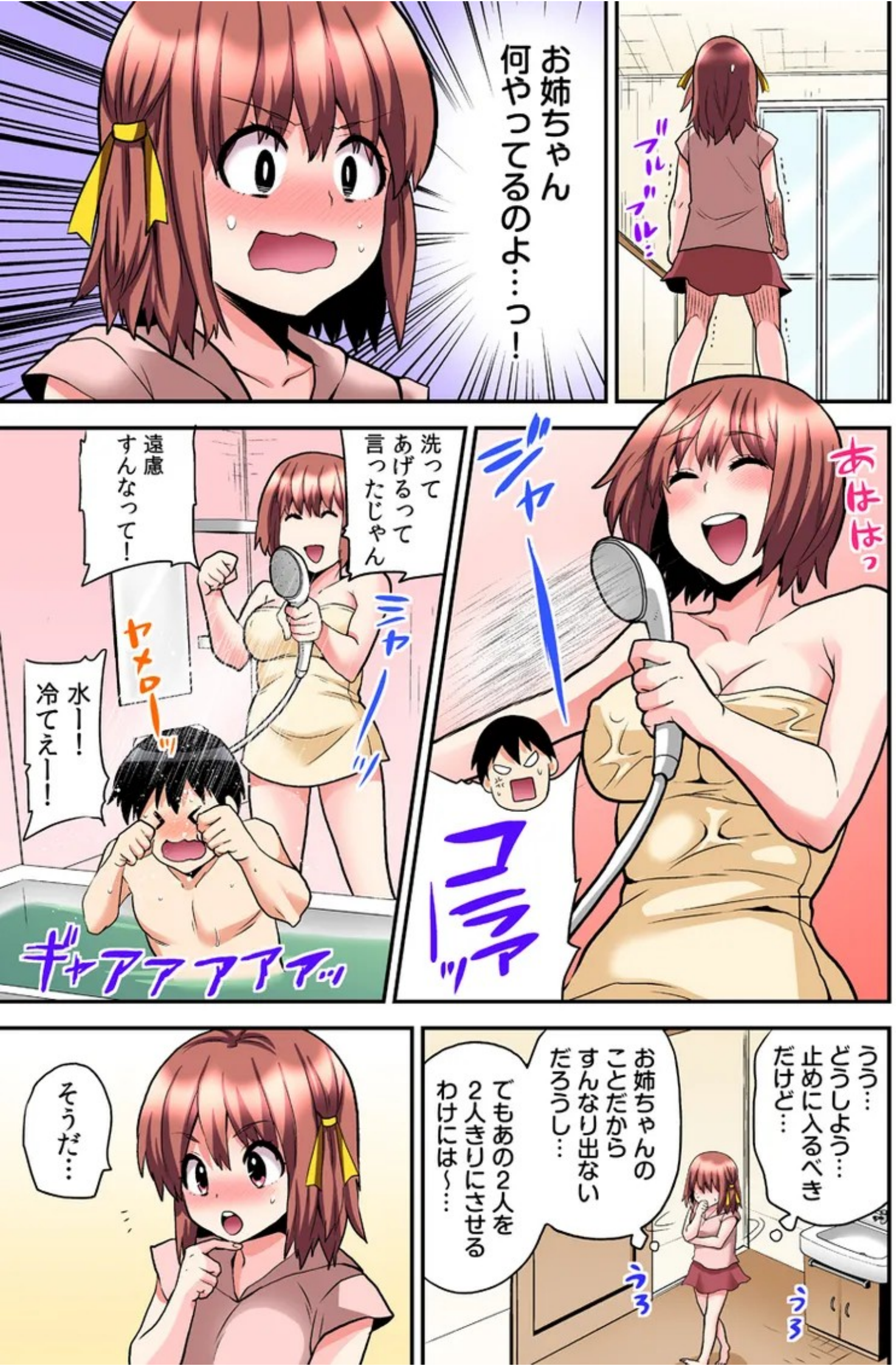

綾音は
料理ヘタクソ
だったよねー
!! い 今は
叔母さんと
一緒に作って
るもん！
ぷえぇ
んじゃ俺
先に風呂
入るわ


お姉ちゃん次入る？
んーそうだなー
ジャー!!
あっ
ピロロ…
まなかちゃんからだ
もしもし？うん 大丈夫どうしたの？
……
はああ～…
やっぱ風呂は落ち着く
チャプ…
直くん？一緒に入っていい…？
!!!!
え!?は!?綾音!?えっえっ？
ドキッ
なんで綾音がこんなことを――…っ
ガラッ

……
綾音だと思った～？ザンネーン
じゃじゃーん
てか何で入ってきてんだよ！
えー？
昔はよく一緒に入ったじゃーん
ガキの頃の話だろ！
私の中にち○ぽ挿れた仲でしょー？
は…っ
ギクッ


じゃあねー
まなだ
あれ？
お姉ちゃんいない…
2階に行ったのかな
直くんもまだお風呂から出てないし
ハッ
ギ…
まさか…!?

……
そろ～～…
ガラ…
……
ほらー背中洗ってあげる
!!
んなっ…


ブルブルブル
お姉ちゃん
何やってるのよ…っ！
あはは
ジャー
コラァッ
洗って
あげるって
言ったじゃん
遠慮
すんなって！
シャー
ヤメローッ
水ー！
冷てえー！
ギャアアアアア…
うう…
どうしよう…
止めに入るべき
だけど…
お姉ちゃんの
ことだから
すんなり出ない
だろうし…
でもあの2人を
2人きりにさせる
わけには～…
うろ
うろ
そうだ…

あった！
ガタガタ

ガラッ
そこまで！

だあ――！
お おっぱい！
あたってる
あ？

あててんのよ
ムニィ♥

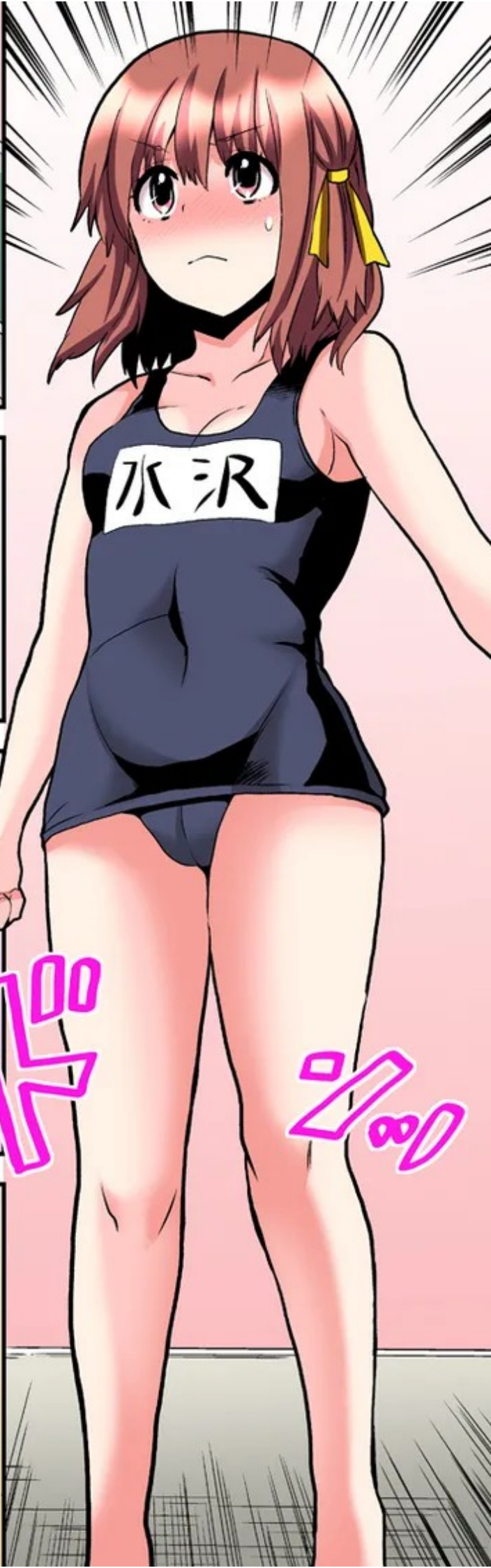
なんならここで昨日の続き…してあげてもいいけどお？
は!?
ドキ…

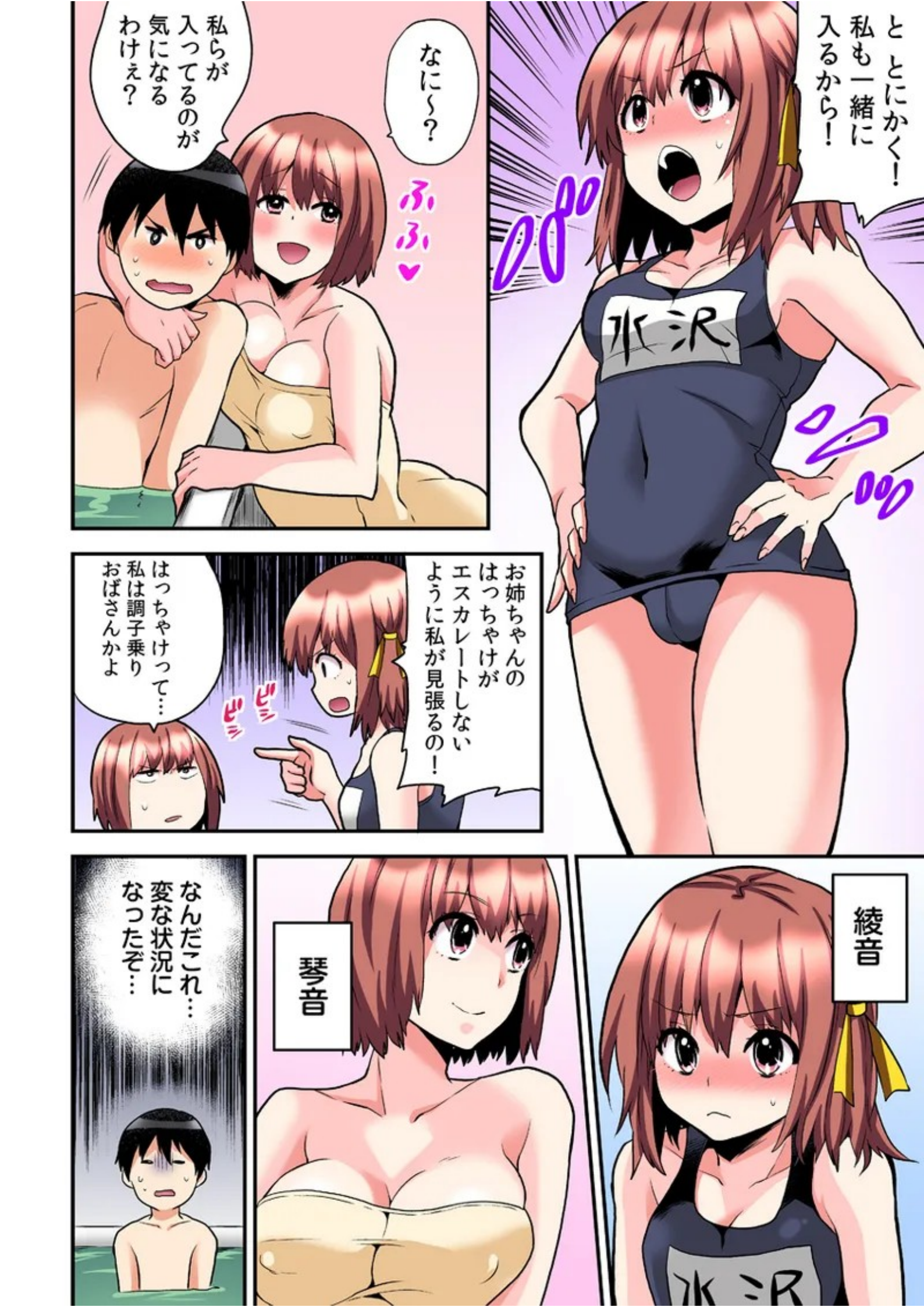
綾音…

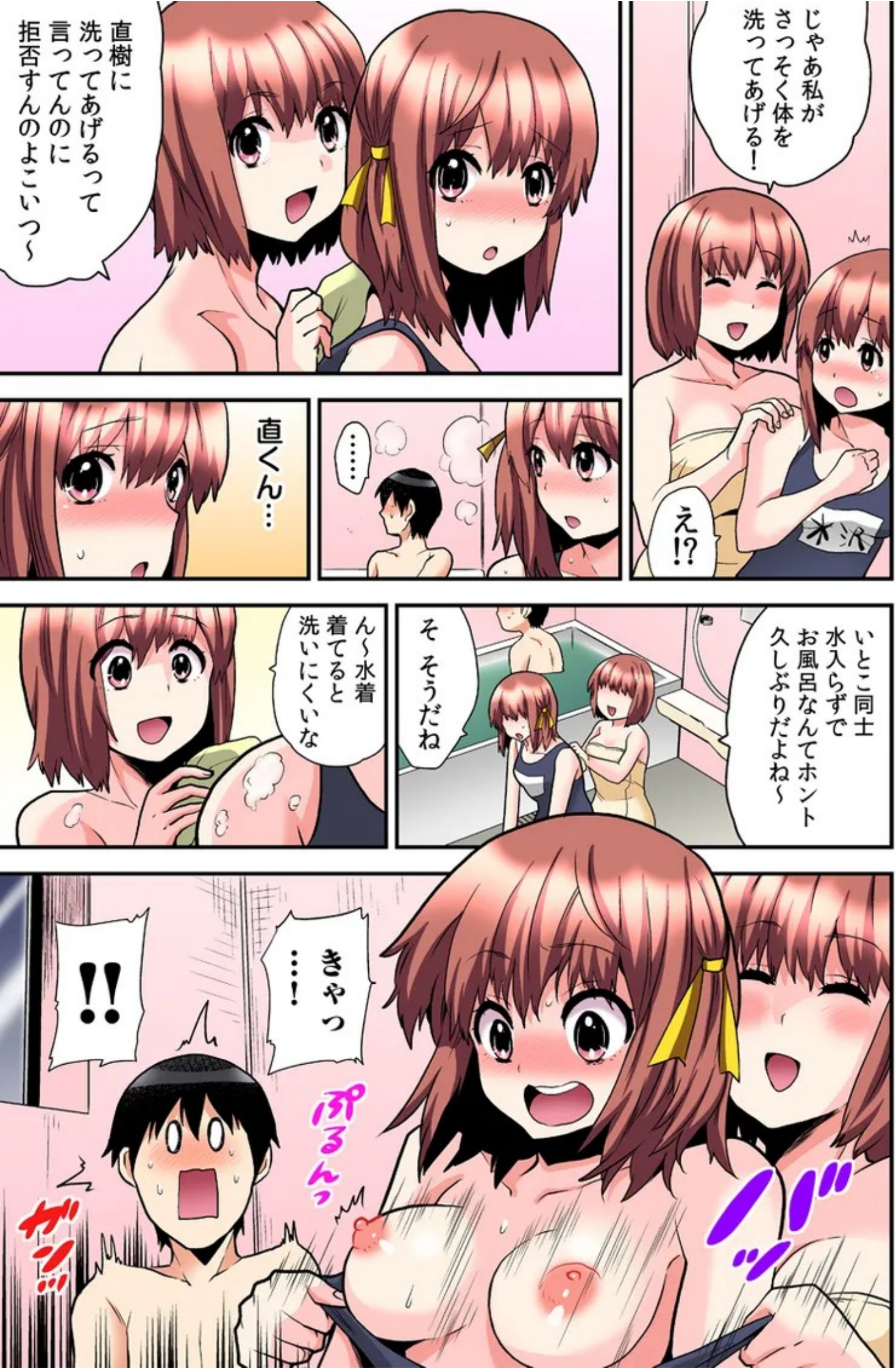
あんたそれ
中学校のときの
水着じゃん！
ブラー！
なんでここに
持って来てんのよ
ｗｗｗｗｗ

いや…
こっちでも
着るかなって…
水沢
いやいや
新しいの
買え！

綾音の水着姿…
ムチ…
カア…


水沢
ドン


とにかく！私も一緒に入るから！
水沢
なに～？
ふふ♥
私らが入ってるのが気になるわけぇ？
お姉ちゃんのはっちゃけがエスカレートしないように私が見張るの！
ビシ
ビシ
はっちゃけって…私は調子乗りおばさんかよ
綾音
水沢
琴音
なんだこれ…変な状況になったぞ…

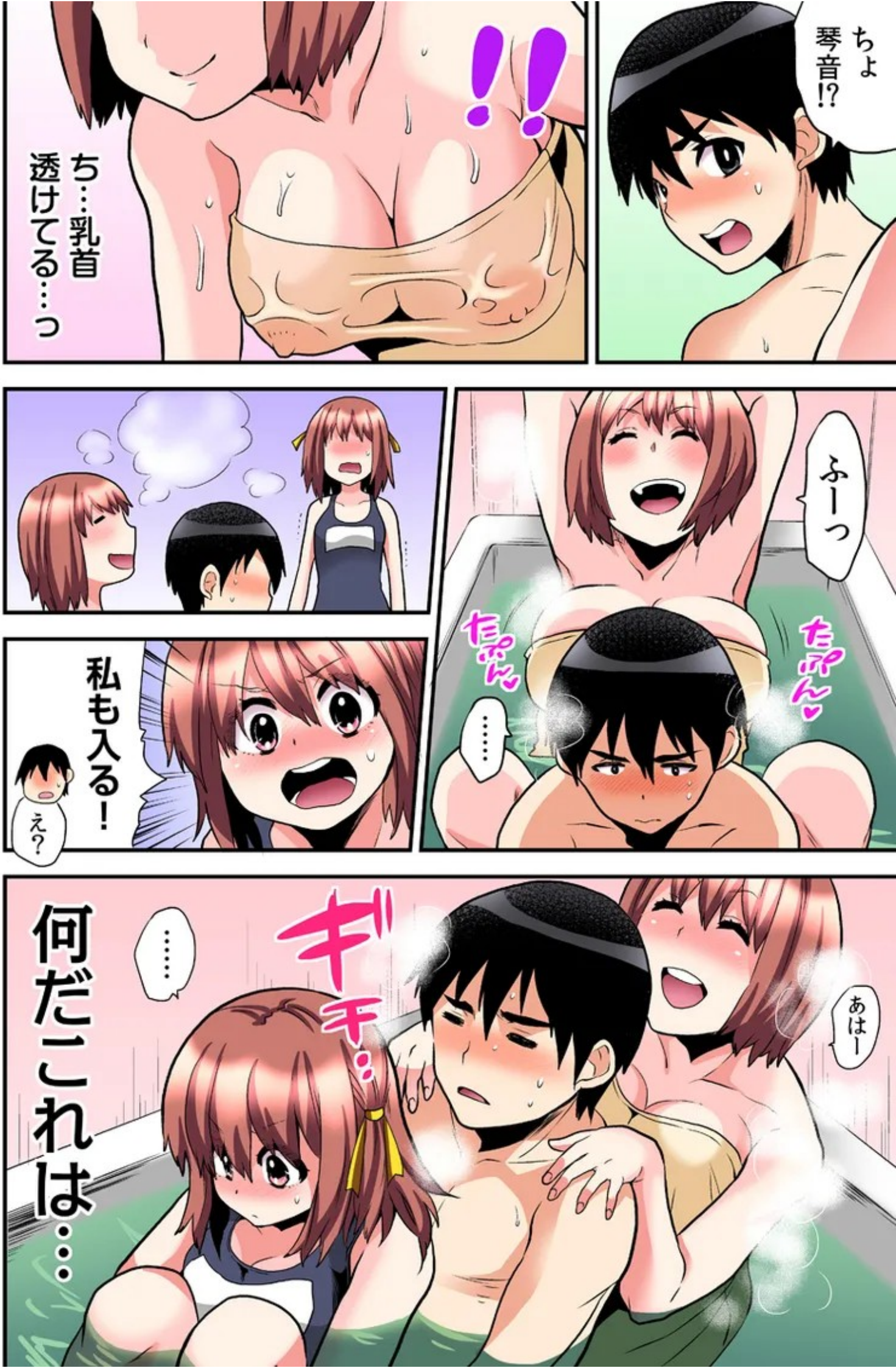

じゃあ私がさっそく体を洗ってあげる！
え!?
直樹に洗ってあげるって言ってんのに拒否すんのよこいつ～
……
直くん…
いとこ同士水入らずでお風呂なんてホント久しぶりだよね～
そ そうだね
ん～水着着てると洗いにくいな
きゃっ…！
!!
ぷるんっ
ガシッ

ぷるっ。
おっぱい
な 直くん
見ないで！
み 見てない
見てないぞ
俺は見てない
綾音も揉んで
もらったら
私くらい大きく
なるんじゃない？
んあ！
んっ
ピクッ♡
んあ
あっ
ビクビク

ちら…っ
ドクン
ドクン
ドクン
ほれ
ほれ～
んっ
エロすぎる…っ
ん…う
ヌル♥
ヌル♥
くり♥
くり♥
くり♥
んっ
あっ
ヌルヌル
ヌルヌル
ドキ
ドキ
……
まだ
洗えて
ないぞ
やだぁー
も…っ
お姉ちゃん

はーい！
次こっちね！
あっ
ん～？
なんかここ
かたく
なってる？
クリ
くちゅ
んう！
パン
ムチッ
ビクッ
はいはい
ここもきれいに
洗わないとね～
あっ
あん
ビクビク
!!
くちゅ
くちゅっ

どうだ～
ふふっ
ムク!
ああ…
ブルブル…
やべぇ…
勃ってきた…
ポチャ…
俺も
綾音と…
きゅ
直くんっ
お風呂プレイ
してみたい…
ブルブル
はーい
おしまい
くたぁ
ほらほら
そっち
つめて
はえ!?


ちょ
琴音!?
!!
ち…乳首
透けてる…っ
ふーっ
たぷん♥
たぷん♥
……
私も入る！
え？
ギチ…
……
あはー
何だこれは…

エロVRに夢中なあの子

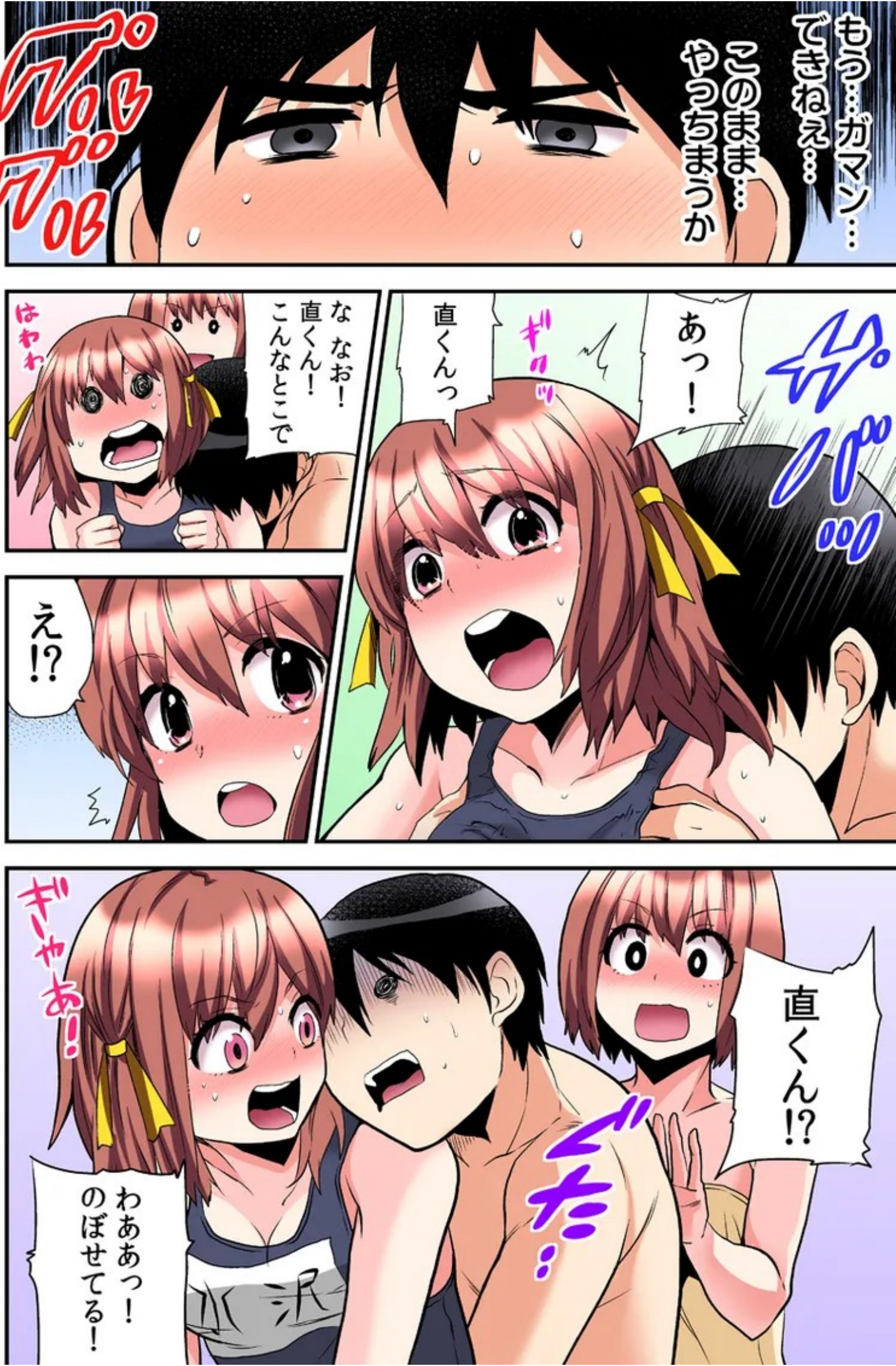
そうそう
直樹が
小2くらいの時
だっけ～？
うちに泊まりに
来た時にさ～
ムニュ
ぐお…おっぱいの感触…
ヤバイ…
前には綾音…
……
あー…
首筋に
顔をうずめて
匂いを
嗅ぎたい…
ビクッ
あっ
ゴクン

これって…
ピト。
直くんの…
ドキドキ
ドキドキ
あたってる…っ
くにゃ…っ
直くんの挿れて欲しい…なんて…
ドキ
ドキ…
ドキ
ドキ…
私…すごくエッチなこと考えてる…
きゅん♡
きゅん♡
アソコがうずいて…
じん…
きゅう♡
じん…

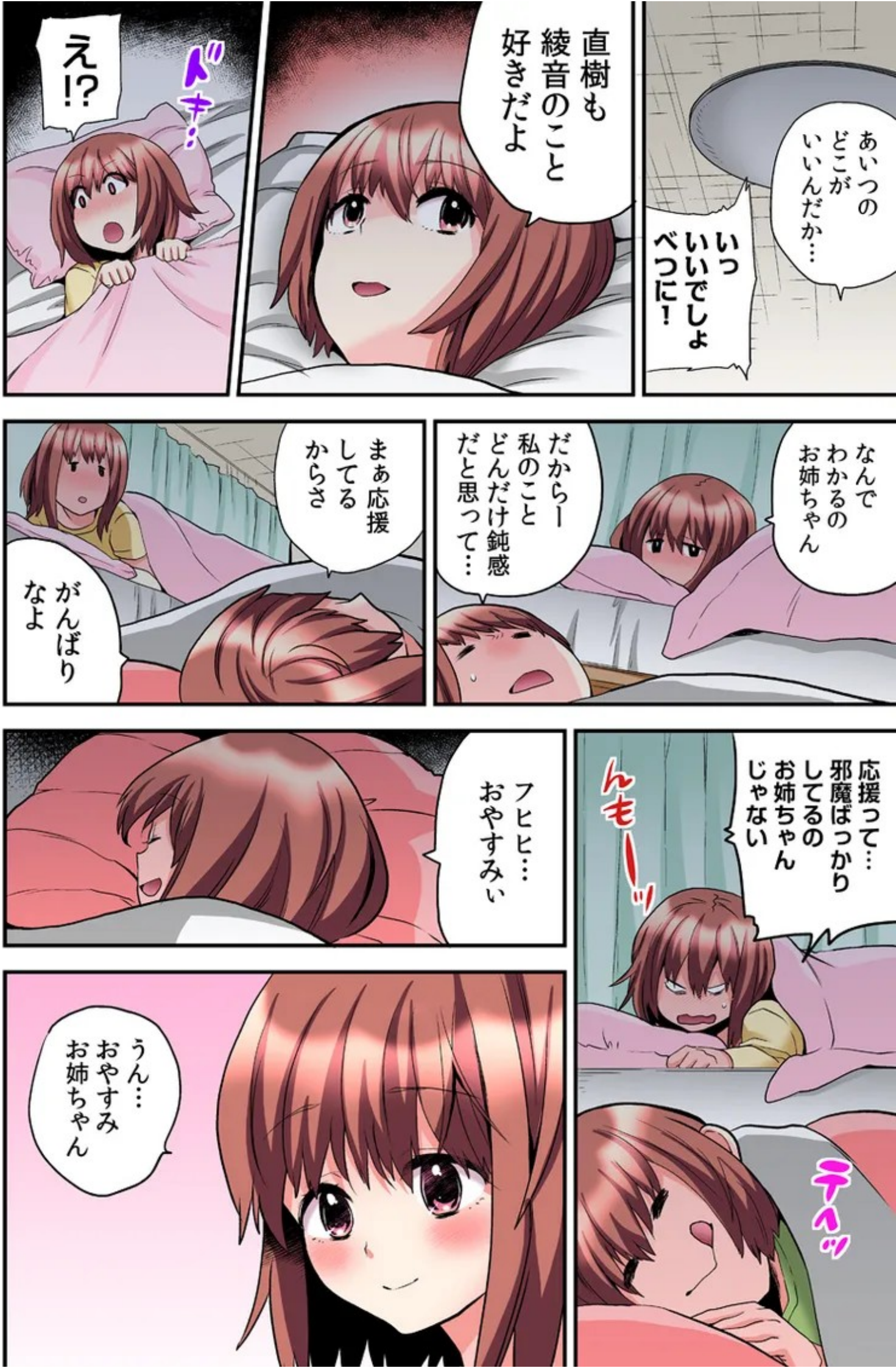
ビクッ
ズ○○
ズ○○
ハッ
ハッ
やべぇ…
水着の生地が
気持ちいい…
！
ズ○○○
あ…っ直くん
擦りつけてる…
気持ちいいのかな…
ヌプ
ヌプ
でさー
……
…あ
ビクッ

!?
ニュッ ニュッ
直くんのが
股の下に…！
は…っ
ズボッ
私のアソコが…直くんので
擦られてる…っ
は…♥
は♥
ビク ビク
しゅっ しゅっ
だめ…
お姉ちゃんがいるのに…

ちょっと直樹聞いてんの!?
ドン
あっ
ひゃっ
!!
ムニュ
モミ…
モミ…
綾音の生おっぱい…!
乳首これが…っ
キュ
!!
ピクン
んぁ

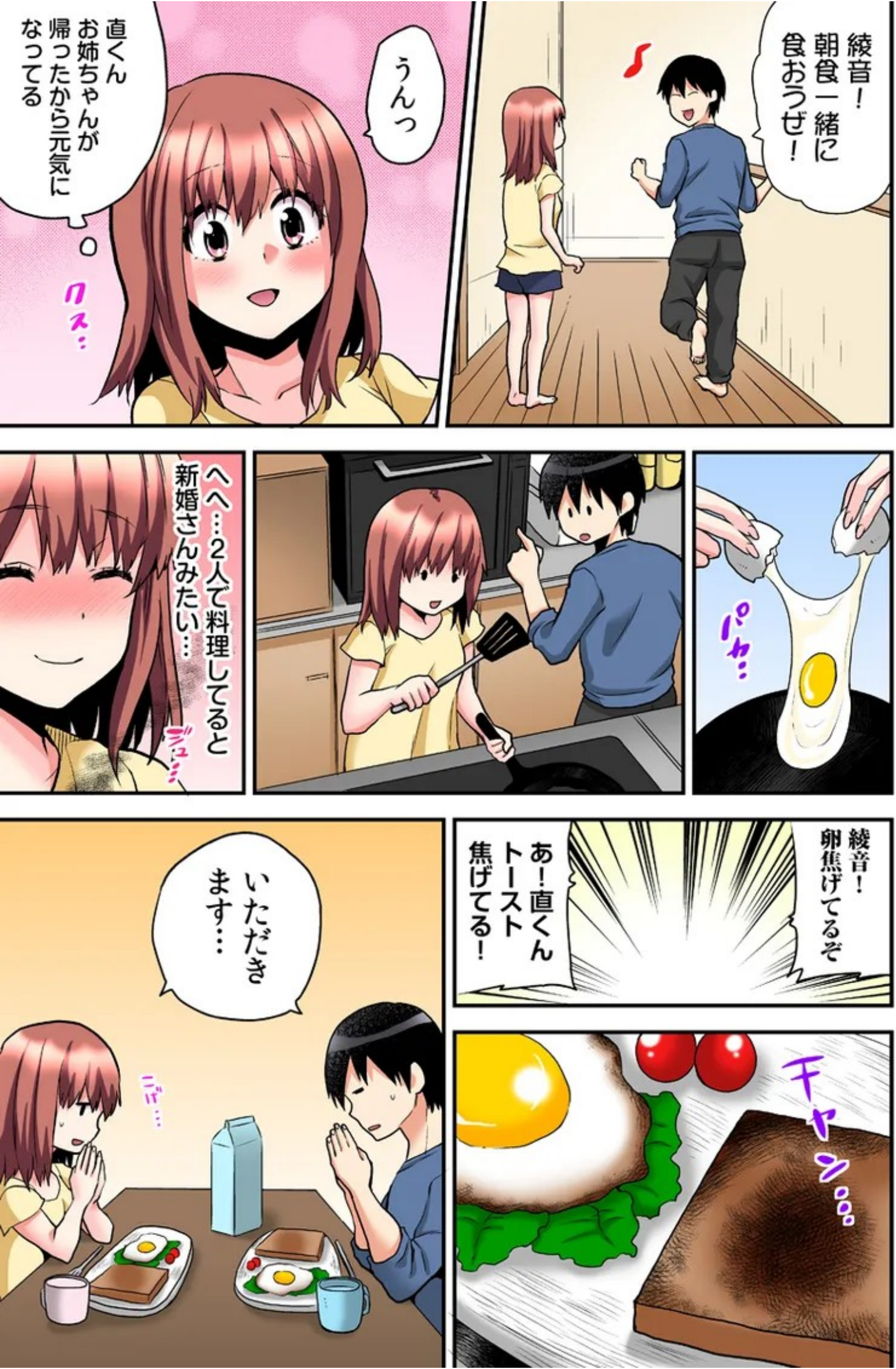

もう…ガマン…できねえ…
このまま…やっちまうか
プ
プ
OB
あっ！
直くんっ
ギュッ
な なお！
直くん！
こんなとこで
はわわ
え!?
直くん!?
ギュ
ギャあ!!
わああっ！
のぼせてる！

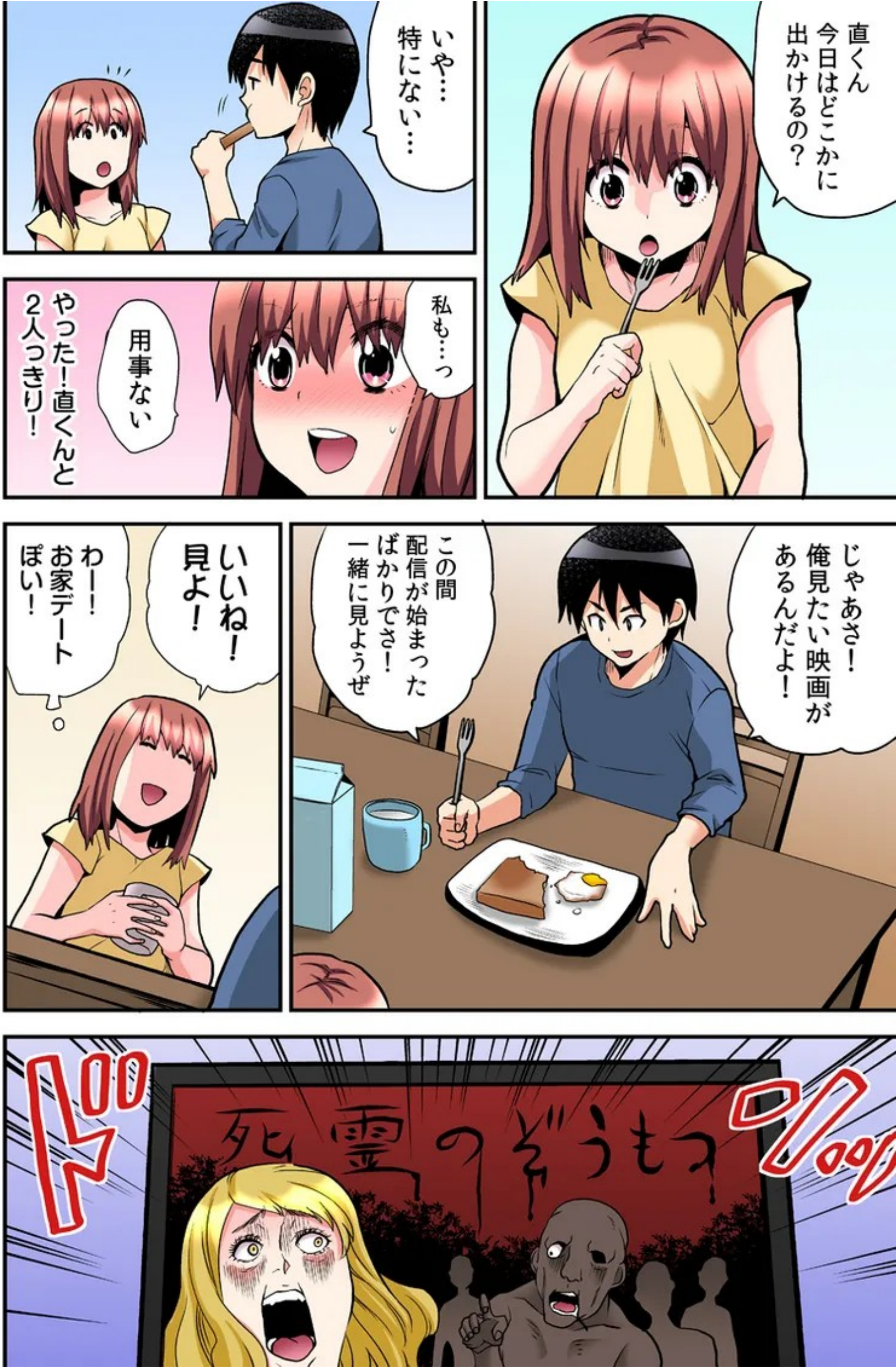
スー
スー
はー
重かった
まったく～
お風呂でのぼせる
なんてなさけない
お姉ちゃんが
直くんをからかう
から直くんが
お風呂から出られ
なかったんでしょ
直樹は
朝までここで
寝かせとこ
あんたさ
直樹のこと
好きでしょ
は!?え!?
なんっ
ちっ…違う…
……
あんたねぇ…
気づいてない
とでも思ったの?
どんだけ
私を鈍感だと
思ってんのよ

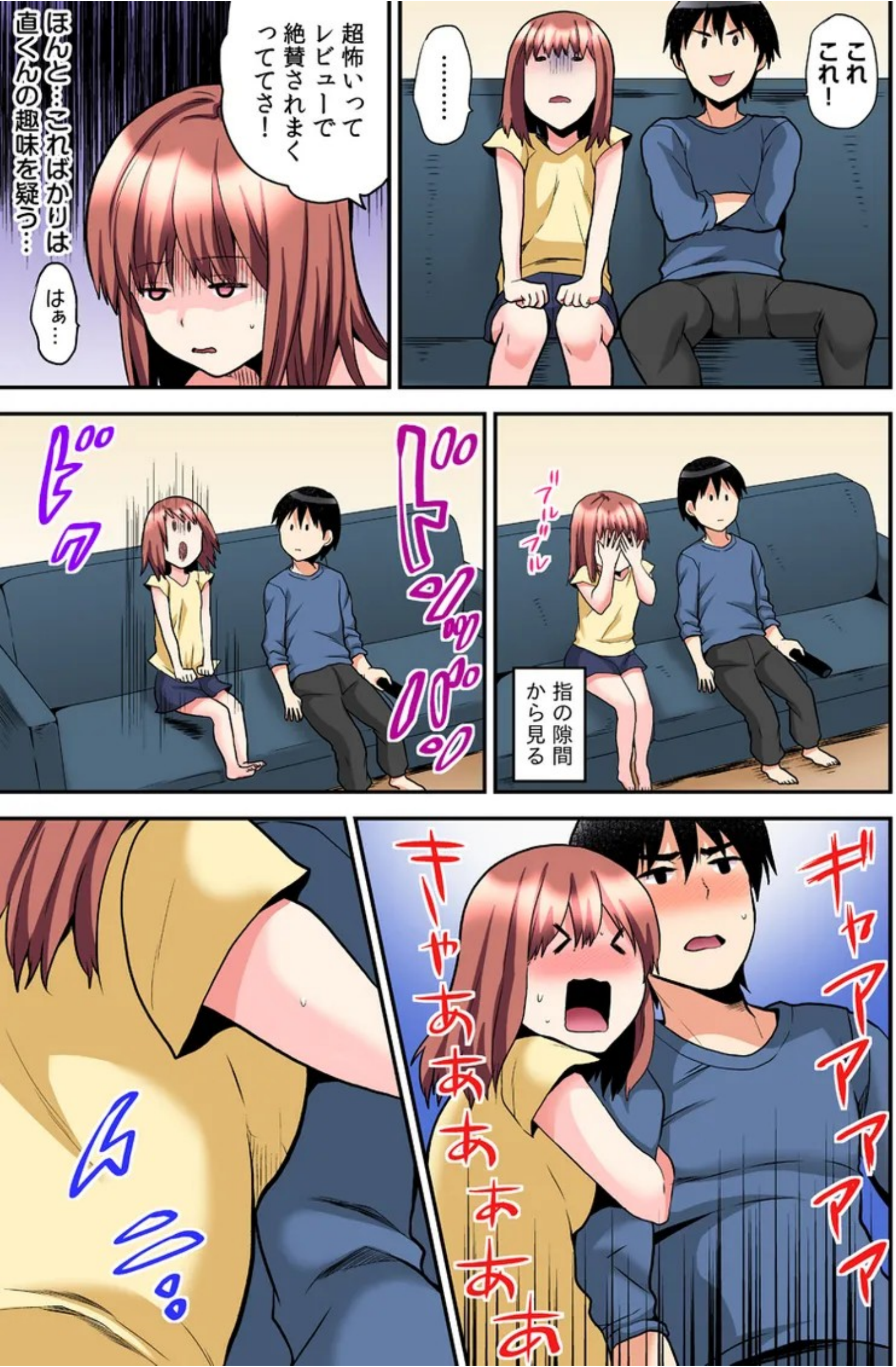

あいつの
どこが
いいんだか…
いっ
いいでしょ
べつに！
直樹も
綾音のこと
好きだよ
ガ〜ン！
え!?
なんで
わかるの
お姉ちゃん
だからー
私のこと
どんだけ鈍感
だと思って…
まぁ応援
してる
からさ
がんばり
なよ
応援って…
邪魔ばっかり
してるの
お姉ちゃん
じゃない
んもー!!
テヘッ
フヒヒ…
おやすみぃ
うん…
おやすみ
お姉ちゃん

チュン
チュン
うーんっ
お姉ちゃん
おはよ…
あれ!?
いない!
手紙だ…
カサ…
用事ができたので
帰りま～す！
叔母さんたちが帰って
くるまでに直樹に
はっちゃえ！ バイバイ♥
ニヒね

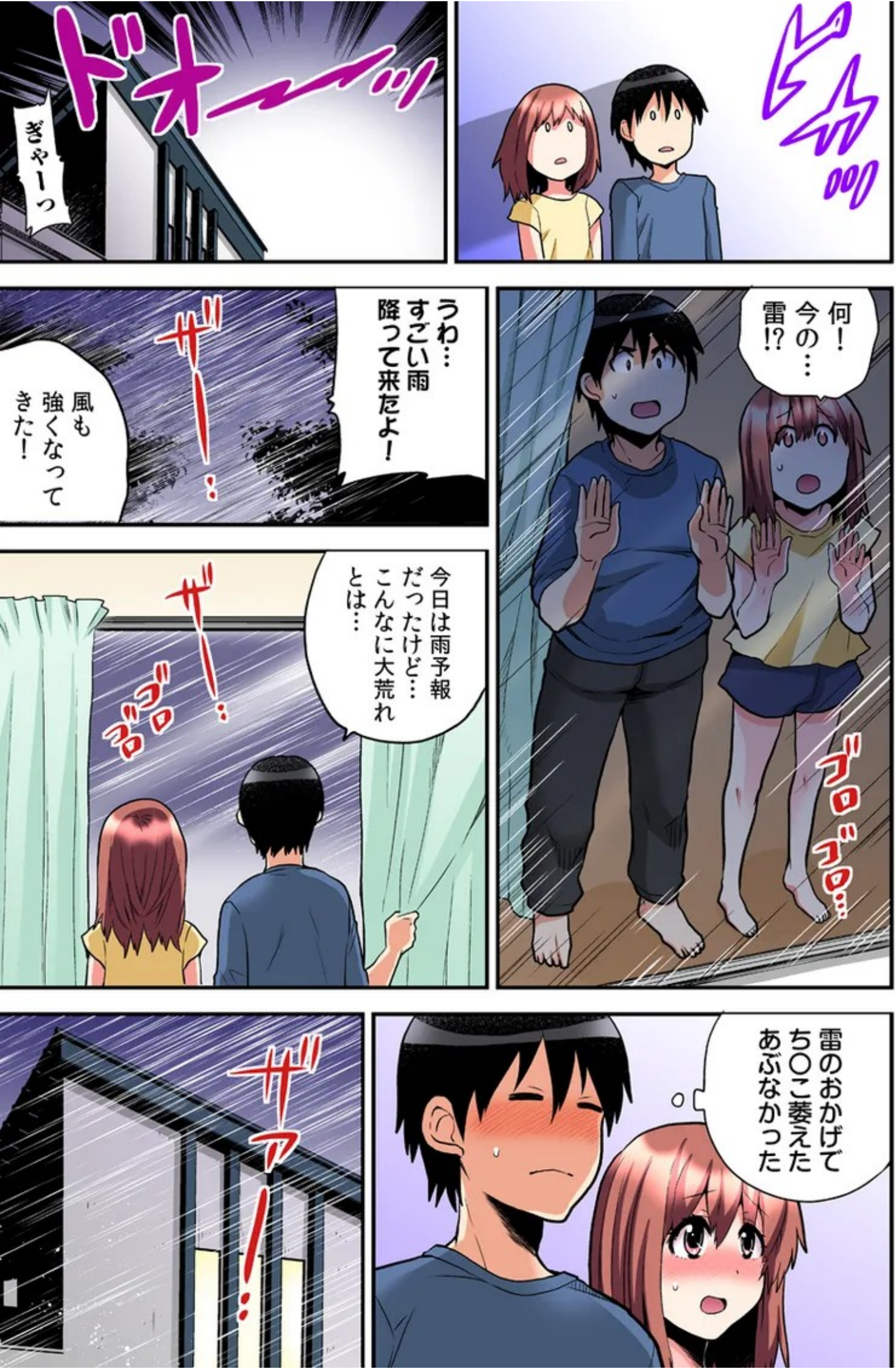
告れって…
できるわけ
ないでしょ…
でも…もっと積極的に
いったほうがいいのかな…
ドキ
ドキ
あっ
ガチャ
直くん！
おはよう
綾音！
琴音のやつ
まだ寝て
んのか？
ブル
ブル
それが…
起きたらもう
帰っちゃった
みたいで…
!!
そ そうか！

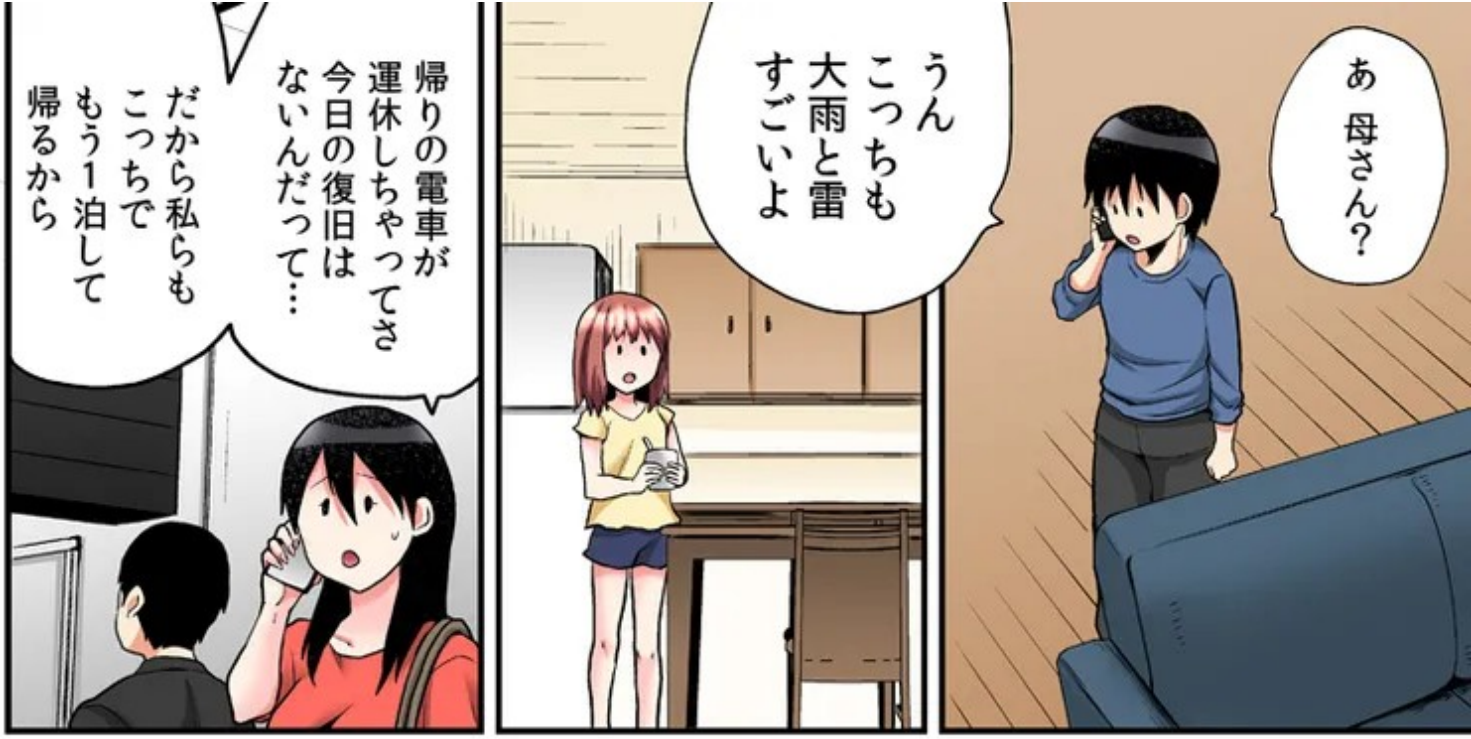

綾音！
朝食一緒に
食おうぜ！
うんっ
直くん
お姉ちゃんが
帰ったから元気に
なってる
クス…
パカ…
へへ…2人で料理してると
新婚さんみたい…
ジュ…
綾音！
卵焦げてるぞ
あ！直くん
トースト
焦げてる！
チャン…
いただき
ます…
ニヤ…


直くん
今日はどこかに
出かけるの？
いや…
特にない…
私も…っ
用事ない
やった！直くんと
2人っきり！
じゃあさ！
俺見たい映画が
あるんだよ！
この間
配信が始まった
ばかりでさ！
一緒に見ようぜ
いいね！
見よ！
わー！
お家デート
ぽい！
ドドドド
死霊のぞうもつ


これこれ！
……
超怖いってレビューで絶賛されまくってて さ！
ほんと…これば かりは直くんの趣味を疑う…
はぁ…
ブルブル
指の隙間から見る
ドンッ
ドンッ
ギャアアアアアア
キャあああああ
ん。。。

綾音のおっぱい…
あたってる…！
朝からずっと気になってたけど…
こいつ…
ノーブラだよな…
乳首の形がういてるぞ…
今日夜まで誰もいねぇし…チャンスじゃないか…？


ドオーン!!
ぎゃーっ
ピカッ
何！
今の…
雷!?
ゴロゴロ…
うわ…
すごい雨
降って来たよ！
ザー!!
風も
強くなって
きた！
今日は雨予報
だったけど…
こんなに大荒れ
とは…
ザー!!
ゴロゴロ
雷のおかげで
ち〇こ萎えた
あぶなかった
ザアー!!

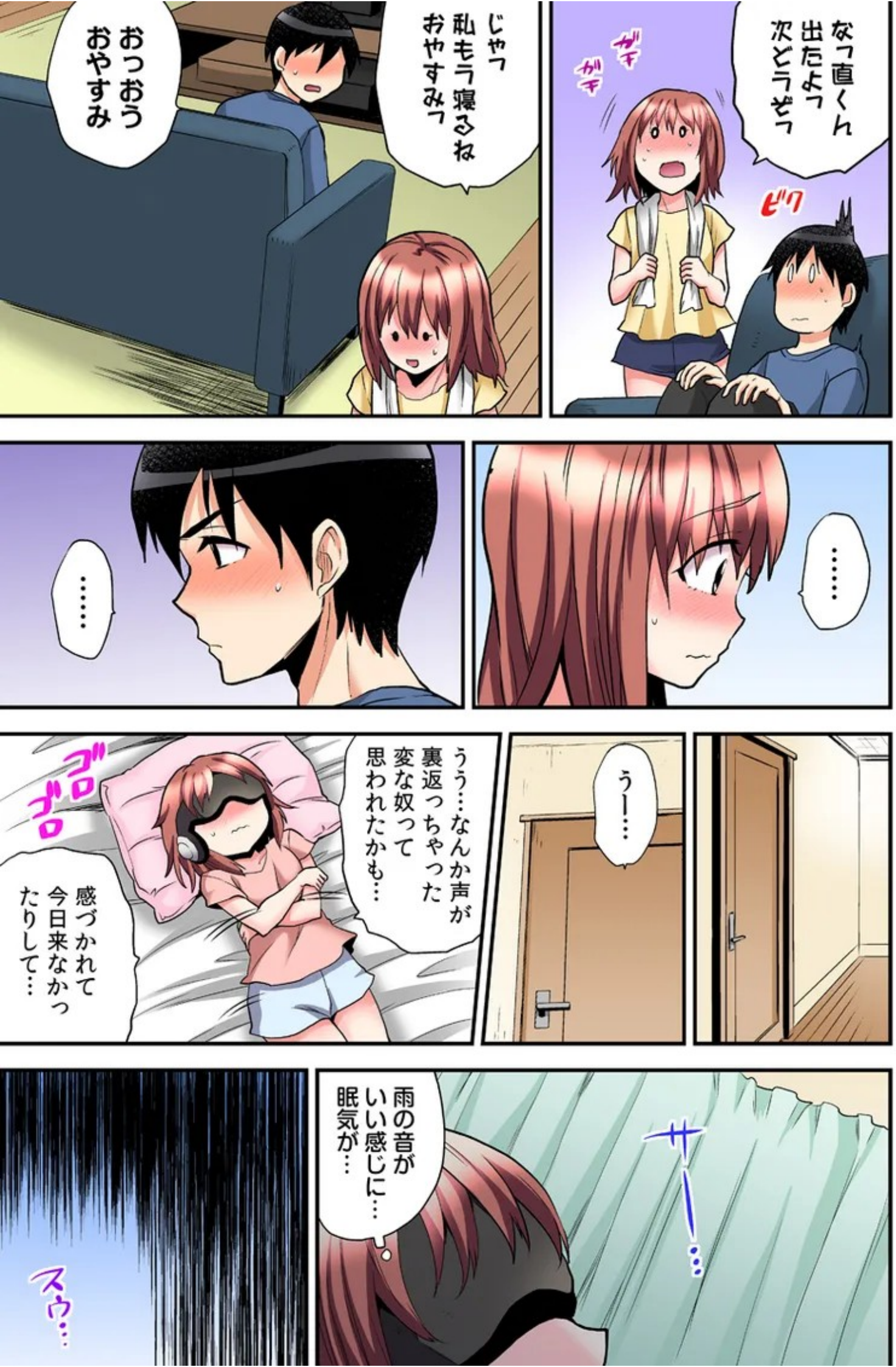

あ 母さん？
うん
こっちも
大雨と雷
すごいよ
帰りの電車が
運休しちゃってさ
今日の復旧は
ないんだって…
だから私らも
こっちで
もう1泊して
帰るから

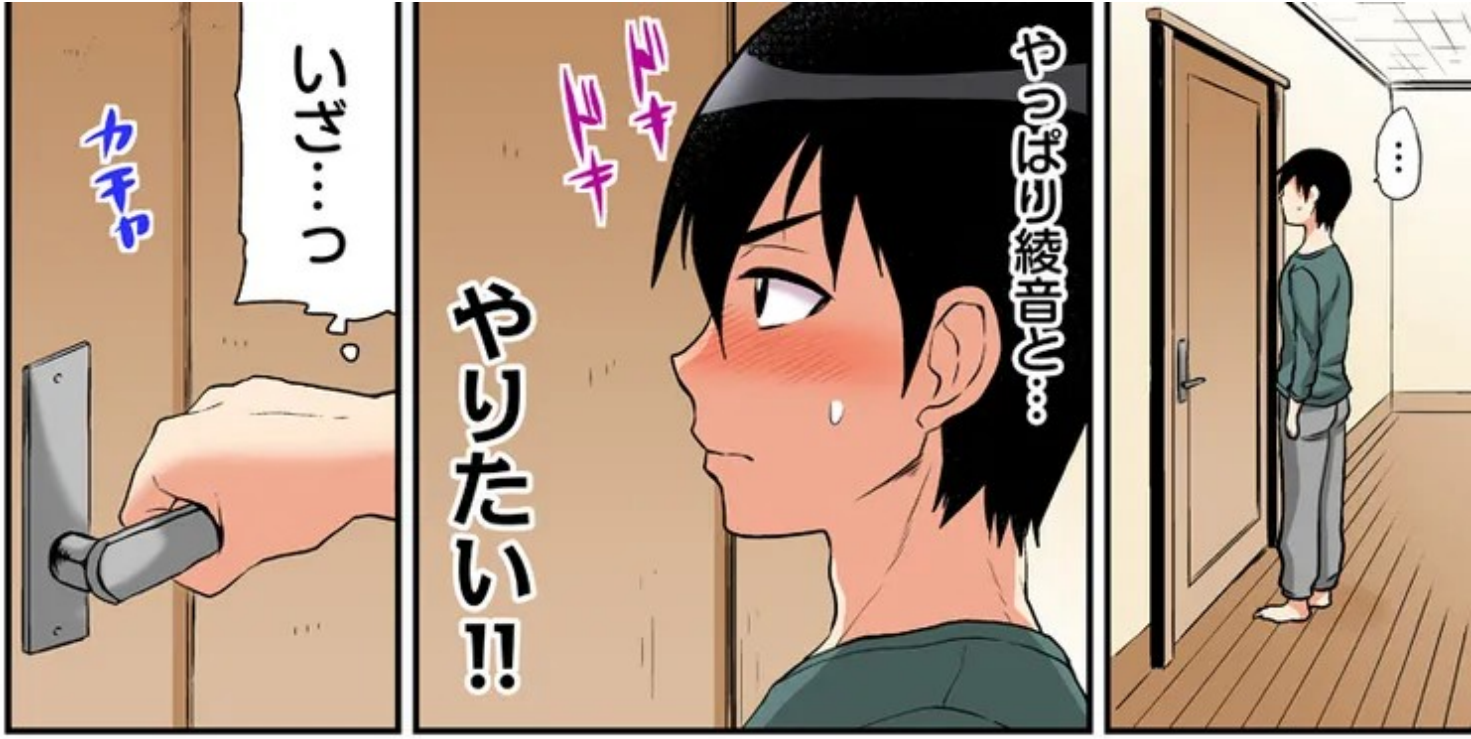
あんたたち
戸締りしっかりして
おいてねー
それじゃ！
叔母さんたち
なんて？

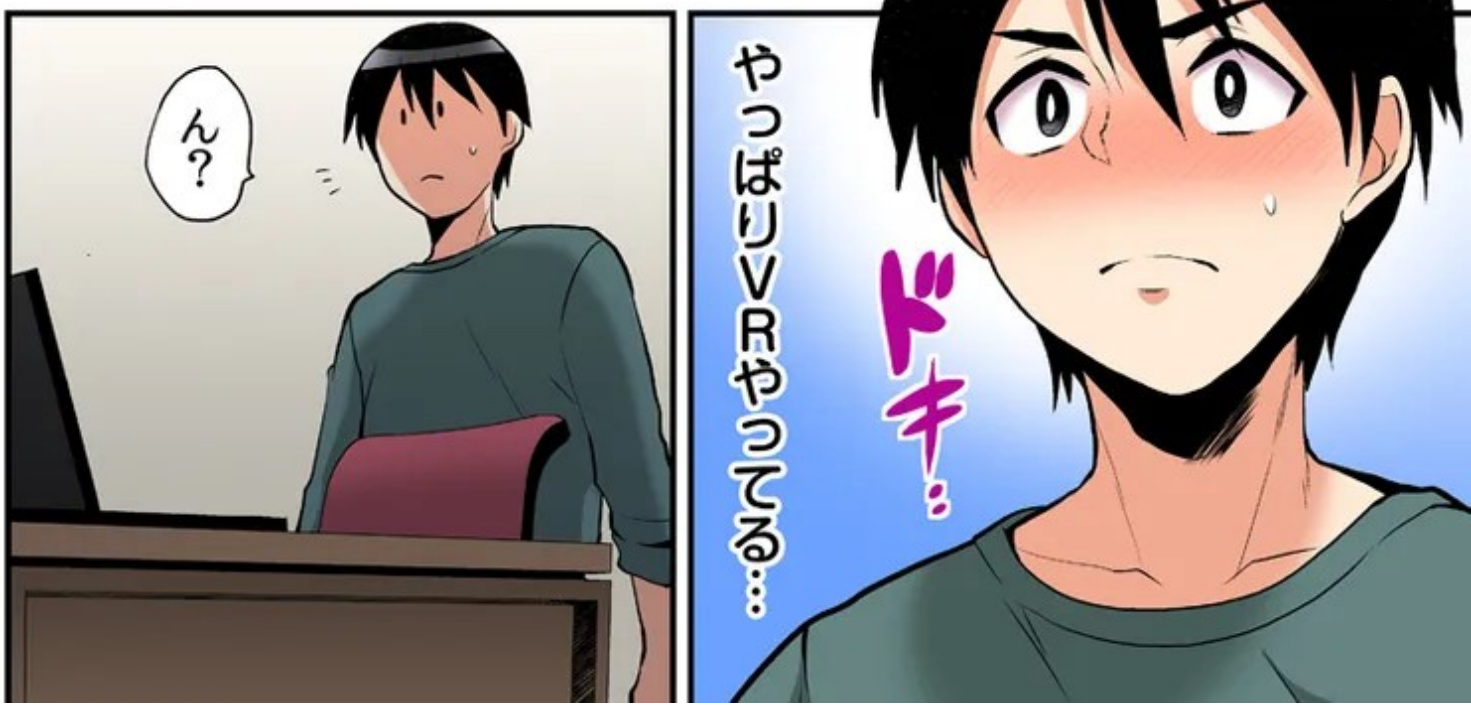
えっと…
電車止まって
今日は帰れないから
泊まってくるって
そうなんだ…
大丈夫かな
ゴクッ…
今夜…
2人きり!?
ドキドキ…

えーっと…
私先にお風呂
入るね…
停電に
なっちゃうかも
しれないし
あ ああ…
俺も次に
入るわ
うん…
バタン
……
うう…
綾音と
2人きり!?
これは色々と
チャンスなんじゃ
ないのか!?
いやいや
でもなぁ…
ううー
……
フゥ…
ジャー!!

……!!
チャプ…
今日なら…もしかしたら直くん部屋に来るかも…
もし……来たら…直くんに気持ちを伝える…?
急に意識しちゃった…夜2人きりなんて…
フー…
だって…そのために待つんでしょ…?
緊張してきたぁ!
ビタ
ビタ


なっ直くん
出たよっ
次どうぞっ
ガチ
ガチ
ビク
じゃっ
私もう寝るね
おやすみっ
おっおう
おやすみ
……
……
うー…
ううっ…なんか声が
裏返っちゃった
変な奴って
思われたかも…
ゴロ
ゴロ
感づかれて
今日来なかっ
たりして…
雨の音が
いい感じに…
眠気が…
サー…
スウ…


…
やっぱり綾音と…
ドキ
ドキ
やりたい!!
いざ…っ
カチャ


やっぱりVRやってる…
ドキ…
ん?

今日のVRは甘～い恋人たち？なるほど…
…ん？VRしてるわりには静かだな…
プク…
ムチ…
ピカッ
ブロ…
ズル…

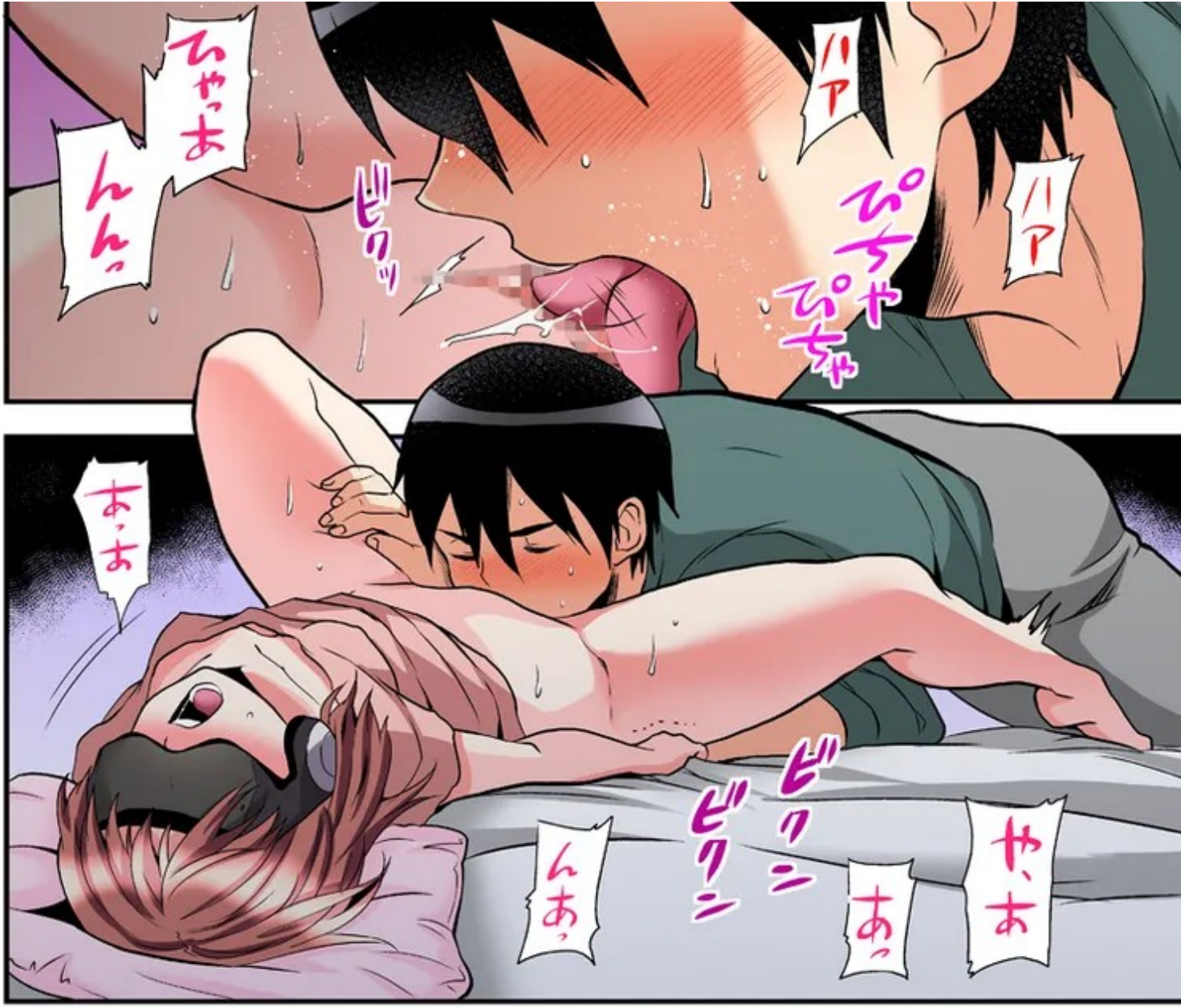
は…っ
パチ
私…
いつの間にか
寝てた…?
!
誰か…いる!
もしかして…
直くん…!?
あ…
フニッ
あ…!
パジャマ
脱がされてる…!
直くん…っ
やっぱり来て
くれたんだ…!
あ
ん
ハア
ドキドキ
ハア

あんっ
んあ
そこ…だめ…っ
カリカリ
は…
ビクビク
あ…っ
んん…っ
ゾクゾク
あっ
直くん…っ
くりくり
くちゅくちゅ
や
くにゅくにゅ
直くんが――…
私のアソコさわってる…っ
んあ
あっ
気持ちいいよぉ…っ
直くん…こんな触り方するんだ…
あぁっ
やっ
んっん
ビクッビクッ
コリコリ

じゃ…
ぐちゅぐちゅ
濡れてきた…
あ…っ濡れてきちゃった…
ヤア…
恥ずかしい…っ
ズル…
!!
ハァ
ハァ
ゴク…
やあ…っ直くんにアソコ見られてる…！
くぱっ♡

エロVRに夢中なあの子

綾音のここ…
久しぶりに見たな…
ハァ
ハァ
くぱっ
たまんねェ…やっぱりエロイッ
ブキュ…
ハァ
ハァ
ひあっ
ビクンッ
イロ…
イロ…
あっ
あ…
あっ
直くんが…私のアソコを舐めてる…っ


ハア
ハア
ぴちゃ
ぴちゃ
ビクッ
ひゃっ
あ
んんっ
や、あ
あっ
ビクン
ビクン
んあっ
あ、あ

!!
つぷ!

んあっ
ビクッ

視界が暗いせいで
アソコに意識が
集中して…
すごく敏感に
なってる…っ
あ
ハア
ハア
あん

あっあ！
あん
はぁ
ハァ
ハァ
ぺちゃ
ぺちゃ
んあ
んあ
綾音のま○こ…
ペロ
ペロ
汁がダラダラ
あふれてくる…
ぐぢゅ
ぐぢゅ
あっあ
やっ
綾音を
イカせてやる――！
あんっ
んあ
ぺろ
ぺろ
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ
直くん――…
舌と指が激しい…っ
ビクン
ビクン
んっ
んっ

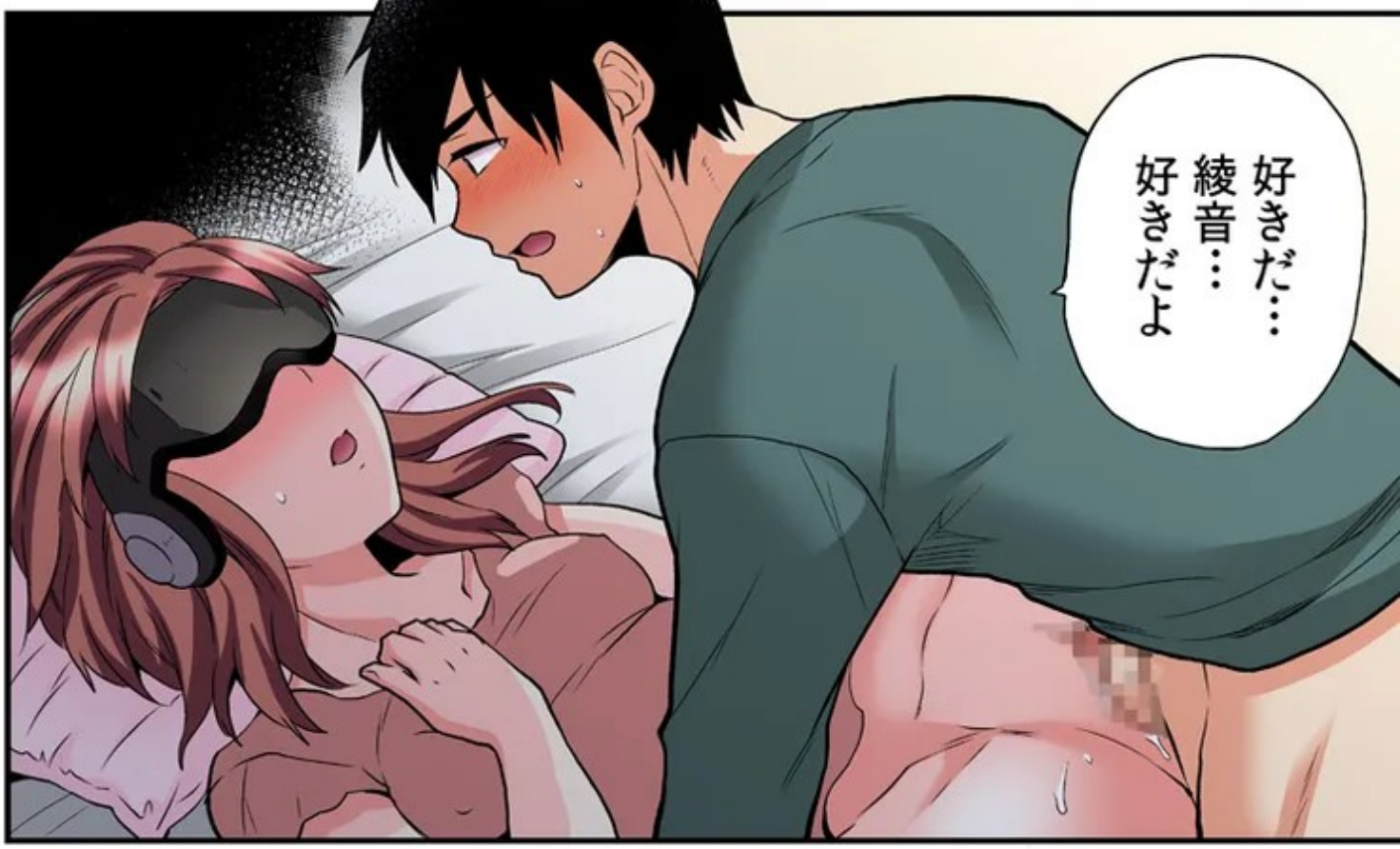
ゃ…あ…だめ…
はっあ
アッ
イッちゃう――ッ
んおおお
ビクン。。
ビクン。。
私の…イクところ…
直くんに…見られた
プシャ…
ハア
……
ハア
ゴク…
!!
ヌル…
ヌル…

あ――…これってもしかして
直くんの――…
私のアソコに
擦りつけて…っ
挿れちゃうんだ…直くん…っ

ひぉぉぉぉん
あ…っ
きゅうううう♥
ハア
ハア
子宮口が先っぽに吸いついて…っ
綾音の中…やっぱ気持ちよすぎる
動かさなくてももうイキそうだ…っ
ギチ…
きゅう♥
あ…
あ…

気持ちいいよぉ…っ!!
ハァ
ハァ
この硬いモノが挿入(は)いってくる感覚…
あ…
あ…
私知ってる――…!
ビクッ
ビクッ
やっぱり私…直くんに処女…奪われてたんだ…
うぅん…奪われたんじゃない
直くんが
もらってくれたんだ――
じわ…

気持ちいいよぉ…
VRカレシ
甘〜い恋人たち
R18
そういえば…今回のVRは恋人同士の甘いセックスのやつだったな…
それならVRとシンクロしてバレないか
ドキドキ…
スゥー…


好きだ…綾音…好きだよ

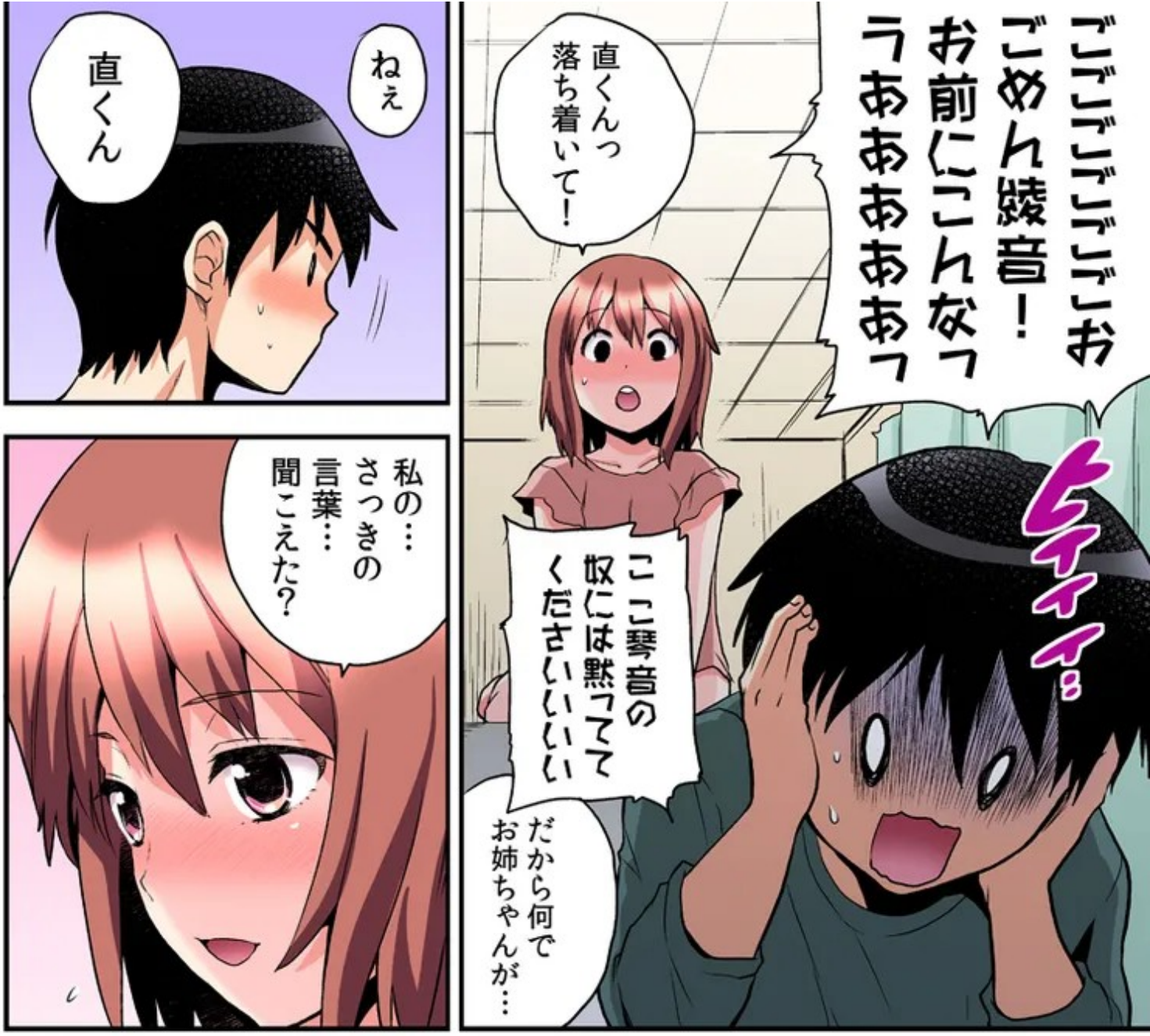
え——…
ドキ…

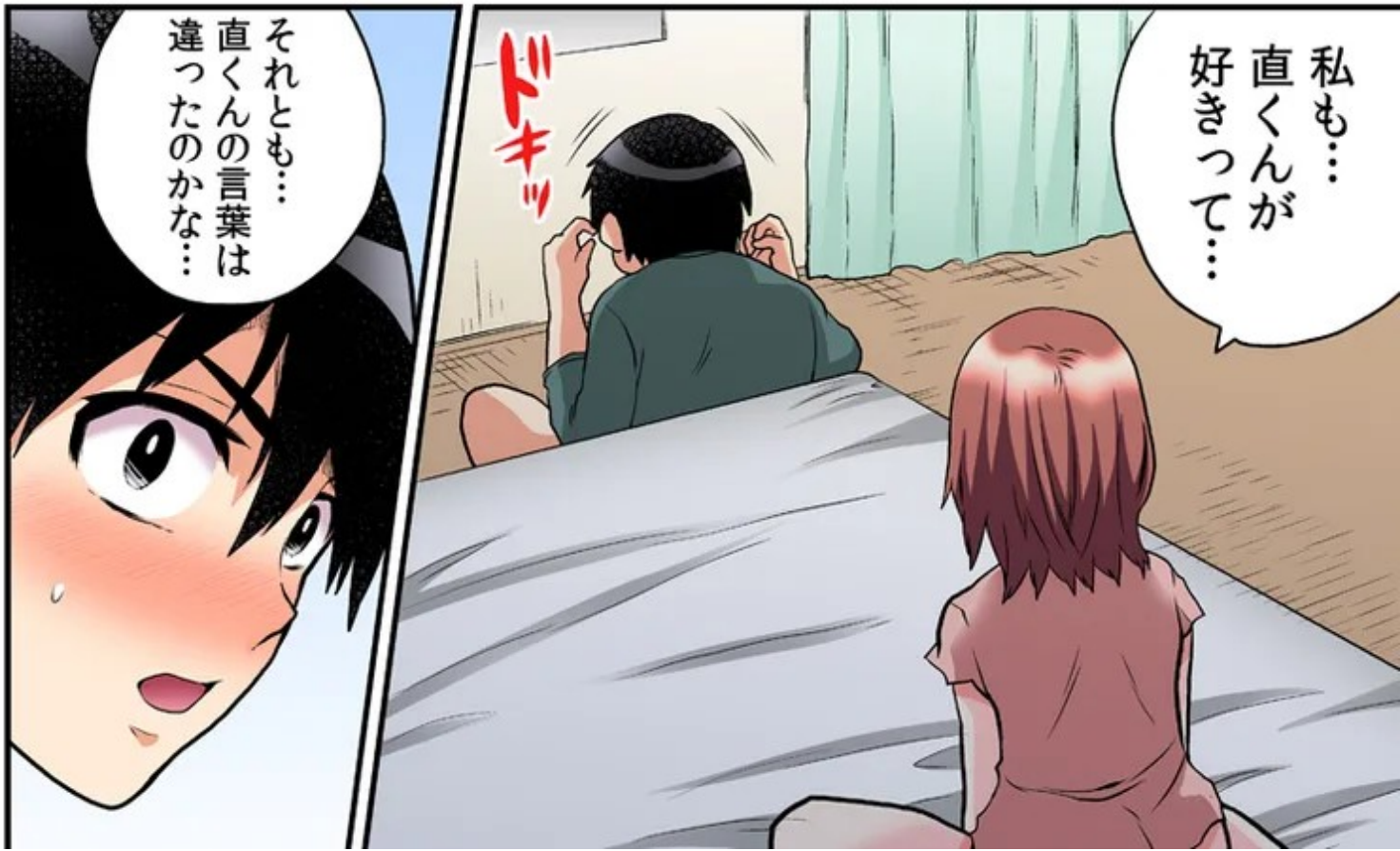
直くん…私のこと…
好きって言った…
ギュッ…
好きだ…
綾音
好きだ

ドキ…
ドキ…
どうしよう…
嬉しい
嬉しい…っ！
私も…
自分の気持ち
伝えなきゃ
直くんに
伝えなきゃ
……
そ…
直くん――…！

直くん…
ありがと…
嬉しい…
私も…
直くんの
ことが
好き…っ

綾音…？
え…
お前…
なん…で
は…っ
ギチ…
「ん…
琴音…
え…!?
お姉ちゃん？
な 直くん
どうしたの…？
ぎゃあっ
ドサ
ギョ
直くん！


ごごごごごごおお
ごめん綾音！
お前にこんなっ
ラあああああっ
ヒィィィ…
直くんっ
落ち着いて！
ここ琴音の
奴には黙ってて
くださいいいい
だから何で
お姉ちゃんが…
ねぇ
直くん
私の…
さっきの
言葉…
聞こえた？


私も…
直くんが
好きって…
ドキッ
それとも…
直くんの言葉は
違ったのかな…

あっ
綾音…違…っ
！
ポロポロ…
ああああ～！俺は綾音を泣かせて何やってんだよ！
あや…綾音！
俺…俺は
綾音が好きだ…大好きだっ

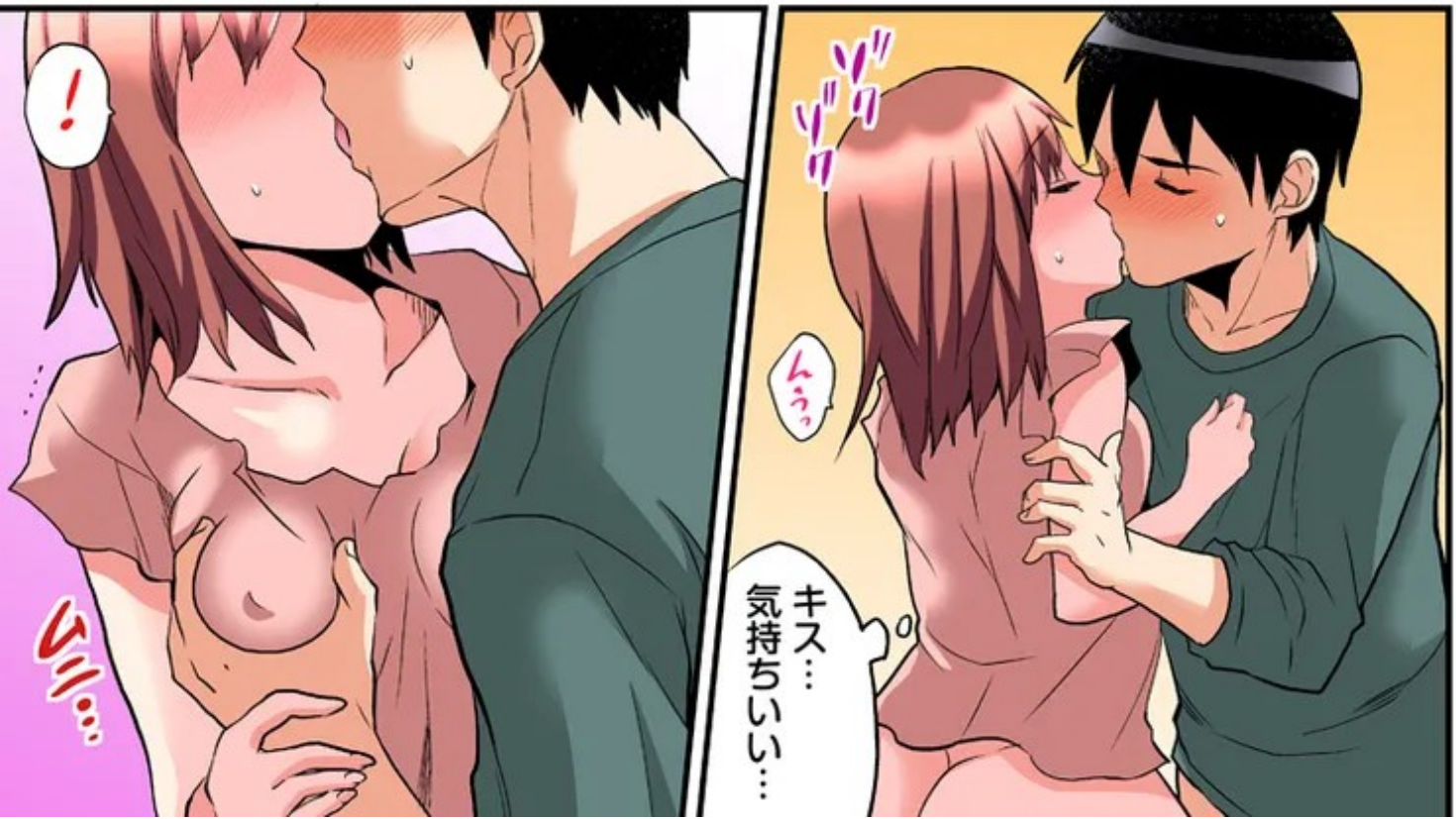
ちゃんと
言わないで
その…ごめん
……
バカ…
バカァ！
直くんの
バカあああっ！
わあああっ
うえ!?
ヒクッ
ご
ごめん
泣くなよ
ヒック…
ドキドキ
ふ
う…
あ…
綾音の…
ぎゅっ
いいにおいがする…

綾音…その
俺 実は
こういうの…
今回が初めて
じゃないんだ…
今までにも…
そのごめん…
知ってたよ
ギク
知ってたというか
なんとなく…
気づいてたの
直くんにされて
るって…
あやまってばっか
だけどホントッ
ごめん！
俺 お前の処女を…
私の
ハジメテ…
直くんが
もらってくれて…
うれしい
綾音…っ
うおおおおお
かわいい…！
あ 綾音

は…
は…
ん
綾音と初キッス――！
キスも…してたの？
キスは…まだしてないこれが初めてだ
じゃあ…私たち今初めてキスしたんだね
直くん
さっきの…エッチの続きして…？

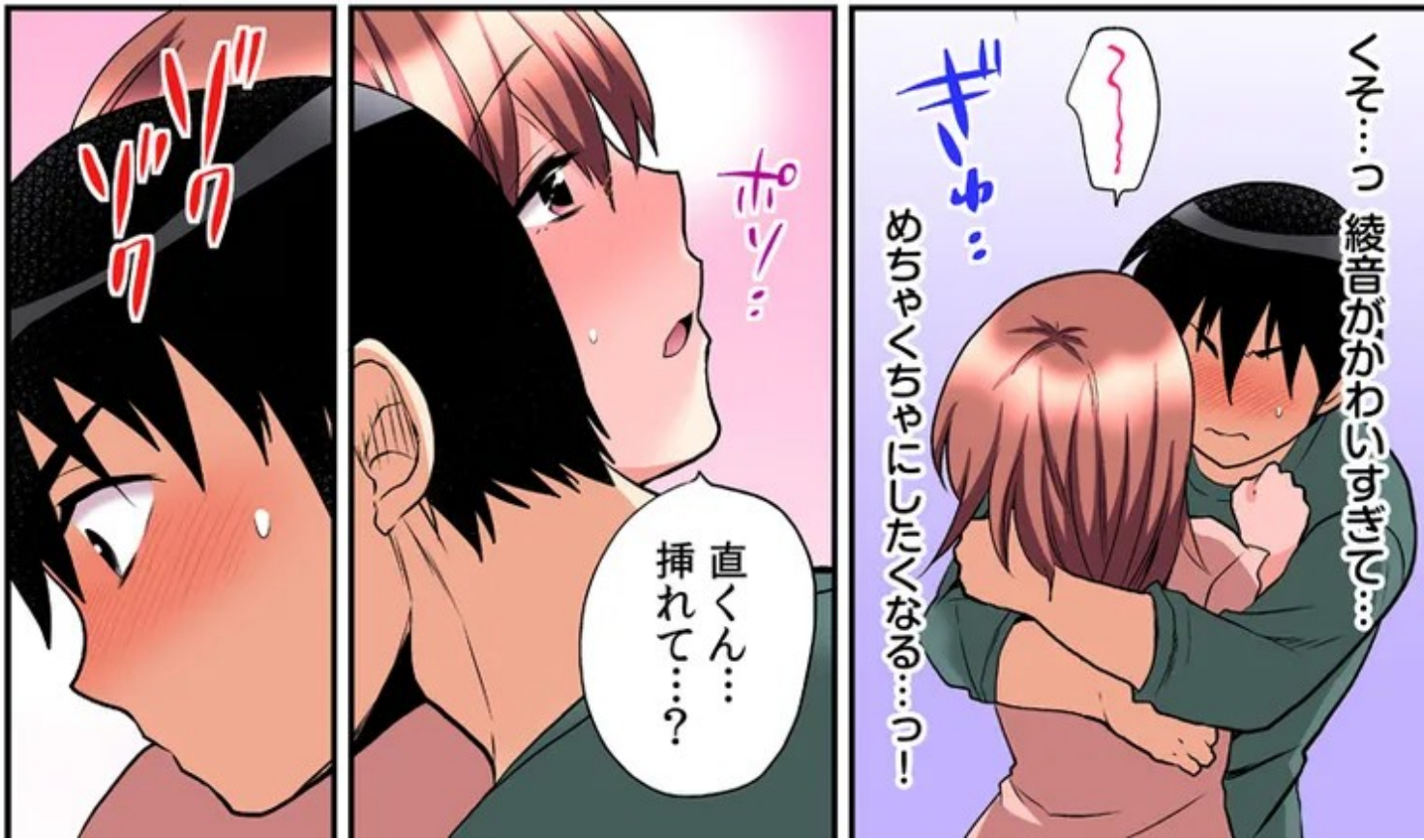
綾音…！
ドキ
ハァ
ハァ
んっ
ちゅっ
じゅぱ
じゅぱ

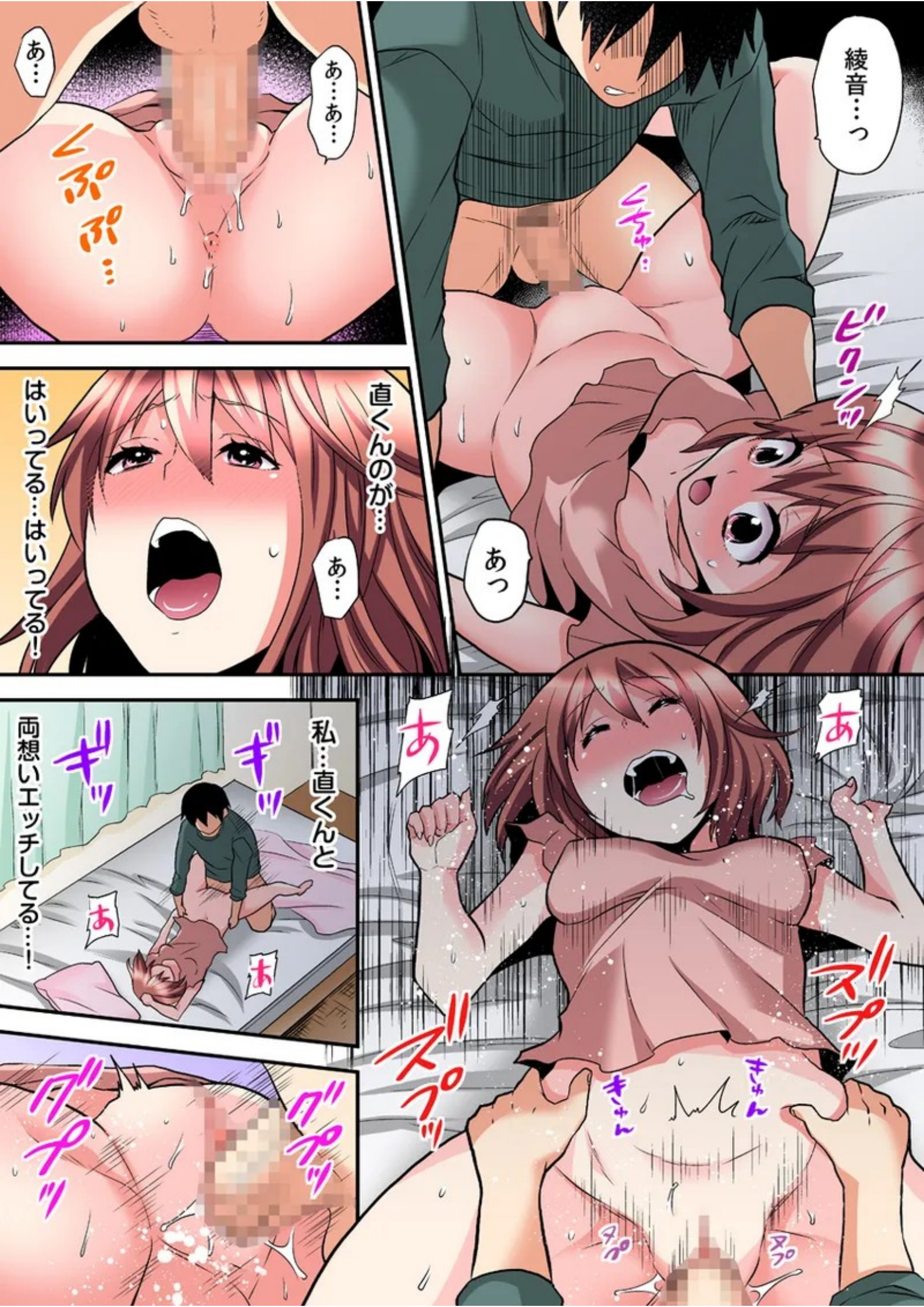
綾音のくちびるやわらけぇ…
ちゅ
ちゅ
ん
ん♥


！
ムニ…
ゾクゾク
んっ
キス…気持ちいい…

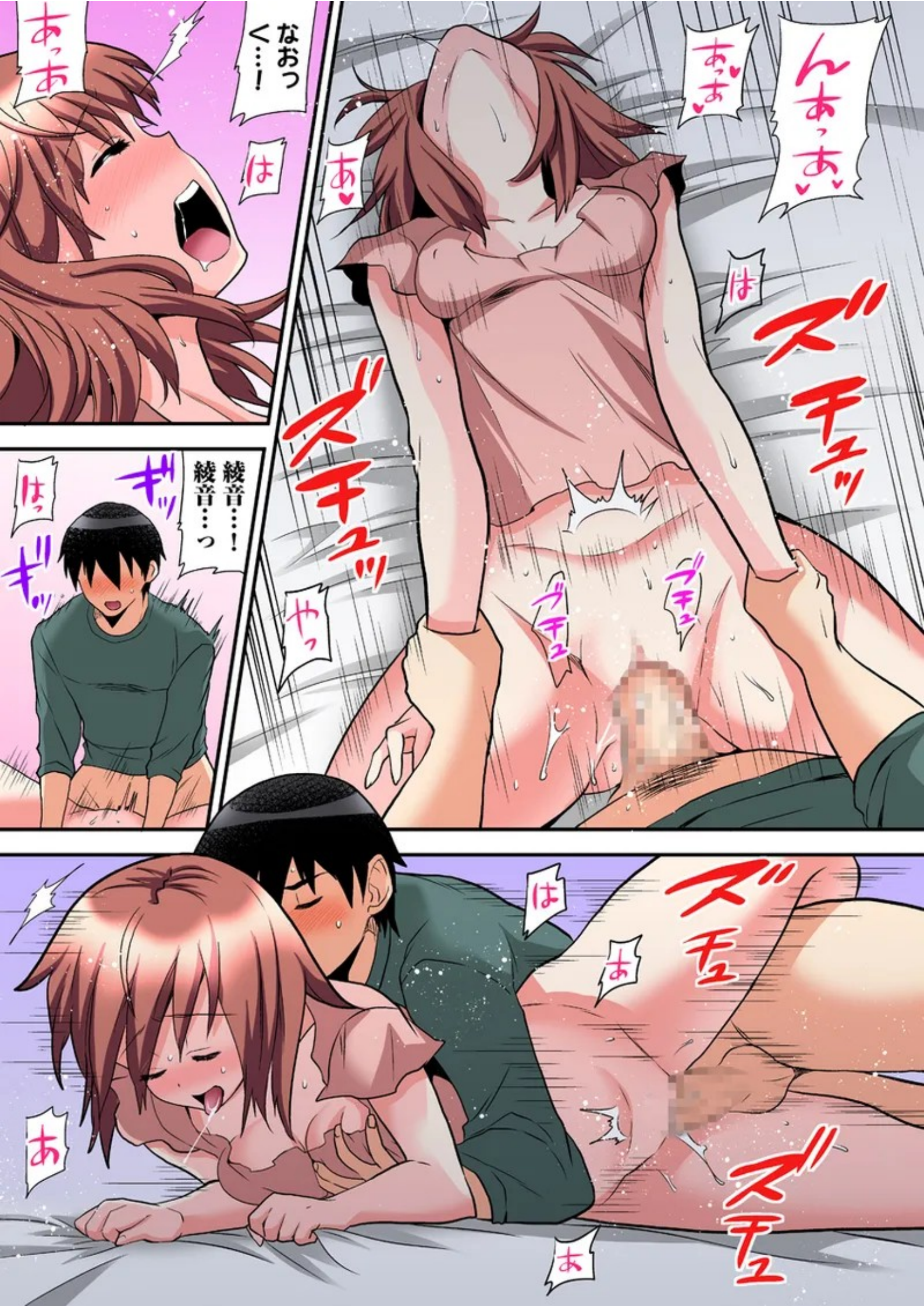
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ん
ん
直くん…
ハ
ハ
ハ

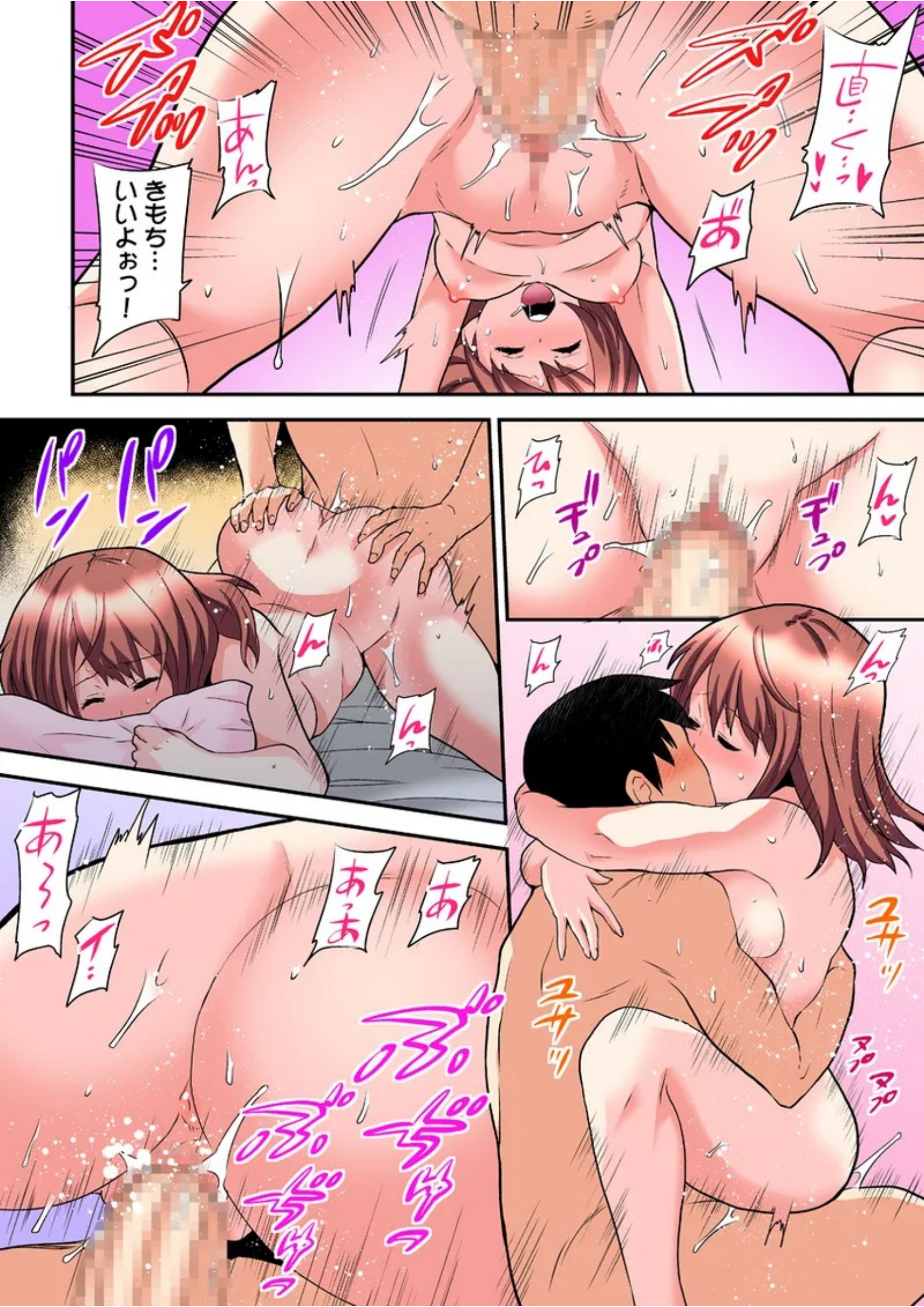
キスって…
気持ちいいね…
ハ
ハ
!!
ドキ!


くそ…っ 綾音がかわいすぎて…
ギュ
めちゃくちゃにしたくなる…っ!
ポソ
直くん…
挿れて…?
ゾクゾク

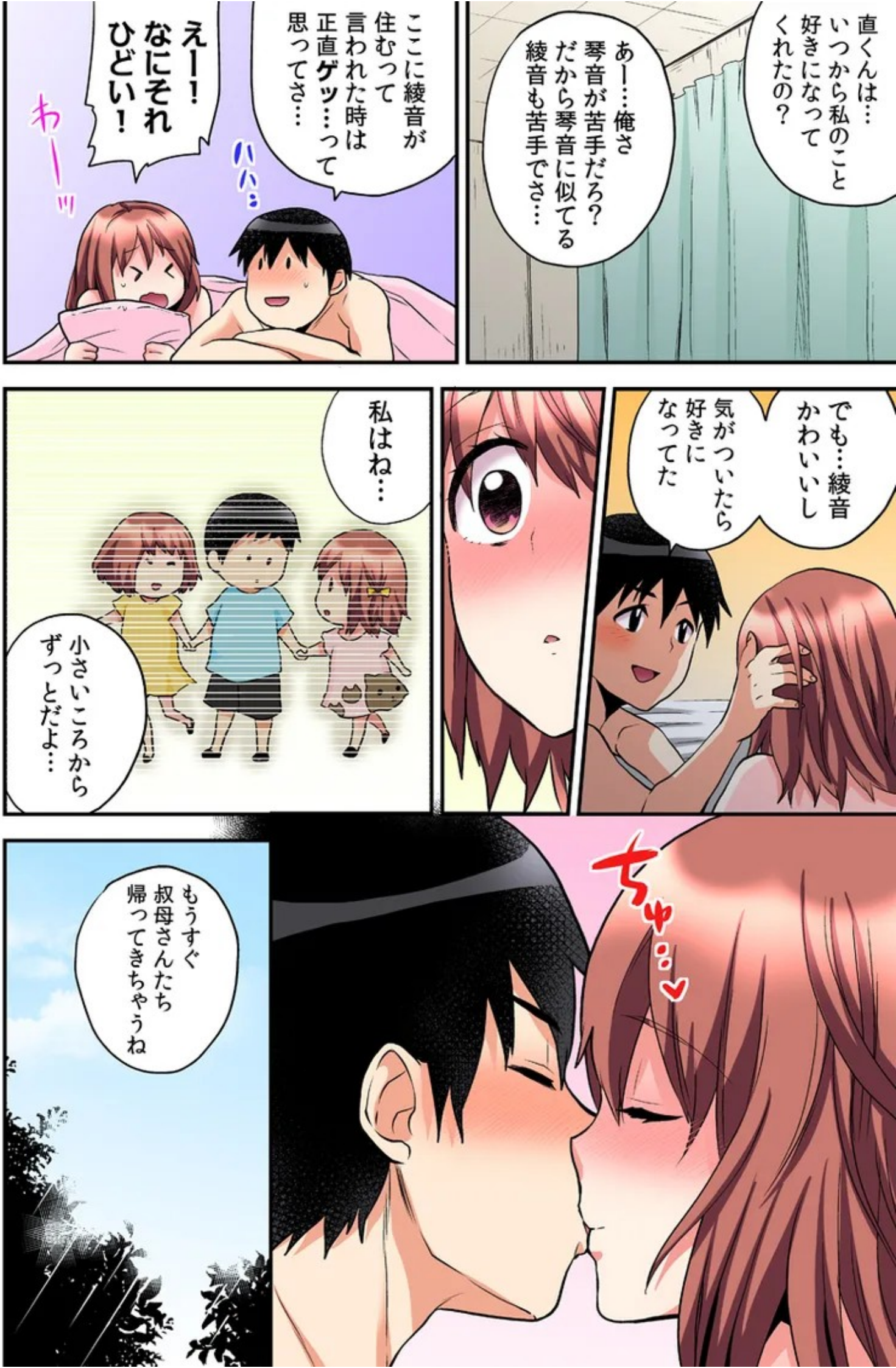

綾音…っ
くちゅ…
ビクンッ
あっ
あ…あ…
くぷぷ…
あ…
直くんのが…
あ…
はいってる…はいってる！
あ
あ
ズプッ
ズプッ
きゅん
きゅん
私…直くんと
ギッ
ギッ
あ
あ
両想いエッチしてる…！
グプッ
グプッ

あっ
あんっ
あ
直くん――っ
はげしい…よぉっ！
あ
あ
声が…
いっぱい
出ちゃう…っ
んっ
ん
綾音の声…っ
もっと聞かせろよ
ドキ…
外は大雨と雷
家には俺たち
以外いない…
やっ
だから…っ
もっとエッチな
声出せよっ
はず…
かしっ…
あ
あんっ
あ
ジュプ
ジュプ


んぁっあ
あぁ
あ
は
ズチュッ
ズチュッ
やっ
ブチュ
ブチュ
なおっく…！
は
あっあ
綾音…！
綾音…っ
ギッ
はっ
ギッ
は
ズチュ
あ
ズチュ
あ
あ


直…くっ！
あんっ
きもち…
いいよぉっ！
パン パン
ん
んっ
ぴっ
ギュッ
んっ
ん
ふ
んっ
あっ
あぁ
あろっ
イ！
ユサッ
ユサッ

ビクッ
イ…ク…
ビクッ
ビクッ
はーっ
なおくん…
すき…
はー
はー
ハァ
ハァ
あのね…
私たち
つきあう…
ってことで
いいんだよね？
チ…
チ…
んう…!?
ドキ
ドキ
うぅん…
そのつもり
だけど…
えへへ


直くんは…
いつから私のこと
好きになって
くれたの？
あー…俺さ
琴音が苦手だろ？
だから琴音に似てる
綾音も苦手でさ…
ここに綾音が
住むって
言われた時は
正直ゲッ…って
思ってさ…
ハハ…
えー！
なにそれ
ひどい！
わーッ
でも…綾音
かわいいし
気がついたら
好きに
なってた
私はね…
小さいころから
ずっとだよ…
ちゅ♡
もうすぐ
叔母さんたち
帰ってきちゃうね

ヒロイン
水沢 綾音（みずさわあやね）

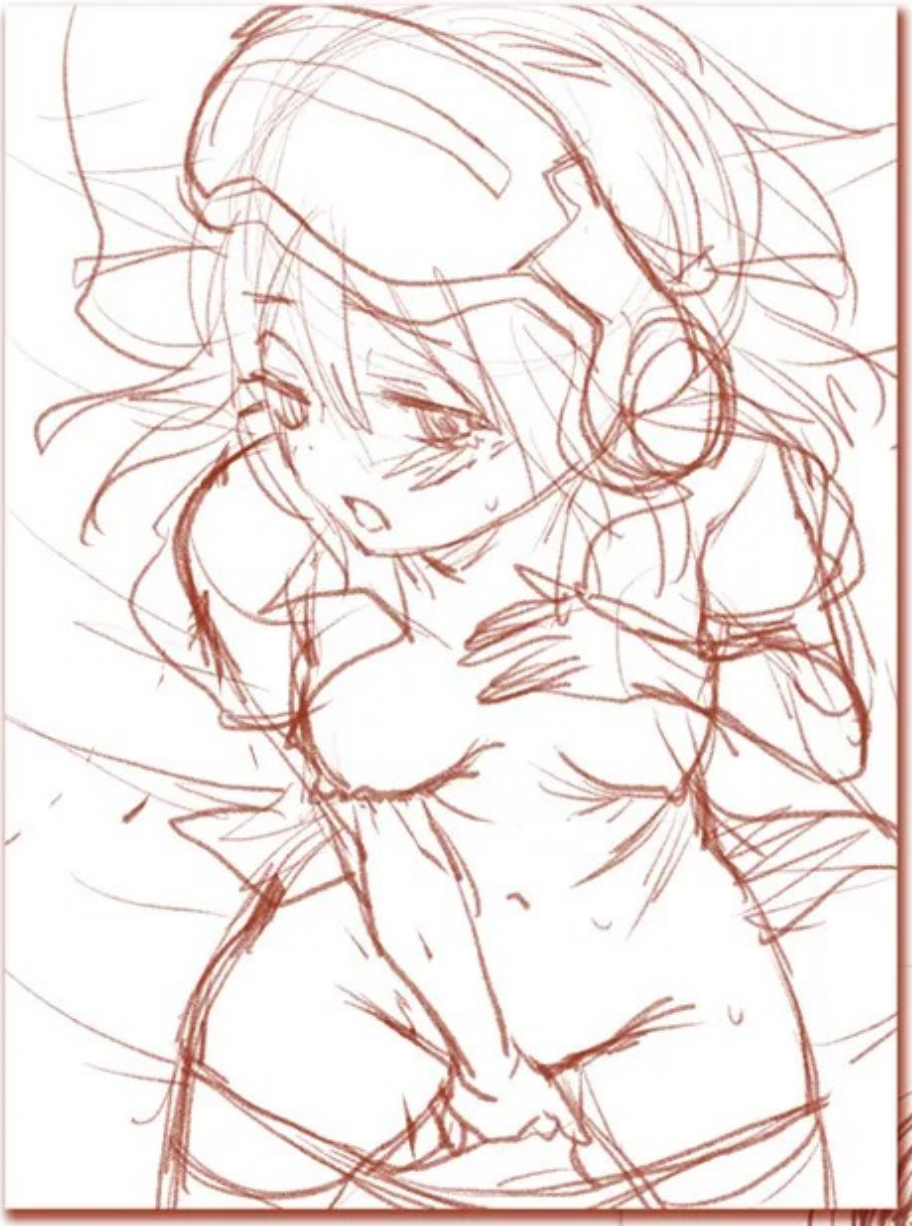
髪はトーン処理
背は小さい

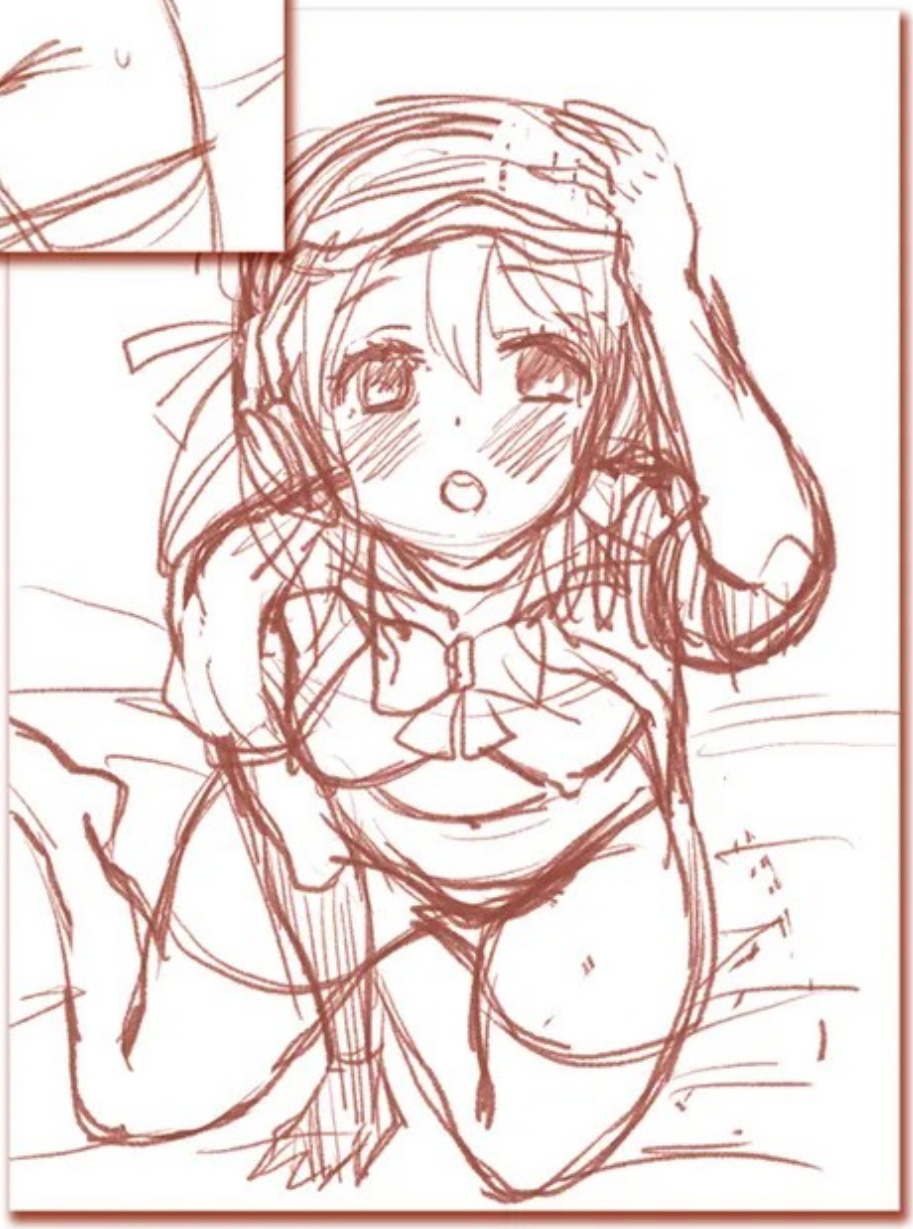
主人公
松田 直樹（まつだなおき）

ヒロインの悪友
瀬戸 まなか（せとまなか）

背はヒロインよりも高い

おまけ
表紙ラフ案





こすりクラブ

エロVRに夢中なあの子

【電子単行本版限定特典付き】
【フルカラー版】

（1）

著者　　ひらたいら

発行　　FILL-IN

この物語はフィクションです。登場する人物・事件・団体・名称等は
架空であり、実在のものとは一切関係ありません。
収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、
発売当時のまま掲載しています。
本作品の一部あるいは全部を無断で複製・転載・配信・送信・放送・譲渡
またはアップローダーサイトに掲載する事を禁止します。
本作品の使用につきましては、あらかじめ弊社宛に許諾をお求め下さい。

©hirataira/fill-in 2024